

安通・洞No.2遺跡

市道21-6119号線道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2013.3

前橋市教育委員会

安通・洞No.2遺跡

市道21-6119号線道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



耳飾り (B-12G)

2013. 3

前橋市教育委員会

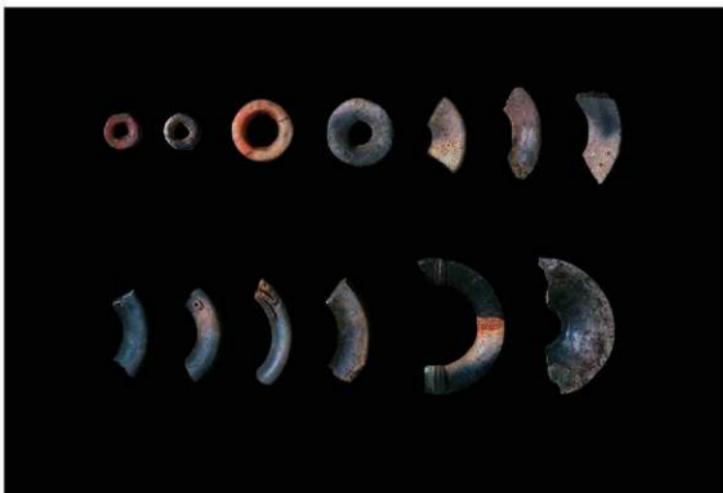


1 調査区全景



2 耳飾り(1)

図絵2



3 耳飾り(2)



4 耳飾り(3)

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所に人々の息吹を感じられる歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上野毛の国を中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは總社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中核をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎧をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する安通・洞№2遺跡は赤城山南麓の標高300m付近に位置し、縄文時代晩期の住居跡が検出されたほか、縄文時代後期から晩期にかけての土器のほか、装飾品である耳飾りや狩猟に使用した石鏃など多くの種類の遺物が出土しました。この時代の遺跡としては群馬県内でも比較的標高の高い場所に立地していることが特徴的です。残念ながら、現状のまでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんには厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成25年3月

前橋市教育委員会

教育長 佐藤博之

例　　言

- 1 本報告書は、市道21-6119号線道路建設に伴う安通・洞No.2遺跡発掘調査報告書である。
- 2 調査主体は、前橋市教育委員会である。
- 3 発掘調査の要項は次のとおりである。

| | |
|------------------------|--------------------------|
| 調　　査　　場　　所 | 群馬県前橋市柏川町室沢302-1B |
| 発　　掘　　調　　査　　期　　間 | 平成24年7月23日～平成24年11月16日 |
| 整理・報告書作成期間 | 平成24年11月19日～平成25年3月15日 |
| 発　　掘　　・　　整　　理　　担　　当　　者 | 並木勝洋・阿久澤智和（文化財保護課埋蔵文化財係） |
- 4 本書の原稿執筆・編集は並木・阿久澤が行った。なお、縄文土器の鑑定は能登健（前橋市文化財整備指導員）に、石器の実測の一部は前原豊（文化財保護課課長補佐）による。また、自然科学分析報告については早田勉氏（火山灰考古学研究所）より玉稿をいただいた。
- 5 発掘調査・整理作業にかかわった方々は次のとおりである。
石倉稔夫・下平勇樹・高澤京子・多田啓子・奈良啓子・橋本ちづる・星野和子・峰岸あや子・山田哲也
- 6 調査および報告書作成にあたっては下記の諸氏のご教示・ご指導・ご協力があった。
加部二生、久保田健太郎、剣持克洋、後藤佳一、大工原豊、日野正祥
- 7 発掘調査で出土した遺物は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。

凡　　例

- 1 指図中に使用した北は、座標北である。
- 2 指図に国土交通省国土地理院発行の1:200,000地形図（宇都宮）、1:50,000地形図（前橋）を使用した。
- 3 遺跡の略称は、24K3である。
- 4 遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。
J…縄文時代の竪穴住居跡　W…溝跡
- 5 遺構・遺物の実測図の縮尺は、原則的に次のとおりである。その他、各図スケールを参照されたい。

| | | |
|------------------|-------------------|--------------------------|
| 遺構　　全体図…1/200 | 溝跡平面図…1/120 | 住居跡平面図・住居跡断面図・溝跡断面図…1/60 |
| 炉跡平面図・炉跡断面図…1/30 | 遺物包含層ベルト設定図…1/400 | |
| 遺物包含層断面図…1/80 | | |
- 6 計測値については、(　)は現存値、〔　〕は復元値を表す。
- 7 セクション注記の遺物観察表の色調について新版標準土色帳（小山・竹原 1967）を基準とした。
- 8 遺構平面図の-----は推定線を表す。
- 9 スクリーントーンの使用は、次のとおりである。

| | | |
|-------|--------|------|
| 遺構断面図 | 構築面… | |
| 遺物実測図 | 顔料付着面… | 磨耗面… |
- 10 主な火山降下物等の略称と年代は次のとおりである。

| | |
|-------|------------------------------|
| As-B | (浅間B軽石：供給火山・浅間山、1108年) |
| Hr-FP | (榛名ニッ岳伊香保テフラ：供給火山・榛名山、6世紀中葉) |
| Hr-FA | (榛名ニッ岳渋川テフラ：供給火山・榛名山、6世紀初頭) |
| As-C | (浅間C軽石：供給火山・浅間山、4世紀前半) |

目 次

はじめに

I 調査に至る経緯 1

II 遺跡の位置と環境

1 遺跡の立地 1

2 歴史的環境 1

III 調査方針と経過

1 調査方針 3

2 調査経過 7

IV 基本層序 7

V 遺構と遺物 8

VI まとめ 24

VII 自然科学分析 27

挿 図

| | | | |
|-----------------------|-----|-------------------|----|
| Fig. 1 安通・洞No 2 遺跡位置図 | 2 | Fig. 14 縄文式土器 (4) | 39 |
| 2 小グリッド設定例 | 3 | 15 縄文式土器 (5) | 40 |
| 3 安通・洞No 2 遺跡周辺遺跡図 | 4 | 16 耳飾り (1) | 41 |
| 4 安通・洞No 3 調査区位置図 | 6 | 17 耳飾り (2) | 42 |
| 5 基本層序 | 7 | 18 耳飾り (3)・土製品 | 43 |
| 6 グリッド設定図・全体図 | 8・9 | 19 縄文時代の石器 (1) | 44 |
| 7 安通・洞遺跡と安通・洞No 2 遺跡 | 25 | 20 縄文時代の石器 (2) | 45 |
| 8 安通・洞No 2 遺跡の地層図 | 33 | 21 縄文時代の石器 (3) | 46 |
| 9 J-1号住居跡 | 34 | 22 縄文時代の石器 (4) | 47 |
| 10 J-1・W-1・グリッド遺物 | 35 | 23 縄文時代の石器 (5) | 48 |
| 11 縄文式土器 (1) | 36 | 24 縄文時代の石器 (6) | 49 |
| 12 縄文式土器 (2) | 37 | 25 縄文時代の石器 (7) | 50 |
| 13 縄文式土器 (3) | 38 | | |

付 表

| | | | |
|--------------------------|-------|----------------|-------|
| Tab. 1 安通・洞No 2 遺跡周辺遺跡一覧 | 5 | Tab. 6 石器重量組成表 | 14・15 |
| 2 縄文式土器観察表 | 10 | 7 石鍶観察表 | 16~22 |
| 3 耳飾り観察表 | 11~14 | 8 石錐・石槍観察表 | 22 |
| 4 土製品観察表 | 15 | 9 石器・石製品観察表 | 22・23 |
| 5 石器数量組成表 | 14・15 | | |

図 版

| | | | |
|--------------------|--|------------------|--|
| 口絵 1 調査区全景 | | PL. 6 縄文式土器 (4) | |
| 2 耳飾り (1) | | 7 耳飾り (1) | |
| 3 耳飾り (2) | | 8 耳飾り (2)・石鍶 (1) | |
| 4 耳飾り (3) | | 9 石鍶 (2) | |
| PL. 1 調査区全景・遺物出土状態 | | 10 石鍶 (3)・石錐・石槍 | |
| 2 遺物出土状態・J-1・W-1 | | 11 打磨製石斧・敲石・磨石 | |
| 3 縄文式土器 (1)・土製品 | | 12 石器・石製品・その他 | |
| 4 縄文式土器 (2) | | 13 磨石・凹石・石皿・蜂の巣石 | |
| 5 縄文式土器 (3) | | | |

I 調査に至る経緯

本発掘調査は、市道21-6119号線道路建設に伴い実施された。平成24年4月16日付けで、前橋市長 山本龍（東部建設事務所建設係）より市道21-6119号線道路築造に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会では実施について協議を行い、平成24年4月23日に受諾し、7月23日に現地での発掘調査を開始するに至った。

なお、遺跡名称「安通・洞Na2遺跡」（遺跡コード：24K3）の「Na2」は昭和54年度に発掘調査が行われた「安通・洞遺跡」（柏川村教育委員会）と区別するために付したものである。

II 遺跡の位置と環境

1 遺跡の立地

前橋市は、利根川が赤城・榛名の両火山の裾合を経て関東平野を望むところに位置し、地形・地質の特徴から、北東部の赤城火山斜面、南西部の前橋台地利根川右岸、南部から南西部にかけての前橋台地の利根川左岸、東部の広瀬川低地帯という4つの地域に分けられる。

本遺跡は赤城火山斜面、柏川扇状地上に立地する。柏川扇状地の主体部は西隣の荒砥川扇状地と共に約50,000年前から約25,000年前にかけて赤城山から河川によって運ばれてきた砂礫層が堆積してできたものと考えられる。その後しばらく扇状地の形成は弱まったものの縄文時代前期から中期（約6,000年前から約4,000年前）に再び砂礫の堆積が認められるようになる。

本遺跡は前橋市街地から北東へ約15kmの地点、前橋市柏川町室沢に所在している。柏川地区（旧柏川村）は中央を旧村名の由来となった柏川が南北に流れ、北は標高1,480mの赤城山小沼、南は標高150m付近で前橋市東大室町、伊勢崎市と接する標高差がある南北に細長い地域である。室沢は美しい棚田が広がる農業中心の地域であるが、近年、室沢から中之沢にかけての広大な敷地に環境配慮型の大工場が建設されている。

2 歴史的環境

本遺跡の立地する赤城山南麓斜面の台地には、旧石器時代後期から中近世に至る数多くの遺跡が存在し、埋蔵文化財の宝庫として知られている。

柏川地区における旧石器時代の主な遺跡としては柏川町中之沢の栗原東遺跡が挙げられ、同遺跡からは細石刃が出土した。

縄文時代の遺跡としては前期の月田室沢遺跡群、中期以降の遺跡としては柏川町深津の後原遺跡、柏川町鶴の新宿遺跡、柏川町一日市の関後遺跡が挙げられる。縄文時代前期の遺跡は標高が高い馬の背状の丘陵性地形に多く立地するのに対して、中期以降の遺跡は比較的標高が低い平坦な台地性の地形に多く立地する。集落の適地嗜好が散在的傾向から集中的傾向に変化する様子が伺える。

弥生時代から古墳時代前期の遺跡としては柏川町深津の西迎遺跡、三ヶ尻遺跡、西原遺跡、柏川町一日市の堤頭遺跡、石切遺跡などが挙げられる。特に堤頭遺跡や西原遺跡からは赤井戸式土器が確認されている。また、堤頭遺跡、石切遺跡からは古墳時代前期のS字状口縁を持つ土器がまとまって確認されている。柏川町一日市の関後遺跡、柏川町深津の三ヶ尻西遺跡、柏川町中の05遺跡からは古墳時代前期の水田跡が確認された。赤城南麓地域では最も古い水田跡である。古墳時代後期の大集落として、柏川町西田面の前田遺跡、柏川町女潤の渋沢遺

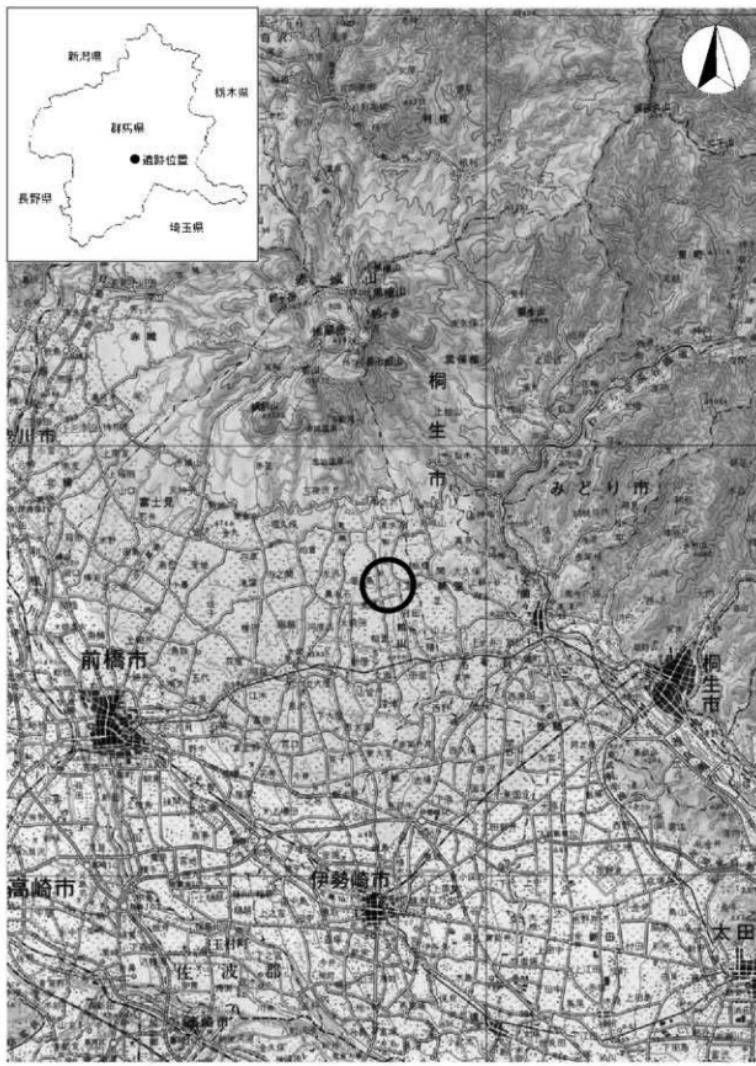


Fig. 1 安通・洞No.2遺跡位置図

跡、柏川町深津の五反田遺跡が挙げられる。五反田遺跡では100軒を超える大集落が形成されている。柏川町深津の三ヶ戸西遺跡からは製鉄箱形炉や鍛冶工房が確認され、同町の松原田遺跡からは製鉄箱形炉や砂鉄溜土坑が確認されている。柏川地区には数多くの古墳が存在する。5世紀には柏川町膳の白藤古墳群、柏川町深津の近戸古墳群、三騎堂古墳群で小型の円墳がまとまって造られ、6世紀になると柏川町月田の月田古墳群、柏川町深津の西原古墳群で小型の前方後円墳を中心に大小の円墳が造られた。

平安時代における山岳寺院である柏川町中之沢の宇通遺跡は標高700mの山中にある。宇通遺跡では礎石をもつた建物跡が15棟確認されている。出土遺物の中から中国大陆からもたらされた陶器や金銅製の女神像、経典の軸の飾り金具である経軸端などの信仰用具が確認された。

中世の城館跡として一日市城跡、膳城跡、女瀬城跡、柏川町新屋の稻荷田遺跡が挙げられる。膳城跡では底面に濠と平行に走る歓を二・三本作り出している歓濠と呼ばれる特殊な構造を持った濠が北郭で確認されている。信仰遺物としての五輪塔や板碑、宝塔などは柏川地区全域に分布している。

III 調査方針と経過

1 調査方針

調査箇所は、市道21-6119号線築造予定の道路用地であるため、幅8mの狭長なトレンチ状の調査となった。総調査面積は約650m²である。

グリッド座標については国家座標（世界測地系）X=+49828.000・Y=-56528.000を基点（A 0）とする4mピッチのものを使用し、西から東へ0、1、2…、北から南へA、B、C…と付番し、グリッド呼称は北西杭の名称を使用した。

本遺跡の基点（A 0）の公共座標は以下のとおりである。

| | | |
|--------|----------------|--------------------|
| 日本測地系 | X = +49828.000 | Y = -56528.000 |
| 緯度 | 36°26'50".7452 | 経度 139°12'09".8802 |
| 子午線収差角 | 0°22'28".7 | 増大率 0.999939 |

調査方法については、表土掘削・遺構確認・方眼杭等設置・遺構掘下・遺構精査・測量・全景写真の手順で行うこととした。このうちの遺物包含層及び遺構確認については、試掘調査の結果をもとに、遺物が含まれているAs-C・Hr-FP軽石が混入する土層（II層）を手がかりにした。

図面作成は、平板・簡易遺方測量を行い、遺構平面図は原則として1/20、住居跡は1/10の縮尺で作成した。遺構の遺物については平面分布図を作成し、台帳に各種記録を記載しながら収納した。包含層の遺物はグリッドを4分割して2mピッチの小グリッドを設定し、小グリッド単位で収納し、重要遺物については分布図・遺物台帳の記載を行なった。小グリッドの呼称は北西部をa、北東部をb、南西部をc、南東部をdとし、グリッド名のすぐ後に小グリッド名を付けた。

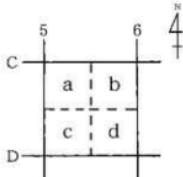
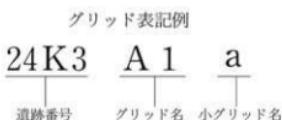


Fig. 2 小グリッド設定例



Fig. 3 安通・洞No.2 道路周辺遺跡図

Tab.1 安通・洞No.2 遺跡周辺遺跡一覧

| No | 遺跡名 | 調査年度 | 時代：主な遺構・出土遺物 |
|----|-------------|------|--------------------------------------|
| 1 | 安通・洞No.2 遺跡 | 2012 | 本遺跡 |
| 2 | 安通・洞遺跡 | 1981 | 縄文：後晩期の包含層・敷石住居跡・埋蔵 |
| 3 | 宇通遺跡 | 1967 | 平安：山岳寺院・関連建物 |
| 4 | 御殿遺跡 | 1993 | 平安：住居跡 |
| 5 | 湯之口遺跡 | 1994 | 平安：住居跡 |
| 6 | 御殿郷遺跡 | 1995 | 平安：大型炭窯 |
| 7 | 栗原東遺跡 | 1984 | 旧石器：繩石刀・ナイフ形石器、縄文：落とし穴 |
| 8 | 峯屋敷遺跡 | | 縄文：住居跡、中世：船跡 |
| 9 | 中之武室沢遺跡群 | 1999 | 平安：住居跡・製鉄炉 |
| 10 | 室沢中之沢遺跡 | | 旧石器：黒曜石剥片 |
| 11 | 大林遺跡 | 1962 | 縄文：前期住居跡 |
| 12 | 大平遺跡 | 1960 | 縄文：前期住居跡 |
| 13 | 室沢古墳群 | | 柏川1・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12号墳（上毛古墳綜覧） |
| 14 | 長田遺跡 | 1983 | 縄文：前期住居跡 |
| 15 | 月田古墳群 | 1981 | 豪前塚・壇塚・鍬手塚・西塚・地蔵塚・月田二子塚 |
| 16 | 近戸遺跡 | 1983 | 縄文：住居跡・古墳：住居跡、平安：住居跡 |
| 17 | 中村城 | | 中世：館跡 |
| 18 | 白藤古墳群 | 1984 | 5世紀後半から6世紀前半の古墳群 |
| 19 | 中町遺跡 | 1982 | 古墳：住居跡・祭祀跡・奈良・平安：住居跡 |
| 20 | 勝城 | | 室町・戦国：城跡 |
| 21 | 自音寺遺跡 | 1982 | 奈良・平安：住居跡 |
| 22 | 柏川町中65遺跡 | 2007 | 古墳：水田跡 |
| 23 | 西宿遺跡 | 1995 | 奈良・平安：住居跡 |
| 24 | 女潤城 | | 戦国：城跡 |
| 25 | 福荷田遺跡 | 1984 | 古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 26 | 大塚遺跡 | 1984 | 縄文：住居跡 |
| 27 | 吹上遺跡 | 1985 | 縄文：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 28 | 前田遺跡 | 1980 | 弥生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 29 | 庚塚遺跡 | 1985 | 縄文：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 30 | 渋沢遺跡 | 1985 | 古墳：古墳・平安：住居跡 |
| 31 | 下池告削戸遺跡 | 1984 | 古墳：古墳・奈良・平安：住居跡 |
| 32 | 近戸遺跡 | 1993 | 古墳：古墳・奈良・平安：住居跡 |
| 33 | 切通遺跡 | 1992 | 奈良・平安：住居跡 |
| 34 | 横手遺跡 | 1990 | 古墳：古墳・奈良・平安：住居跡 |
| 35 | 新宿遺跡 | 1990 | 古墳：古墳・奈良・平安：住居跡 |
| 36 | 聖天古墳 | | 柏川58号墳（上毛古墳綜覧） |
| 37 | 松原田遺跡 | 1985 | 古墳：住居跡・製鉄炉 |
| 38 | 東原遺跡 | 1996 | 古墳：住居跡・製鉄炉 |
| 39 | 長岡遺跡 | 1991 | 縄文：早期階下穴・古墳：住居跡・古墳 |
| 40 | 一日市城 | 1980 | 弥生：後期住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡・中世：館跡 |
| 41 | 堤頭遺跡 | 1988 | 縄文：前期住居跡・弥生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 42 | 宿後遺跡 | 2009 | 古墳：住居跡 |
| 43 | 三ヶ尻遺跡 | 1985 | 弥生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 44 | 西迎遺跡 | 1990 | 弥生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 45 | 後原遺跡 | 1981 | 縄文：住居跡・古墳：住居跡 |
| 46 | 西原古墳群 | 1984 | 6世紀から7世紀の古墳群 |
| 47 | 西原遺跡 | 1979 | 弥生：後期住居跡・古墳：住居跡・平安：大型炭窯 |
| 48 | 三ヶ尻西遺跡 | 1993 | 古墳：古墳・住居跡・製鉄炉・奈良・平安：住居跡 |
| 49 | 友成遺跡 | 1993 | 古墳：住居跡・奈良：住居跡 |
| 50 | 五反田遺跡 | 1986 | 弥生：住居跡・古墳：住居跡・奈良・平安：住居跡 |
| 51 | 丸山遺跡 | | 縄文：住居跡・弥生：住居跡・古墳：古墳（柏川63号墳） |
| 52 | 福荷山遺跡 | 1980 | 縄文：前期住居跡・古墳：住居跡・奈良：住居跡 |
| 53 | 三騎塚古墳群 | 1986 | 6世紀前半の古墳群 |

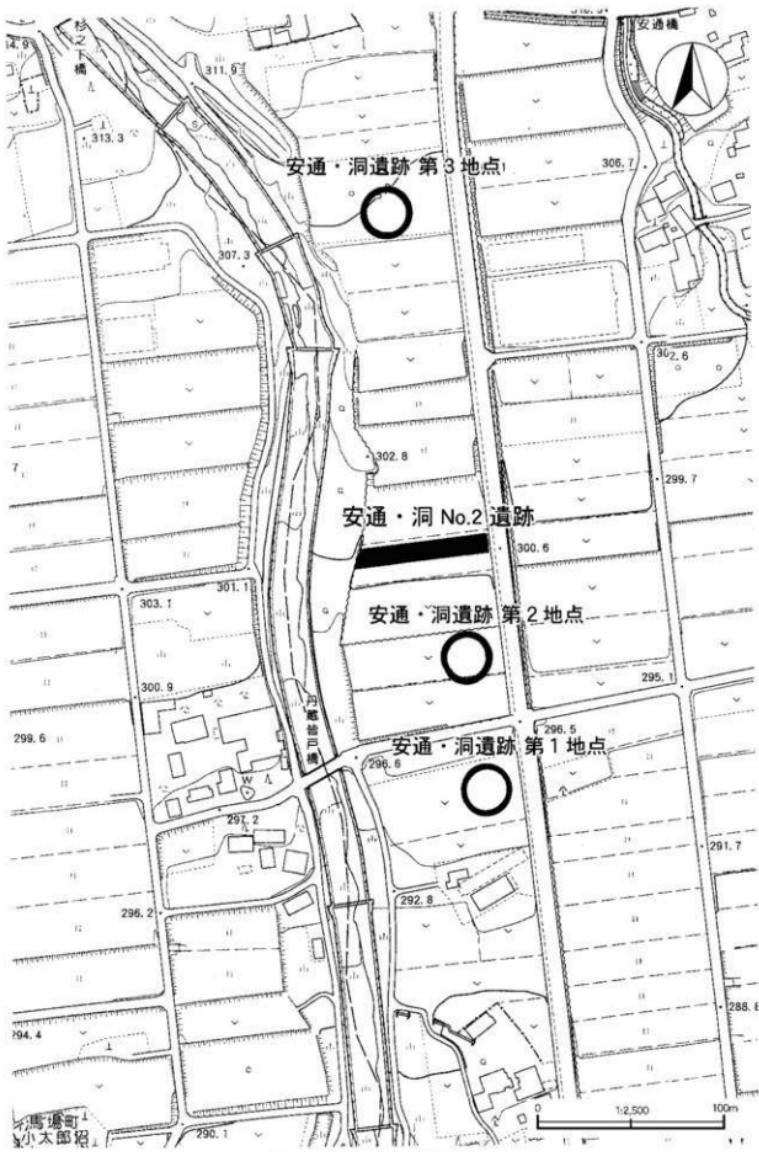


Fig. 4 安通・洞No.3調査区位置図

2 調査経過

本遺跡の発掘調査は7月23日より現地で調査を開始した。調査区西側から重機掘削を開始し、それと平行して動廉による遺構確認を行った。7月27日に方眼杭打ちとベンチマークの設定を行い、その後、遺構掘り下げに入った。上面の水田からの湧水のため、8月1日から調査を一時中断した。8月20日から調査を再開し、精査の結果、縄文時代の包含層、竪穴住居跡1軒、平安時代の溝跡1条を検出した。11月14日に調査区全景写真を行い、11月16日に埋め戻しを行い、現地調査は終了した。11月19日より文化財保護課庁舎に戻り、出土遺物・図面・写真等の整理作業及び報告書作成にあたり、翌年2月28日までに全ての作業を終了した。

IV 基本層序

本遺跡の基本層序はFig. 5 のとおりである。本来の表土やAs-B 軽石混入土などは、すでに削り取られて確認することができなかった。現耕作土の下位は様名ニツ岳伊香保テフラや浅間C 軽石と考えられる軽石が混入する黒褐色土層(II層)、さらに灰黄褐の砂質土(III層)、その下位は黒褐色の砂疊層(IV層)となっている。縄文時代後晩期の遺物はII層・III層・IV層に包含されていた。その下位は灰白色のシルト質層・疊層(V層)となり、V層は調査区を東へいくほど厚く堆積していた。V層の下位は黒褐色の黒ボク土(VI層)で、縄文時代中期の遺物を包含していた。ただし、縄文時代後晩期の遺物よりも、かなり少ない数の検出となつた。

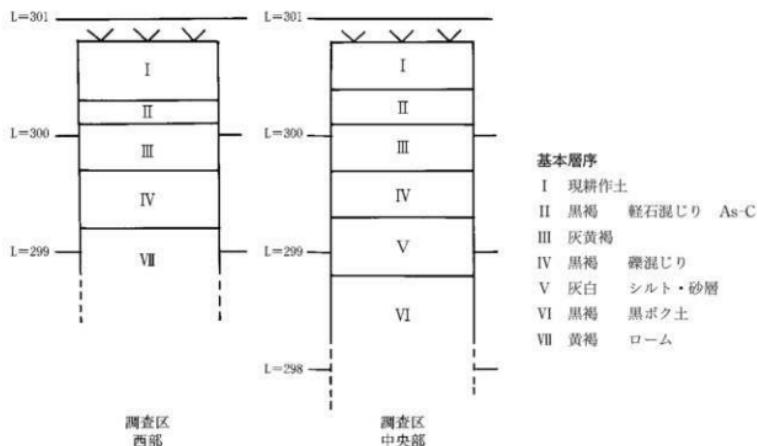


Fig. 5 基本層序

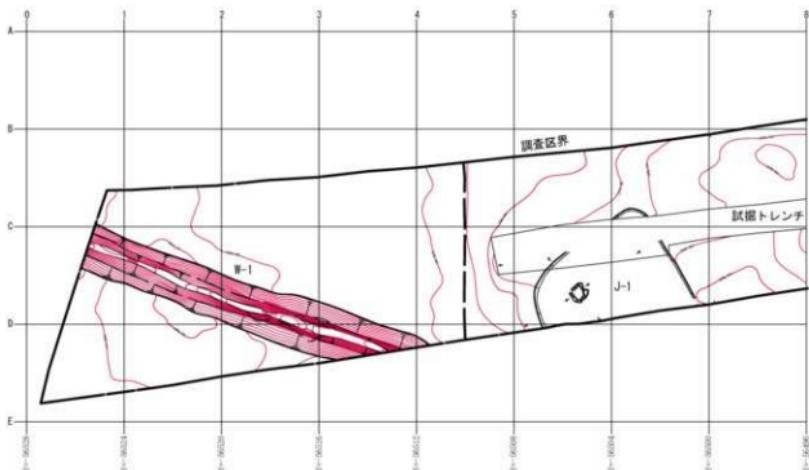


Fig. 6 グリッド設定図・全体図

V 遺構と遺物

(1) 穫穴住居跡

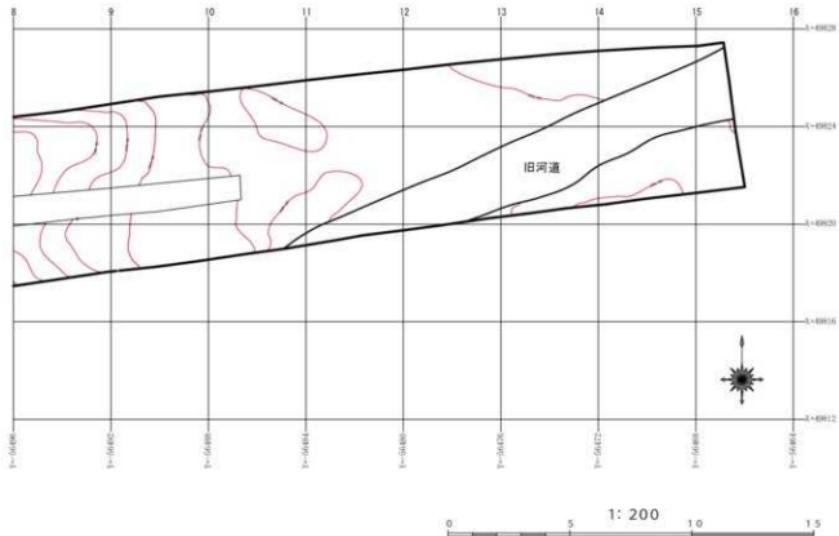
J-1号住居跡 (Fig. 6 + 7, PL. 2)

位置 南北: B・C、東西: 5・6グリッド **主軸方向** N-53°-E **規模** 長軸5.90m、短軸(4.95)m、壁現高12.00cm。 **面積** (19.30)m² **床面** 硬化部分が明瞭に検知できずはっきりとしていない。69個の石がほぼ同じレベルで検出された。そのほとんどが粗粒安山岩であり、石皿・多孔石・磨石・凹石などの石製品も含まれていた。垂直に立っている石や折り重なっている石などあり、住居内に敷きつめられた石とは考えにくく、住居廃絶時に投棄されたものと思われる。 **炉** 中央部西寄り。石囲い炉。東西65cm、南北64cm。 **出土遺物** 総数523点。安行III a式や晩期の無文土器が中心。 **時期** 覆土や出土遺物から縄文時代晚期と考えられる。

(2) 溝跡

W-1号溝跡 (Fig. 6, PL. 2)

位置 南北: C・D、東西: 0～3グリッド **主軸方向** N-110°-E **長さ** (14.70)m **最大幅** 上幅2.18m、下幅0.38m。 **最小幅** 上幅1.76m、下幅0.15m **深さ** 最大199cm、最小120cm。 **形状** 上位から中位までが緩やかで、中位から低位が急激に落ち込むいわゆる薬研状。 **時期** 覆土から平安時代、As-B降下以前と考えられる。詳しくは「VII章 自然科学分析」を参照。



(3) 縄文包含層 (Fig. 5、PL. 1)

位置 南北：B～D、東西：4～10グリッド 層位 II・III・IV層（縄文時代後晩期）、VI層（縄文時代中期）
状況 包含層の主体は調査区中央部に皿状に落ち窪むように厚く堆積していた。包含層を掘り下げた状況から埋没谷と考えられる。その他、W-1 東側付近でVI層中に遺物が含まれていた。
時期 埋没谷は、縄文時代中期頃に形成された「淡色黒ボク土」(VI層)より上位に位置していることや、出土した土器の形状から、縄文時代後晩期と考えられる。また、VI層に含まれていた遺物は土器型式から縄文時代中期と考えられる。なお、縄文時代中期の遺構は検出できなかった。
出土遺物 土器・土製品 約25,000点、石器 約13,000点。土器は安行II式・IIIa式が中心となり、晩期の粗製土器が比較的多い。安行式の前段階である曾谷式や安行式の後段階である大洞C式が入ってくる。土製品としては、耳飾りが多数出土した。その形態は白形・環状・装飾有と様々な種類が確認できた。その他の土製品としては土偶3点、ミニチュア土器3点、手彫形土製品1点、土製垂飾2点が出土している。また、その他に粘土塊も6点出土している。この粘土塊は最大でも拳大で、灰色の強い褐色で胎土は粗粒であり、状況から低温で焼成されていると考えられる(PL.12)。道具としての「石器」の器種・石材組成については石器組成表のとおり(Tab. 5、6)。その他の石器組成としては石核(PL.12)、剝片、碎片が出土している。その他の出土品として、鉄鉱石が出土している(PL.12)。鉄鉱石は長さ51.6mm、42.0gで亜円錐状を呈している。

Tab. 2 横文式土器観察表

| 時期 | 形式 | 番号 | グリッド 層位 | 番号 | グリッド 層位 | 番号 | グリッド 層位 | 番号 | グリッド 層位 | 番号 | グリッド 層位 | 器種の特徴・整形・調整技術 |
|------------|---------|-------|--------------|-------|--------------|-------|--------------|-------|-----------------|-----------|-------------------------|---|
| 早 期 | 茅山 | 1 | C2a VI | | | | | | | | | 表面条痕文。早期後半。 |
| 前 期 | 黒浜 | 2 | D1b VI | 3 | B2c VI | | | | | | | 織維を含む。前期前半。 |
| 中 期 | 加曾利E 4 | 4 | B1b VI | 5 | B1b VI | 6 | B1b VI | 7 | B1b VI | | | 口縁部無文帯を持つ。4・5・9・10：平縁。5：口縁部無文帯下部に棱を持つ。9：無文帯に沈線があり、二段となる。6・8・10・11・12：小波状縁。12：横状把手孔。10に逆J字上の区画。5・7：断面三角形の埴輪底で区画を描出。6・8・10・12：沈線による区画描出。中期後半の比較的新しい型段。 |
| | | 8 | B1b VI | 9 | B1b VI | 10 | B1b VI | 11 | B1b VI | | | |
| | | 12 | B1b VI | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 後 期 | 曾谷 | 13 | B6c III c | | | | | | | | | 波状口縁。三つの刻文帯。波頂部で刻文帯の間に二つの小突起。 |
| | | 14 | C8a II | 15 | B13a IV b | 16 | B7d III c | | | | | 14・15：波頂部把手状突起の付く波状口縁。16：平口縁。14・15：帶縞紋、点刻小突起。 |
| | 安行 II | 17 | C7c III c | 18 | C7b II | 19 | C8a III a | 20 | C7c III c | | | 20・32・34：波状口縁。32：波頂部把手状突起に凹巻の刻み。波縁から口縁にかけて丸みのある形の帶縞文。波頂部直下に垂直起立する丸みのある突起がある。34：波状口縁に斜めの帶縞文と突起。32：波状口縁に太めの帶縞文。刻みの入った突起。34：波状口縁に太めの帶縞文。波頂部直下に垂直起立する丸みのある突起。32：波状口縁に太めの帶縞文。31・33：平らで内側が口縁。口縁部にC字の沈線。C字の沈線。31・33：平らで内側が口縁。口縁部にC字の沈線。C字の沈線。32：波状口縁に太めの帶縞文。31：波頂部直下に垂直起立する丸みのある突起。30：波状口縁に太めの帶縞文。 |
| | | 21 | フクド | 22 | C8a III a | 23 | B6c III c | 24 | B7d II | | | |
| | | 25 | C8c II | 26 | C6b IV a | 27 | A11c IV b | 28 | C5b III c | | | |
| | | 29 | B12a IV a | 30 | B7b III c | 31 | B7c II | 32 | C6a III c | | | |
| | | 33 | フクド | 34 | B7c III c | | | | | | | |
| | 安行III a | 35 | C6c III c | 36 | B7b II | 37 | C7b III b | 38 | H7a III c | | | 36～40・42・45・51・52：玉抱き三文足。36～39：刺突玉。40：沈線と磨削縞文で玉を構成。51：平らで内側が口縁。刻みの入った突起二つ。39：ほぼ完形の形。口縁部に帶縞文と磨削縞文で玉を構成。36～39：刺突玉。50：例文と太めの沈線で口縁部を施文。35・41・44・46・47・49・51：太めの沈線と帶縞文で文様を構成。小さな突起。 |
| | | 39 | C7c IV a | 40 | III b | 41 | J - 1 | 42 | B7d III c | | | |
| | | 43 | B7c II | 44 | C7b III a | 45 | A12d IV b | 46 | B7c III c | | | |
| | | 47 | C6a III c | 48 | C6b II | 49 | C7b II | 50 | C7a III c | | | |
| | | 51 | C7a III c | 52 | C7c IV a | | | | | | | |
| 晩 期 | 安行III b | 53 | フク F | 54 | C7b III a | 55 | B12d IV a | 56 | B8b IV a | | | 54・56：列点文。小突起。55：菱形の区画文内に入り組み文。53：波状口縁。三角区画内にくずれた三文足。 |
| | | 57 | B13d IV a | 58 | A9c IV a | | | | | | | 57・58：沈線と沈線の間に細かい列点文。57：脚部彫文。 |
| | | 59 | C5d III c | 60 | C6c III c | | | | | | | 59・60：口縁部山形突起。平行沈線。磨削彫文による蟹型文。 |
| | | 61 | C7c IV a | 62 | C9a IV a | 63 | IV a | 64 | J - 1 | | | |
| | | 65 | C8a III c | 66 | B12b IV b | 67 | フクド | 68 | A12d IV b | | | 62：壺型 |
| | 無文平縁 | 69 | C7c II | 70 | C5d III c | 71 | C7d II | 72 | B5d III c | | | 64：口縁部粘土紐巻き付け一段 |
| | | 73 | B14c IV b | 74 | C8c III c | 75 | B8c II | 76 | H7d III c | | 67：口縁部粘土紐巻き付け三段 | |
| | | 77 | C7c III c | 78 | B7c III c | 79 | C5d III c | 80 | C6c III c | | 71・82：壺型 | |
| | | 81 | C7b III a | 82 | C9b IV a | 83 | J - 1 | | 83：口縁部粘土紐巻き付け二段 | 91・92：粘土紐 | 93：口縁部粘土紐巻き付け二段 | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 後期か ら晚期 | 底部 | 84 | C9a IV a | 85 | C9b IV a | 86 | C6c III c | 87 | C6c II | | | 84：葉痕有 |
| | | 88 | B6c IV a | 89 | B1b VI | 90 | B6c II | 91 | B13c IV a | | | 85・86：織布痕有 |
| | | 92 | B13c IV a | | | | | | | 88・89：高台状 | | |
| | 不明 | 93 | B6c IV a | 94 | B7c IV a | 95 | C7a III c | 96 | C7a III b | | | 90・91：指突穴 |
| | | 97 | C2b III c | 98 | C7b III c | 99 | B9b IV b | 100 | B7c II | | | 93：口縁部彫文。波頭から降りたところに2個の突起。以下無文。 |
| | | 101 | B12b IV b | 102 | C7b III c | 103 | フクド | 104 | C6a III c | | | 95：口縁部把手孔。97：波頭部直下に2個の突起。以下無文。 |
| | | 105 | C7c III c | 107 | C7c IV a | | | | | | 105：弧線で描いた蝶形の羅列の中に丸い凹み。 | |

#遺物の観察表を作成したが紙面の都合上、実測図を割愛したものも存在する。

注 ①グリッドは、大グリッド（アルファベット大文字+数字）、小グリッド（アルファベット小文字）の順で示し、層位は、遺物包含層セクションの層位を使用した。

Tab. 3 耳飾り観察表

| 番号 | グリッド 位置 | ①最大径 ②中心孔径 ③厚さ ④重さ | ①織紋 ②貝殻 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ②構成 ③色調 ④存度 | 形状 | ①断面形状 ②内側接線 | ①整形・調整 ②苦筋 | 登録番号 | 備考 |
|----|--------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------|----|------------------|--|------|----|
| 1 | C5c IV a | ①1.8 ③1.8 ④8.0 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内面：凹み ②無文 | 79 | |
| 2 | C6c III c | ①1.9 ③1.9 ④6.7 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内面：凹み ②無文 | 31 | |
| 3 | C6c II | ①2.1 ③2.0 ④8.3 | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内外面：平坦 ②無文 | 4 | |
| 4 | C5b IV a | ①2.2 ③2.0 ④18.4 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内外面：凹み ②無文 | 78 | |
| 5 | C6d IV a | ①2.6 ③2.7 ④25.2 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内外面：凹み ②無文 | 85 | |
| 6 | C6d III c | ①[1.0] ③1.4 ④[1.2] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①中心孔、内面：抉り ②無文 | 45 | |
| 7 | C6d III c | ①2.1 ③1.6 ④7.2 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①中心孔、内外面：平坦 ②無文 | 41 | |
| 8 | C5a III c | ①2.2 ③1.6 ④7.2 | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①中心孔、内外面：凹み ②無文、朱書き | 58 | |
| 9 | C7a III c | ①3.5 ③1.9 ④21.6 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①中心孔、内外面：磨き、側面：括れ ②無文 | 46 | |
| 10 | B6c III c | ①2.0 ③1.1 ④4.1 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内面：抉り、外面：凹み ②無文 | 14 | |
| 11 | C5b III d | ①[2.6] ③1.3 ④[1.8] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み、側面：括れ ②無文 | 63 | |
| 12 | B6c III c | ①[2.0] ③1.3 ④(0.8) | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内面：抉り ②無文 | 15 | |
| 13 | B6c III c | ①2.1 ③1.7 ④4.9 | ①織紋 ③貝殻 ④一部欠損 | ①紺土 ③貝殻 ④一部欠損 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：抉り ②無文 | 13 | |
| 14 | B6c III c | ①3.1 ③1.9 ④[22.2] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み ②無文 | 17 | |
| 15 | B6c II | ①[4.0] ③1.4 ④(5.7) | ①織紋 ③貝殻 ④[4] | ①紺土 ③貝殻 ④[4] | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み ②無文 | 1 | |
| 16 | B6c III c | ①[6.0] ③1.4 ④(2.3) | ①織紋 ③貝殻 ④[8] | ①紺土 ③貝殻 ④[8] | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：抉り ②無文 | 16 | |
| 17 | C6d III c | ①[7.2] ③2.1 ④(49.2) | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：抉り、側面：括れ ②無文 | 44 | |
| 18 | B5c III c | ①1.9 ③1.1 ④4.7 | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内外面：凹み、側面：括れ ②無文、朱書き | 18 | |
| 19 | B5c III c | ①2.0 ③2.0 ④8.5 | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内面：凹み ②外面：刺穴、外周底い刺目 | 10 | |
| 20 | A14d IV a | ①4.4 ③2.5 ④67.5 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①麻丸方形 ②— | ①内外面：平坦 ②外面：刺目入りの中心円、上 下左右部半円、十字 | 97 | |
| 21 | C6b III c | ①1.2 ③1.1 ④[2.1] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み ②内外面：中心部軽突穴 | 29 | |
| 22 | C6a III c | ①1.7 ③1.4 ④[5.0] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①側面：括れ ②外面：二重沈線円、内面：中心 部軽突穴 | 28 | |
| 23 | B7a | ①1.4 ③1.6 ④4.1 | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み、側面：括れ ②内外面：刺穴 | 73 | |
| 24 | C6d III c | ①1.7 ③1.7 ④[5.8] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内面：凹み、側面：括れ ②外面：刺目入り二重円、朱書き | 40 | |
| 25 | C7c IV a | ①1.7 ③1.5 ④[4.9] | ①織紋 ③にい黄緑 ④完形 | ①紺土 ③にい黄緑 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内面：抉り ②外面：刺目入り二重円 | 86 | |
| 26 | C5a IV a | ①1.9 ③1.5 ④[5.4] | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内面：抉り ②外面：刺目入り二重円 | 91 | |
| 27 | C6d III c | ①2.9 ③1.7 ④[19.0] | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み ②内外面：満巣文中心部、刺突 穴、黒彩 | 42 | |
| 28 | B7d III c | ①5.0 ③1.5 ④[36.4] | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①[凹]レンズ ②— | ①内外面：凹み ②外面：上下左右部、二重半円 浮線文、中心部突起刺離版、黒彩 | 21 | |
| 29 | C7b III c | ①[4.9] ③2.0 ④(11.4) | ①織紋 ③貝殻 ④[3] | ①紺土 ③貝殻 ④[3] | 白形 | ①[ブリッジ] ②[松枝] | ①中心孔、内面：抉り ②外面：二封の刺目入り 満巣文、上部刺離版、朱書き | 52 | |
| 30 | C7a III c | ①3.2 ③1.3 ④[12.0] | ①織紋 ③貝殻 ④完形 | ①紺土 ③貝殻 ④完形 | 白形 | ①[ブリッジ] ②[松枝] | ①内面：抉り ②外面：刺目入り三重円、中心孔 | 47 | |
| 31 | C6c III c | ①[4.0] ③1.8 ④(4.7) | ①織紋 ③にい黄緑 ④[5] | ①紺土 ③にい黄緑 ④[5] | 白形 | ①[ブリッジ] ②[松枝] | ①内面：抉り ②ブリッジ基部に刺離痕 | 33 | |

| 番号 | グリッド 部位 | ①最大径 ②中心孔径 ③厚さ ④重さ | ①油土 ②色調 ③被成 ④保存度 | 形状 | ①断面形状 ②側面線 | ①整形・調整 ②装飾 | 登録番号 | 備考 |
|----|--------------|-------------------------------|-------------------------------|----|---------------|---|------|----|
| 32 | B5d III c | ①[6.2] ②— ③2.1 ④(10.6) | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/4 | 白形 | ①グリッジ ②上位 | ①内面：抉り ②外面：墨形文と刺突点入りの突起でブリッジ連結部を施文。朱塗り | 11 | |
| 33 | B12a IV b | ①6.7 ②0.8 ③2.3 ④61.5 | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/4 | 白形 | ①グリッジ ②上位 | ①中心孔、ブリッジ2本受形、内面：抉り ②外 面：外周削目、隨刻の墨形文、中心孔外周削目、朱塗り | 75 | |
| 34 | C6c III c | ①2.8 ②— ③1.6 ④8.1 | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/4 | 白形 | ①グリッジ ②中位 | ①内面：抉り ②外面：上下左右剥離突文、上下 部弧線文、朱塗り | 32 | |
| 35 | C8b IV a | ①[4.0] ②[2.2] ③1.3 ④(7.9) | ①粗粒 ③橙 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、側面：括れ ②無文 | 90 | |
| 36 | C7d III c | ①[5.0] ②[1.9] ③1.8 ④(7.8) | ①繊維 ③橙 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 56 | |
| 37 | O-1 フクド | ①[6.0] ②— ③1.5 ④(5.9) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/6 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 98 | |
| 38 | A13c IV b | ①[6.1] ②[5.7] ③2.2 ④(12.8) | ①繊維 ③灰褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 70 | |
| 39 | C7b III b | ①[7.4] ②[4.4] ③1.9 ④(10.0) | ①繊維 ③黒褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 48 | |
| 40 | C5d III c | ①[7.6] ②[5.2] ③2.4 ④(9.3) | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文、黒彩 | 27 | |
| 41 | C6c III c | ①[7.6] ②[5.6] ③2.0 ④(10.6) | ①繊維 ③黒褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文、黒彩 | 38 | |
| 42 | C8a IV a | ①[7.1] ②[4.1] ③2.1 ④(25.6) | ①繊維 ③橙 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 89 | |
| 43 | A13c IV b | ①[7.6] ②[4.5] ③2.1 ④(15.0) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 69 | |
| 44 | C6c III c | ①[8.0] ②[4.6] ③1.9 ④(12.2) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 36 | |
| 45 | A13c IV b | ①[8.0] ②[5.0] ③2.2 ④(12.2) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 71 | |
| 46 | C7c III c | ①[7.1] ②[5.8] ③1.8 ④(16.2) | ①繊維 ③黒褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②下位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文、黒彩 | 54 | |
| 48 | C8a II | ①[7.3] ②[5.3] ③1.6 ④(13.8) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 9 | |
| 49 | C8a III a | ①[7.1] ②[5.6] ③1.8 ④(19.8) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①逆レ ②中位 | ①内外面：磨き ②無文 | 57 | |
| 47 | B7d III c | ①[8.8] ②[5.0] ③2.5 ④(19.0) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/3 | 環状 | ①逆レ ②下位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文、黒彩 | 23 | |
| 50 | A12d IV b | ①[8.0] ②[2.2] ③1.9 ④(34.6) | ①繊維 ③灰白 ④良好 ⑤1/2 | 環状 | ①逆レ ②下位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 68 | |
| 51 | C8a IV a | ①[4.0] ②[1.6] ③1.3 ④(0.5) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き ②無文 | 88 | |
| 52 | C7b III b | ①[5.0] ②[2.1] ③2.0 ④(9.6) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/6 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：然れ ②無文 | 50 | |
| 53 | C5d III c | ①[6.0] ②[2.6] ③1.5 ④(18.2) | ①繊維 ③黒褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き ②無文 | 26 | |
| 54 | C8a IV a | ①[6.0] ②[2.6] ③1.7 ④(9.7) | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/6 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：然れ ②無文 | 93 | |
| 55 | C7d II | ①[7.0] ②[3.2] ③1.6 ④(7.7) | ①繊維 ③灰黃褐色 ④良好 ⑤1/5 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①— ②無文 | 8 | |
| 56 | C10b IV b | ①3.8 ②[2.4] ③1.7 ④(22.8) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内面：円形に抉り、外面：磨き ②無文 | 96 | |
| 57 | C8c III a | ①[6.5] ②[4.2] ③1.5 ④(11.4) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内面：沈線状に抉り ②無文 | 66 | |
| 58 | C8b III d | ①[7.9] ②[4.3] ③1.5 ④(16.2) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①外面：磨き ②無文 | 65 | |
| 59 | C8b III d | ①[7.0] ②[3.6] ③1.7 ④(15.2) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：然れ ②無文 | 60 | |
| 60 | C8a IV a | ①[7.8] ②[5.0] ③2.1 ④(11.0) | ①繊維 ③にぶい黄褐色 ④良好 ⑤1/8 | 環状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き ②無文 | 92 | |
| 61 | C6c III c | ①[2.0] ②[1.1] ③1.1 ④(1.0) | ①繊維 ③にぶい赤褐色 ④良好 ⑤1/4 | 環状 | ①病丸九方 ②— | ①内外面：平坦 ②無文 | 37 | |
| 62 | B9a IV a | ①[6.0] ②[4.4] ③1.8 ④(4.5) | ①繊維 ③灰褐色 ④良好 ⑤1/6 | 環状 | ①病丸方形 ②— | ①内外面：平坦 ②無文 | 101 | |

| 番号 | グリッド 部位 | ①最大径 ②中心孔径 ③厚さ ④重さ | ①油土 ②色調 ③構成 ④保存度 | 形状 | ①断面形状 ②内側複線 | ①整形・調整 ②装飾 | 登録番号 | 備考 |
|----|--------------|--------------------------------|-----------------------------|----|----------------|---|-----------|----|
| 63 | C10a II | ①[7.0] ②[5.3] ③1.8 ④(5.7) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④欠片 | 複状 | ①圓丸方型 ②- | ①内外面：平祖 ②無文 | 103 | |
| 64 | C7d II | ①[5.0] ②[4.1] ③1.8 ④(1.1) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④欠片 | 複状 | ①半橢円 ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②無文 | 7 | |
| 65 | C8a III a | ①[4.0] ②[3.0] ③1.8 ④(1.7) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④欠片 | 複状 | ①半橢円 ②中位 | ①内面：磨き ②無文 | 106 | |
| 66 | C8a II | ①[5.0] ②[5.0] ③1.7 ④(1.7) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④欠片 | 複状 | ①半橢円 ②中位 | ①内面：磨き ②無文 | 105 | |
| 67 | C6d III c | ①[5.0] ②— ③(1.5) ④(5.5) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/6 | 複状 | ①— ②— | ①内面：欠損、外面：磨き ②無文 | 43 | |
| 68 | B7a II | ①[4.0] ②[2.3] ③(1.9) ④(2.0) | ①繊維 ②良好 ③浅黄褐色 ④/12 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り ②外面：圓丸方型の沈線文 | 3 | |
| 69 | C5c IV a | ①[5.0] ②[3.2] ③2.1 ④(3.2) | ①繊維 ②良好 ③浅黄褐色 ④1/8 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：三叉文、内周沿いに沈線、黒彩、朱塗り | 80 | |
| 70 | C5d IV a | ①[6.4] ②[3.9] ③1.8 ④(4.5) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/5 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、側面：括れ ②外面：刻目入り書文 | 83 | |
| 71 | C7c III c | ①[6.9] ②[4.6] ③2.0 ④(6.5) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/6 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：三叉文か、黒彩 | 55 | |
| 72 | C7b III c | ①[7.2] ②[4.4] ③2.0 ④(15.6) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/3 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：突起 | 51 | |
| 73 | C5d IV a | ①[7.4] ②[4.9] ③2.1 ④(9.7) | ①繊維 ②良好 ③浅黄褐色 ④/4 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り ②外面：内周沿いに沈線1条 | 84 | |
| 74 | B13c IV a | ①[8.0] ②[5.3] ③2.3 ④(9.8) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/4 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：内周沿いに沈線1条 | 76 | |
| 75 | C6c III c | ①[7.6] ②[5.0] ③2.0 ④(15.8) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/4 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：刺突付き書文 | 39 | |
| 76 | B13d IV a | ①[6.1] ②[4.0] ③2.1 ④(6.7) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/4 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：陽刻の書形文 | 77 | |
| 77 | C8a IV a | ①[5.9] ②[3.9] ③2.2 ④(4.8) | ①繊維 ②良好 ③橙 ④/6 | 複状 | ①逆レ ②上位 | ①内面：抉り ②外面：沈線を抜み内外周刺突文、上部に三条の沈線入りの突起 | 100 • 104 | |
| 78 | C7b III b | ①[5.0] ②[3.6] ③1.8 ④(3.3) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/6 | 複状 | ①三角形 ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：内周沿いに沈線 | 49 | |
| 79 | C7c III c | ①[5.0] ②[3.2] ③2.1 ④(2.7) | ①繊維 ②良好 ③橙 ④/6 | 複状 | ①三角形 ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：圓丸方型の沈線文 | 53 | |
| 80 | B5c II | ①[5.0] ②[3.5] ③2.1 ④(4.0) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④欠片 | 複状 | ①三角形 ②上位 | ①内面：抉り ②外面：圓丸方型の沈線文 | 102 | |
| 81 | C6b III c | ①[7.0] ②— ③2.3 ④(5.0) | ①繊維 ②良好 ③黑 ④/5 | 複状 | ①三角形 ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②内面：陽刻の書形文、外面：三叉文の一部か、朱塗り、内外面：黒彩 | 39 | |
| 82 | A12d IV b | ①[8.0] ②[5.4] ③2.5 ④(7.7) | ①繊維 ②良好 ③明赤褐色 ④/5 | 複状 | ①三角形 ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き、側面：括れ ②無文 | 67 | |
| 83 | C8b III d | ①[5.0] ②[2.0] ③2.2 ④(8.6) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/8 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き ②織長の膝鼻状突起の一端 | 61 | |
| 84 | B9a IV a | ①[5.5] ②[3.2] ③2.1 ④(14.4) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/2 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：括れ ②外面：上下左右部、膝鼻状突起、二重の沈線文 | 74 | |
| 85 | C6c III c | ①[5.6] ②[3.4] ③1.8 ④(8.9) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/4 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：括れ ②外面：外周から沈線2条、膝鼻状突起 | 34 | |
| 86 | C5c III c | ①[6.4] ②[4.6] ③2.1 ④(4.5) | ①微細 ②良好 ③灰褐色 ④/5 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：括れ ②外面：三叉文、黒彩 | 24 | |
| 87 | C8a III c | ①[7.2] ②[5.0] ③2.1 ④(6.6) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/6 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：二重溝脊文、朱塗り | 59 | |
| 88 | C7b II | ①[6.4] ②[3.9] ③2.3 ④(7.8) | ①繊維 ②良好 ③橙 ④/6 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内面：抉り、外面へ向かい外反 ②外面：外周刺突文、圓丸方型の沈線文、朱塗り | 5 • 6 | |
| 89 | B5d III c | ①[7.7] ②[4.6] ③1.8 ④(35.8) | ①微細 ②良好 ③橙 ④/2/3 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：上下左右部、刺突入りに三条一起屈 | 12 | |
| 90 | C8b III d | ①[7.1] ②[3.9] ③1.8 ④(5.5) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/5 | 複状 | ①三角形 ②中位 | ①内外面：磨き、側面：括れ ②外面：沈線で施、朱塗り | 62 | |
| 91 | C8b III d | ①[6.0] ②[3.4] ③2.0 ④(10.4) | ①繊維 ②良好 ③にい青緑 ④/4 | 複状 | ①三角形 ②下位 | ①内外面：磨き ②外面：三叉文か？、膝鼻状突起 | 64 | |
| 92 | C6c III c | ①[5.9] ②[3.2] ③1.6 ④(3.3) | ①繊維 ②良好 ③灰褐色 ④/4 | 複状 | ①テラス ②上位 | ①内面：抉り、外面へ向かって外反 ②外面：テラス内周刺突 | 35 | |
| 93 | C8b IV a | ①[4.6] ②[3.1] ③(1.0) ④(2.1) | ①繊維 ②良好 ③浅黄褐色 ④/6 | 複状 | ①テラス ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②テラス部外面：刻目 | 94 | |

| 番号 | グリッド 部位 | ①最大径 ③厚さ ④重さ | ①胎土 ②色調 ③複数 | ②焼成 ④保存度 | 形状 | ①断面形状 ②内側棱線 | ①整形・調整 ②装飾 | 登録番号 | 備考 |
|-----|--------------|---------------------------|-------------------|--------------|----|----------------|---|------|----|
| 94 | C7c IV a | ①4.8 ③2.2 ④36.2 | ①細粒 ③複数 | ②良好 ④9/10 | 環状 | ①テラス ②中位 | ①内面：抉り、側面：括れ ②外面：八方向に三叉文、上部に刻目入り弧線文、テラス内周刻目、外周弦紋、朱書き | 87 | |
| 95 | C5d III c | ①[5.1] ③1.8 ④(7.9) | ①細粒 ③複数 | ②良好 ④6 | 環状 | ①テラス ②中位 | ①内面：抉り ②外面：テラス内周刻目、雷形文 | 25 | |
| 96 | C5c IV a | ①[5.3] ③1.8 ④(8.4) | ①細粒 ③によい黄褐色 | ②良好 ④1/2 | 環状 | ①テラス ②中位 | ①外面：磨き、内面：抉り ②外面：テラス外周弦紋、内周刻目、三叉文の一部 | 81 | |
| 97 | C9b | ①[4.7] ③2.0 ④(5.3) | ①細粒 ③複数 | ②良好 ④4/4 | 環状 | ①テラス ②下位 | ①内面：抉り、外面：磨き、側面：括れ ②外面：刻目入りの三叉文 | 95 | |
| 98 | A13d IV b | ①[3.7] ③1.7 ④(4.3) | ①細粒 ③によい黄褐色 | ②良好 ④1/3 | 環状 | ①アーリッジ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②外面：雷形文でアーリッジ連続部を施す、朱書き | 72 | |
| 99 | C5c IV a | ①[5.7] ③2.1 ④(6.0) | ①細粒 ③黒褐色 | ②良好 ④8/8 | 環状 | ①アーリッジ ②上位 | ①内外面：磨き ②外面：刺突文入り三叉文、黒彩、朱書き | 82 | |
| 100 | B1c III c | ①[6.7] ③2.3 ④(21.0) | ①細粒 ③によい黄褐色 | ②良好 ④1/2 | 環状 | ①アーリッジ ②上位 | ①内面：抉り、外面：磨き、側面：括れ ②外面：上下1本アーリッジ、上部三叉文、外周雷形文 | 20 | |
| 101 | B6d II | ①[5.0] ③1.8 ④2.6 | ①微細 ③黒 | ②良好 ④8/8 | 環状 | ①アーリッジ ②中位 | ①内面：抉り、外面：磨き ②アーリッジ基部のみ、黒彩 | 2 | |

*遺物の観察表を作成したが画面の都合上、実測図を割載したものも存在する。
注 ①グリッドは、大グリッド（アルファベット大文字+数字）、小グリッド（アルファベット小文字）の順で示し、部位は、遺物包含層セクションの部位を使用した。

②最大径・中心孔径・厚さの単位はcmで、重さの単位はgである。現存値を（ ）
、復元値を〔 〕で示した。

③胎土は、泥質（0.9mm以下）、中粒（1.0~1.9mm）、粗粒（2.0mm以上）とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名を記載した。

④焼成は、極良・良好・不良の三段階とした。

Tab. 5 石器数量組成表

| | 黒曜石 | チャート | ホルンフェルス | 無色白岩 | 珪質白岩 | 黑色安山岩 | 頁岩 | 安山岩 | 細粒安山岩 | 粗粒安山岩 | 砂岩 |
|---------|-----|------|---------|------|------|-------|----|-----|-------|-------|----|
| 石 鋸 | 13 | 145 | 4 | 72 | 4 | 28 | | 1 | | | |
| 石鋸未製品 | 2 | 32 | | 24 | 1 | 2 | | | | | |
| 石 剣 | | | | 4 | | | | | | | |
| 石槍未製品 | | | | | | | | | | | |
| 石槍玉バーナー | | | | | | | | | | | |
| 石 鋸 | | 7 | | 12 | 1 | | | | | | |
| 打製石斧 | | | 16 | 16 | | | 1 | | 1 | | 1 |
| 磨製石斧 | | | | | | | | | | | |
| 砥 石 | | | | | | | | | | | 3 |
| 石 槌 | | | | | | | | | | | |
| 岩 盆 | | | | | | | | | | | |
| 笠置の丸盤 | | 1 | | 3 | | | | | | | |
| 笠置の丸鉢 | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| 最 石 | 1 | 1 | | | | 2 | | | 4 | | 2 |
| 凹 石 | | | | | | | 1 | | 34 | | |
| 磨 石 | | | | | | | | | 26 | | |
| 石 盆 | | | | | | | | | 18 | | |
| 縛 の 築 | | | | | | | | | 9 | | |
| 縛 入 球 | | | | | | | | | | | |
| 縛 球 | | | | | | | | | | | |
| 耳 球 | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 15 | 187 | 22 | 134 | 6 | 31 | 3 | 2 | 1 | 91 | 7 |

Tab. 6 石器重量組成表

| | 黒曜石 | チャート | ホルンフェルス | 無色白岩 | 珪質白岩 | 黑色安山岩 | 頁岩 | 安山岩 | 細粒安山岩 | 粗粒安山岩 | 砂岩 |
|---------|-------|-------|---------|---------|------|-------|---------|-------|----------|-----------|-------|
| 石 鋸 | 7.4 | 326.9 | 4.8 | 300.5 | 10.8 | 44.8 | | | 3.7 | | |
| 石鋸未製品 | 4.6 | 176.2 | | 133.4 | 4.7 | 10.5 | | | | | |
| 石 剣 | | | | 67.8 | | | | | | | |
| 石槍未製品 | | | | 52.0 | | | | | | | |
| 石槍玉バーナー | 20.4 | 102.5 | 226.3 | | | | | | | | |
| 石 鋸 | | 19.8 | | 43.2 | 0.5 | | | | | | |
| 打製石斧 | | | 4,888.8 | 1,680.5 | | | 180.0 | 110.0 | | 126.0 | |
| 磨製石斧 | | | | | | | | | | 8.3 | |
| 砥 石 | | | | | | | | | | 118.0 | |
| 石 槌 | | | | | | | | | | | |
| 岩 盆 | | | | | | | | | | | |
| 笠置の丸盤 | | 2.3 | | 47.5 | | | | | | | |
| 笠置の丸鉢 | | | | 19.6 | | 16.0 | | | | | |
| 最 石 | 170.0 | 37.2 | | | | | 1,350.5 | | 1,021.8 | | 551.0 |
| 凹 石 | | | | | | | | 664.0 | 22,341.0 | | |
| 磨 石 | | | | | | | | | 18,487.0 | | |
| 石 盆 | | | | | | | | | 61,651.0 | | |
| 縛 の 築 | | | | | | | | | 32,730.0 | | |
| 縛 入 球 | | | | | | | | | | | |
| 縛 球 | | | | | | | | | | | |
| 耳 球 | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 12.0 | 715.6 | 5,033.3 | 2,620.8 | 16.0 | 71.3 | 1,730.5 | 667.7 | 110.0 | 136,590.8 | 803.3 |

*石器の重量はg

Tab. 4 土製品觀察表

| 番号 | ブリッド/層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|----|-----------|---------|-------|-------|-------|------|-----|------|----------|
| 1 | A13d/IV b | 土偶 | (3.3) | 4.4 | 1.9 | 19.6 | 1/2 | 1 | 頭部・胸部・胸郭 |
| 2 | C6d/IV a | 土偶 | (2.5) | 2.5 | 2.0 | 10.0 | 片足 | 2 | |
| 3 | B6b/III c | 土偶 | (4.2) | (1.9) | (2.0) | 15.4 | 片脚 | 6 | |
| 4 | B9b/IV a | 漆飾具 | 2.4 | 2.2 | 0.5 | 4.5 | 完形 | 4 | 漆貝製品模倣 |
| 5 | B9a/IV a | ミニチュア土偶 | (4.5) | 5.7 | — | 75.5 | 台部 | 5 | |
| 6 | C8b/III d | 手彌形土製品 | (7.0) | (3.9) | 1.7 | 36.0 | 1/2 | 8 | 把手部 |

注 ①グリッドは、大グリッド(アルファベット大文字+数字)、小グリッド(アルファベット小文字)の順で示し、層位は、遺物名各層セクションの層位を使用した。

②最大長・最大幅・最大厚の単位はcmで、重さの単位はgである。現存値を()、復元値を[]で示した。

| 泥岩 | 凝灰岩 | 粘板岩 | 蛇紋岩 | 滑石 | 結晶片岩 | 緑泥片岩 | 硬質頁岩 | 玉 銀 | めのう | 石 灰 | 合 計 |
|----|-----|-----|-----|----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | 8 | 2 | 2 | 1 | 280 |
| | | | | | | | 1 | | | | 62 |
| | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | 1 | | | 10 |
| | | | | | | | 1 | 1 | | | 22 |
| | | | | | | | | | 1 | | 30 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | 7 |
| | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 10 |
| | | | | | | | | | | | 35 |
| | | | | | | | | | | | 26 |
| | | | | | | | | | | | 18 |
| | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 1 |
| 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 2 | | | |
| | | | | | | | | | | | 7 |
| | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 10 |
| | | | | | | | | | | | 35 |
| | | | | | | | | | | | 26 |
| | | | | | | | | | | | 18 |
| | | | | | | | | | | | 9 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | 534 |

| 泥岩 | 凝灰岩 | 粘板岩 | 蛇紋岩 | 滑石 | 結晶片岩 | 緑泥片岩 | 硬質頁岩 | 玉 銀 | めのう | 石 灰 | 合 計 |
|-------|-------|------|-------|-----|-------|---------|------|-----|-----|-----|-----------|
| | | | | | | | 21.1 | 1.6 | 1.7 | 5.4 | 228.7 |
| | | | | | | | 2.1 | | | | 331.5 |
| | | | | | | | | | | | 67.8 |
| | | | | | | | | | | | 52.0 |
| | | | | | | | 17.4 | | | | 416.6 |
| | | | | | | | 1.4 | | | | 66.1 |
| | | | | | | | | | 1.2 | | 7,185.3 |
| | | | | | | | | | | | 168.3 |
| | | | | | | | | | | | 118.0 |
| 15.2 | | | 12.4 | | | 3,774.5 | | | | | 3,802.1 |
| | | | | | | | | | | | 599.8 |
| | | | | | | | | | | | 49.8 |
| | | | | | | | | | | | 35.6 |
| | | | | | | | | | | | 3,330.5 |
| | | | | | | | | | | | 23,005.0 |
| | | | | | | | | | | | 18,847.0 |
| | | | | | | | | | | | 61,651.0 |
| | | | | | | | | | | | 32,730.0 |
| 450.0 | | | | | 137.0 | | | | | | 587.0 |
| | | | | | 2.5 | | | | | | 2.5 |
| | | | | | | 6.1 | | | | | 6.1 |
| 465.2 | 599.8 | 12.4 | 162.5 | 6.1 | 337.0 | 3,774.5 | 42.0 | 1.6 | 2.9 | 5.4 | 153,780.7 |

Tab. 7 石錠観察表

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|----|-----------|-----|------|------|------|-----|-----|----------|-------|------------------------|
| 1 | C6a／II | 石錠 | 平基有茎 | 14.2 | 18.2 | 4.2 | 1.1 | チャート | 56 | 先端・茎部欠損・被熱? |
| 2 | C5d／III c | 石錠 | 平基有茎 | 15.0 | 14.0 | 5.0 | 0.5 | チャート | 164 | 茎部欠損 |
| 3 | C5c／III a | 石錠 | 平基有茎 | 17.9 | 15.2 | 4.1 | 0.9 | 黒色安山岩 | 53 | 先端欠損 |
| 4 | B5d／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 18.0 | 10.7 | 2.9 | 0.6 | チャート | 170 | |
| 5 | C5d／III c | 石錠 | 平基有茎 | 19.5 | 15.7 | 4.9 | 1.2 | 黒色頁岩 | 181 | 先端・茎部欠損 |
| 6 | C5d／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 21.2 | 13.6 | 3.4 | 0.7 | 黒曜石 | 206 | 茎部欠損 |
| 7 | C6c／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 21.4 | 13.7 | 4.0 | 0.9 | 黒色安山岩 | 205 | 先端・側縁部欠損(衝撃剥離)・側面縁・J-内 |
| 8 | C9b／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 21.7 | 11.4 | 3.4 | 0.8 | チャート | B-7 | |
| 9 | C6b／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 22.0 | 15.0 | 4.3 | 1.1 | チャート | 202 | |
| 10 | 表錠 | 石錠 | 平基有茎 | 22.1 | 19.6 | 6.5 | 2.2 | チャート | B-20 | |
| 11 | C5d／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 24.0 | 15.4 | 4.7 | 1.3 | 黒色安山岩 | 103 | 先端欠損 |
| 12 | C5d／II | 石錠 | 平基有茎 | 25.8 | 13.9 | 4.8 | 1.2 | ホルンシュエルス | 256 | 先端・茎部・側縁部欠損・側面縁 |
| 13 | J-1(住床下) | 石錠 | 平基有茎 | 27.2 | 12.2 | 4.5 | 1.1 | 黒色安山岩 | 201 | |
| 14 | C5d／III c | 石錠 | 平基有茎 | 28.0 | 12.1 | 3.9 | 1.0 | 黒色頁岩 | 82 | 茎部欠損・側面縁 |
| 15 | B6d／III c | 石錠 | 平基有茎 | 29.0 | 16.7 | 3.1 | 1.0 | チャート | B-5 | |
| 16 | C5c／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 32.5 | 15.8 | 4.7 | 1.3 | 黒色安山岩 | 126 | |
| 17 | C7c／IV a | 石錠 | 平基有茎 | 34.5 | 15.7 | 4.4 | 1.3 | 社會頁岩 | 212 | 側面縁 |
| 18 | C7b／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 18.1 | 15.0 | 3.2 | 0.8 | チャート | 298 | 先端・茎部欠損・側面縁 |
| 19 | C5c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 26.5 | 14.9 | 4.7 | 1.0 | 黒色頁岩 | 93 | 茎部欠損・側面縁 |
| 20 | C7b／II | 石錠 | 凸基有茎 | 27.7 | 13.4 | 4.4 | 1.1 | 黒色安山岩 | 65 | 先端・基部再加工・側面縁 |
| 21 | C5b／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 13.9 | 7.2 | 1.7 | 0.2 | 黒色安山岩 | 104 | |
| 22 | C5d／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 14.6 | 9.7 | 4.2 | 0.5 | 黒曜石 | 160 | 茎部欠損 |
| 23 | B7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 15.0 | 6.7 | 3.3 | 0.3 | 黒曜石 | B-53 | |
| 24 | C8b／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 15.2 | 13.4 | 4.0 | 0.7 | チャート | 89 | 茎部欠損 |
| 25 | C6c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 15.5 | 14.6 | 5.0 | 0.7 | 黒色安山岩 | B-93 | 先端部欠損 |
| 26 | C7a／II | 石錠 | 凸基有茎 | 15.6 | 10.0 | 3.6 | 0.4 | 黒曜石 | 51 | 茎部欠損 |
| 27 | C7b／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 15.8 | 11.6 | 4.2 | 0.6 | 黒曜石 | 183 | 先端・茎部欠損 |
| 28 | C6c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 16.4 | 11.3 | 3.0 | 0.5 | チャート | 88 | 先端欠損 |
| 29 | B5d／II | 石錠 | 凸基有茎 | 16.4 | 12.8 | 4.9 | 0.7 | チャート | 10 | 上半部欠損 |
| 30 | C7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 16.7 | 11.0 | 4.3 | 0.5 | メノウ | 179 | |
| 31 | C7b／II a | 石錠 | 凸基有茎 | 17.6 | 11.0 | 4.1 | 0.6 | 社會頁岩 | 3 | 茎部欠損・被熱 |
| 32 | C5b／II | 石錠 | 凸基有茎 | 17.7 | 10.2 | 4.5 | 0.6 | 黒色頁岩 | 57 | 先端・茎部欠損 |
| 33 | C7d／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 17.7 | 14.2 | 4.0 | 0.7 | チャート | 172 | |
| 34 | C5d／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 17.8 | 12.5 | 3.4 | 0.5 | チャート | 193 | 茎部欠損 |
| 35 | C6c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 18.0 | 10.4 | 5.3 | 0.7 | チャート | 162 | |
| 36 | C7c／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 18.0 | 12.3 | 3.9 | 0.9 | 黒曜石 | 196 | 先端・茎部欠損 |
| 37 | B6c／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 18.5 | 25.0 | 8.0 | 3.8 | チャート | B-47 | 基部のみ |
| 38 | C7c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 18.6 | 12.6 | 4.3 | 0.9 | チャート | B-55 | 衝撃剥離あり |
| 39 | C7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 18.8 | 12.1 | 3.5 | 0.7 | チャート | B-17 | |
| 40 | C7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 19.3 | 26.6 | 7.2 | 3.8 | チャート | B-111 | |
| 41 | C7b／III b | 石錠 | 凸基有茎 | 19.5 | 15.0 | 3.6 | 1.0 | チャート | B-65 | |
| 42 | C5b／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 19.6 | 11.3 | 4.4 | 0.9 | チャート | 211 | 先端欠損・付着物有り |
| 43 | C7c／IV a | 石錠 | 凸基有茎 | 19.6 | 12.0 | 5.0 | 0.7 | 黒曜石 | B-54 | |
| 44 | C7d／III d | 石錠 | 凸基有茎 | 19.6 | 12.8 | 4.0 | 0.7 | チャート | 133 | |
| 45 | B5d／II | 石錠 | 凸基有茎 | 19.6 | 22.0 | 4.8 | 2.6 | 黒色頁岩 | B-88 | |
| 46 | C7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 19.7 | 11.7 | 4.0 | 0.7 | チャート | 189 | 先端欠損 |
| 47 | C5c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 19.8 | 12.1 | 4.4 | 0.9 | チャート | 171 | 先端・茎部欠損 |
| 48 | B5d／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 19.9 | 7.4 | 3.8 | 1.1 | チャート | 109 | 先端欠損・付着物有り |
| 49 | C7a／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 20.0 | 16.9 | 5.5 | 1.8 | チャート | 192 | 先端・茎部欠損・両側技法 |
| 50 | C7b／II | 石錠 | 凸基有茎 | 20.0 | 17.5 | 5.0 | 1.8 | チャート | B-82 | |
| 51 | C6c／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 20.1 | 13.1 | 4.8 | 1.2 | チャート | B-97 | |
| 52 | C5d／II a | 石錠 | 凸基有茎 | 20.2 | 11.7 | 4.5 | 0.8 | チャート | 155 | |
| 53 | C7b／II | 石錠 | 凸基有茎 | 20.2 | 12.7 | 4.4 | 0.9 | チャート | 52 | 先端欠損 |
| 54 | A12a／IV b | 石錠 | 凸基有茎 | 20.3 | 9.5 | 3.0 | 0.4 | チャート | 246 | |
| 55 | C6c／II a | 石錠 | 凸基有茎 | 20.3 | 11.7 | 3.5 | 0.6 | チャート | 134 | |
| 56 | C5d／III c | 石錠 | 凸基有茎 | 20.3 | 13.4 | 5.7 | 1.4 | チャート | 74 | 先端・茎部欠損 |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|-----------|-------|------|------|------|------|-----|---------|-------|----------------|
| 57 | C7b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.3 | 15.0 | 3.8 | 0.9 | チャート | 197 | 先端欠損 |
| 58 | C6b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.3 | 26.9 | 7.9 | 4.9 | チャート | B-119 | |
| 59 | C7a/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.5 | 14.2 | 3.7 | 1.1 | チャート | 191 | 先端・茎部欠損 |
| 60 | C6a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 20.5 | 18.4 | 4.5 | 1.3 | チャート | 132 | 先端欠損 |
| 61 | C6c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.6 | 8.6 | 3.0 | 0.4 | チャート | 163 | |
| 62 | C7c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.7 | 14.5 | 4.3 | 1.1 | チャート | 169 | 先端欠損 |
| 63 | B6c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.8 | 11.2 | 4.4 | 0.8 | 黒色安山岩 | 92 | 茎部欠損 |
| 64 | C6c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 20.8 | 13.7 | 3.2 | 0.7 | 黒曜石 | 98 | 先端欠損 |
| 65 | C7b/II | 石織 | 凸基有茎 | 20.8 | 17.1 | 7.9 | 1.8 | チャート | 35 | 上半部欠損 |
| 66 | C5c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.0 | 13.9 | 3.6 | 0.7 | チャート | 38 | |
| 67 | C6d/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.1 | 13.1 | 4.0 | 0.7 | チャート | 147 | |
| 68 | B10c/IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 21.1 | 19.7 | 6.0 | 2.1 | 破壊頁岩 | 33 | 上半部欠損 |
| 69 | C5c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.2 | 10.3 | 3.7 | 0.7 | チャート | 54 | |
| 70 | C6c/II a | 石織 | 凸基有茎 | 21.2 | 14.3 | 7.0 | 1.6 | チャート | 137 | 先端欠損 |
| 71 | B1d/II | 石織 | 凸基有茎 | 21.3 | 17.4 | 5.6 | 1.5 | チャート | 115 | 先端欠損 |
| 72 | C8a/II | 石織 | 凸基有茎 | 21.4 | 12.0 | 4.1 | 0.7 | チャート | 77 | |
| 73 | B6b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.4 | 14.9 | 4.6 | 1.2 | 黒色安山岩 | 176 | 先端・茎部欠損 |
| 74 | C8a/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.5 | 12.3 | 3.6 | 0.6 | ホルンフェルス | 27 | 先端部再調整 |
| 75 | B6c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 21.5 | 13.5 | 5.5 | 1.2 | チャート | 207 | 石織に転用 |
| 76 | C7a/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.5 | 17.4 | 5.6 | 1.6 | チャート | 177 | 先端・茎部欠損・石織に転用? |
| 77 | C6d/II a | 石織 | 凸基有茎 | 21.5 | 19.4 | 6.8 | 3.0 | 黒色頁岩 | B-87 | 先端部欠損 |
| 78 | C6a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 21.6 | 9.6 | 4.1 | 0.5 | 黒曜石 | 110 | |
| 79 | C5c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 21.6 | 10.0 | 3.6 | 0.6 | チャート | 128 | |
| 80 | C8a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 21.9 | 12.0 | 4.5 | 1.0 | チャート | 78 | |
| 81 | C6d/III c | 石織 | 凸基有茎 | 21.9 | 16.3 | 3.0 | 0.9 | チャート | B-12 | |
| 82 | C6c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 22.0 | 16.2 | 3.8 | 1.1 | チャート | 151 | 先端欠損 |
| 83 | C7b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 22.0 | 17.0 | 4.5 | 1.3 | チャート | 198 | 先端欠損 |
| 84 | C8a/II | 石織 | 凸基有茎 | 22.2 | 15.6 | 4.5 | 0.9 | チャート | 60 | |
| 85 | C5c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 22.4 | 24.8 | 11.2 | 4.7 | チャート | B-51 | 基部のみ |
| 86 | B13c/不明 | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 12.2 | 4.5 | 1.1 | チャート | 114 | 先端欠損(衝撃剥離) |
| 87 | C9b/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 14.1 | 3.8 | 0.9 | チャート | 91 | 茎部欠損・付着物有り |
| 88 | C10a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 16.3 | 6.4 | 1.5 | チャート | 161 | |
| 89 | C8a/III c | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 17.0 | 4.2 | 1.3 | 黒色頁岩 | 44 | 先端欠損・石織に再加工 |
| 90 | C6b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 17.0 | 6.2 | 2.2 | 黒色頁岩 | B-34 | |
| 91 | C8b/II a | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 17.8 | 5.3 | 1.3 | 黒色頁岩 | 138 | |
| 92 | C6a/III c | 石織 | 凸基有茎 | 22.5 | 22.2 | 8.1 | 4.6 | チャート | B-112 | |
| 93 | B10a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 22.6 | 12.9 | 5.5 | 1.1 | チャート | 14 | |
| 94 | B8d/II a | 石織 | 凸基有茎 | 22.6 | 13.4 | 4.1 | 0.9 | 黒色頁岩 | 142 | 先端・茎部欠損 |
| 95 | C6c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 22.7 | 16.1 | 4.1 | 0.9 | チャート | 173 | 表面被膜? |
| 96 | C5c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 23.0 | 13.8 | 6.4 | 1.6 | 黒色安山岩 | 149 | 茎部欠損(新) |
| 97 | C7b/II | 石織 | 凸基有茎 | 23.0 | 14.0 | 4.6 | 1.1 | 黒色頁岩 | 59 | 先端・茎部欠損(新) |
| 98 | A13c/IV b | 石織 | 凸基有茎 | 23.1 | 15.3 | 4.8 | 1.3 | チャート | 200 | 先端欠損 |
| 99 | C6c/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 23.1 | 17.2 | 4.2 | 1.3 | チャート | 130 | 先端欠損・付着物有り |
| 100 | C8a/II | 石織 | 凸基有茎 | 23.2 | 13.9 | 4.7 | 1.1 | チャート | 61 | |
| 101 | C5d/III c | 石織 | 凸基有茎 | 23.3 | 13.4 | 4.0 | 0.9 | チャート | 34 | 先端・茎部欠損 |
| 102 | C5c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 23.3 | 15.6 | 2.9 | 1.4 | 黒色頁岩 | B-35 | |
| 103 | B10a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 23.4 | 15.1 | 4.4 | 1.4 | チャート | 20 | 茎部欠損・両極技法 |
| 104 | C6c/III c | 石織 | 凸基有茎 | 23.4 | 21.3 | 7.5 | 3.6 | チャート | B-92 | 先端部欠損 |
| 105 | B10d/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 23.5 | 12.8 | 6.1 | 1.6 | チャート | 209 | 石織に転用(先端削耗) |
| 106 | C6b/III c | 石織 | 凸基有茎 | 23.6 | 18.3 | 6.8 | 2.0 | チャート | B-30 | |
| 107 | C7c/IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 23.6 | 19.2 | 5.5 | 2.2 | チャート | 121 | 上半欠損 |
| 108 | C10a/IV a | 石織 | 凸基有茎 | 23.7 | 16.8 | 5.8 | 1.5 | チャート | 204 | 先端欠損・石織に転用か? |
| 109 | A12d/IV b | 石織 | 凸基有茎 | 23.7 | 19.8 | 7.0 | 2.2 | チャート | 251 | |
| 110 | B11c/IV b | 石織 | 凸基有茎 | 23.8 | 13.4 | 5.0 | 1.6 | 珪質頁岩 | B-62 | 衝撃剥離あり |
| 111 | C7a/II | 石織 | 凸基有茎 | 24.0 | 11.0 | 5.3 | 1.1 | 玉髓 | 70 | |
| 112 | C7b/III b | 石織 | 凸基有茎 | 24.0 | 12.3 | 4.1 | 1.0 | 黒色頁岩 | 30 | 先端欠損・付着物有り |
| 113 | A13c/IV b | 石織 | 凸基有茎 | 24.0 | 18.9 | 4.5 | 1.2 | チャート | B-63 | |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|-----------|-------|------|------|------|-----|-----|----------|------|---------------------|
| 114 | C8a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 24.2 | 17.6 | 4.1 | 1.7 | チャート | 48 | 先端・茎部欠損(衝撃剥離) |
| 115 | C8b/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 24.3 | 17.3 | 4.8 | 1.6 | 黒色安山岩 | 90 | 茎部欠損 |
| 116 | B7b/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 24.5 | 15.3 | 5.8 | 1.9 | チャート | B-2 | |
| 117 | B5d/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 24.5 | 19.2 | 7.9 | 3.2 | 黒曜石 | 6 | 両極技術 |
| 118 | C7d/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 24.8 | 19.8 | 4.5 | 1.7 | チャート | B-23 | 基部のみ |
| 119 | 表探 | 石繩 | 凸基有茎 | 24.9 | 16.0 | 5.9 | 1.6 | チャート | 94 | 先端・茎部欠損・台着物有り |
| 120 | C6a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 25.0 | 12.4 | 4.7 | 1.1 | チャート | 55 | |
| 121 | C6c/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.0 | 12.9 | 4.5 | 0.8 | チャート | 112 | |
| 122 | C6c/II a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.1 | 11.8 | 6.0 | 1.2 | チャート | 139 | 茎部欠損・付着物有り |
| 123 | C7c/IV a | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 25.1 | 22.2 | 8.7 | 4.6 | チャート | 120 | 上半欠損 |
| 124 | C9a/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.3 | 12.6 | 4.3 | 1.1 | チャート | 85 | 茎部欠損・断面縫 |
| 125 | C6b/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 25.3 | 17.3 | 4.8 | 2.0 | 黒色頁岩 | B-31 | |
| 126 | C5c/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.4 | 12.4 | 5.3 | 1.1 | チャート | 101 | 先端欠損 |
| 127 | A12d/IV b | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 25.6 | 12.5 | 6.3 | 1.4 | 黒曜石 | 244 | |
| 128 | C5a/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.6 | 13.4 | 5.4 | 1.3 | チャート | 210 | |
| 129 | C5c/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 25.6 | 15.5 | 4.0 | 1.2 | 黒色頁岩 | B-11 | 衝撃剥離あり |
| 130 | C10a/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.9 | 16.4 | 4.5 | 1.6 | ホルンシーフルス | 203 | 先端欠損 |
| 131 | C6c/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 25.9 | 19.7 | 4.3 | 1.9 | チャート | 129 | 先端欠損 |
| 132 | B12b/IV b | 石繩 | 凸基有茎 | 26.0 | 13.0 | 6.0 | 1.4 | 黒色頁岩 | 146 | 先端欠損 |
| 133 | C6d/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 26.0 | 13.3 | 3.8 | 1.0 | 黒色安山岩 | 75 | 茎部欠損・断面縫 |
| 134 | C7b/III b | 石繩 | 凸基有茎 | 26.0 | 16.4 | 5.7 | 1.6 | チャート | 29 | 先端欠損(衝撃剥離) |
| 135 | C5c/II a | 石繩 | 凸基有茎 | 26.6 | 10.0 | 3.7 | 0.9 | チャート | 144 | |
| 136 | A12b/IV b | 石繩 | 凸基有茎 | 26.6 | 14.1 | 5.3 | 1.4 | 硬質頁岩 | 247 | 先端欠損 |
| 137 | C6a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 26.6 | 15.5 | 4.5 | 1.4 | 黒色安山岩 | 182 | |
| 138 | C5d/IV a | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 26.8 | 21.4 | 6.7 | 3.9 | チャート | 111 | 両極技術 |
| 139 | 試掘トレンドチ | 石繩 | 凸基有茎 | 27.0 | 11.0 | 5.5 | 1.4 | ホルンシーフルス | 9 | |
| 140 | C7b/II | 石繩 | 凸基有茎 | 27.1 | 10.3 | 5.5 | 1.1 | 黒色安山岩 | 45 | |
| 141 | C6a/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 27.1 | 22.0 | 4.2 | 2.4 | 黒色頁岩 | 62 | 先端欠損 |
| 142 | B7c/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 27.3 | 15.8 | 6.0 | 2.2 | チャート | 157 | |
| 143 | B5d/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 27.3 | 19.3 | 7.4 | 3.4 | チャート | B-43 | |
| 144 | B7a/II | 石繩 | 凸基有茎 | 27.4 | 10.8 | 6.4 | 1.5 | チャート | 25 | |
| 145 | C6c/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 27.4 | 15.6 | 4.6 | 1.4 | チャート | 95 | |
| 146 | C7c/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 27.6 | 10.7 | 3.9 | 0.9 | チャート | 189 | |
| 147 | B6c/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 27.6 | 12.3 | 5.5 | 1.2 | メノウ | 99 | |
| 148 | C7b/II | 石繩 | 凸基有茎 | 27.6 | 14.0 | 4.6 | 1.2 | チャート | 1 | |
| 149 | C6c/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 27.7 | 18.7 | 7.0 | 1.5 | チャート | 71 | |
| 150 | C6d/II a | 石繩 | 凸基有茎 | 27.8 | 12.1 | 6.8 | 1.4 | チャート | 135 | |
| 151 | C9a/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 27.8 | 15.3 | 4.5 | 1.3 | チャート | 79 | |
| 152 | C6c/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 27.9 | 15.4 | 5.9 | 2.1 | チャート | 87 | 先端欠損 |
| 153 | C6d/II a | 石繩 | 凸基有茎 | 28.0 | 13.3 | 4.0 | 1.3 | 黒色頁岩 | 143 | 茎部欠損 |
| 154 | B5d/II | 石繩 | 凸基有茎 | 28.1 | 15.8 | 4.9 | 1.9 | チャート | 8 | |
| 155 | C6a/IV a | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 28.1 | 17.3 | 5.9 | 2.4 | チャート | 154 | 先端欠損・両極技術 |
| 156 | C5d/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 28.1 | 20.7 | 5.8 | 3.5 | 黒色頁岩 | B-58 | J-1佳 |
| 157 | C6a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 28.2 | 15.9 | 5.2 | 1.4 | 黒色頁岩 | 188 | |
| 158 | B9a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 28.3 | 22.2 | 7.4 | 3.4 | チャート | B-27 | 基部のみ |
| 159 | C7a/III a | 石繩 | 凸基有茎 | 28.4 | 18.3 | 6.5 | 2.3 | 黒色頁岩 | B-67 | |
| 160 | C5c/II a | 石繩 | 凸基有茎 | 28.5 | 13.7 | 5.5 | 1.5 | チャート | 136 | |
| 161 | C6d/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 28.6 | 15.7 | 5.2 | 1.9 | 硬質頁岩 | 4 | |
| 162 | C6c/IV a | 石繩 | 凸基有茎 | 28.7 | 9.2 | 3.3 | 0.8 | 黒色頁岩 | 125 | 茎部欠損 |
| 163 | A12d/IV b | 石繩 | 凸基有茎 | 28.8 | 13.0 | 4.2 | 1.3 | チャート | 245 | 茎部欠損 |
| 164 | C6c/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 28.8 | 16.0 | 4.2 | 1.7 | 黒色頁岩 | 7 | 茎部欠損 |
| 165 | C5d/IV a | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 28.8 | 21.0 | 4.6 | 2.8 | 黒色頁岩 | 102 | 先端欠損 |
| 166 | C7b/II | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 28.9 | 16.7 | 6.9 | 3.2 | チャート | 36 | |
| 167 | B7a/II | 石繩 | 凸基有茎 | 29.1 | 16.6 | 6.5 | 2.3 | 黒色安山岩 | 24 | 先端・茎部欠損(衝撃剥離) |
| 168 | C6c/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 29.1 | 18.8 | 6.8 | 3.6 | チャート | B-91 | |
| 169 | C6a/III c | 石繩未製品 | 凸基有茎 | 29.1 | 19.4 | 6.6 | 2.9 | チャート | 49 | 上半部欠損 |
| 170 | C7a/III c | 石繩 | 凸基有茎 | 29.4 | 14.5 | 4.0 | 1.3 | 黒色頁岩 | 194 | 先端・側面欠損(衝撃剥離)・付着物有り |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|-----------|-------|------|------|------|------|-----|-------|-------|---------------|
| 171 | C6d／II a | 石織 | 凸基有茎 | 29.4 | 16.4 | 5.5 | 2.0 | 黒色安山岩 | 159 | |
| 172 | C9a／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 29.5 | 14.9 | 3.7 | 1.4 | 黒色頁岩 | 83 | 茎部欠損・表面風化 |
| 173 | C6c／III c | 石織 | 凸基有茎 | 29.5 | 17.2 | 6.4 | 3.0 | 黒色頁岩 | 96 | |
| 174 | C6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 29.6 | 14.4 | 5.5 | 1.5 | 黒色頁岩 | 166 | |
| 175 | C8b／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 29.6 | 16.7 | 6.8 | 3.4 | 黒色頁岩 | B-19 | |
| 176 | C7a／H | 石織 | 凸基有茎 | 29.6 | 17.2 | 7.6 | 3.5 | 黒色頁岩 | B-81 | |
| 177 | C5d／II a | 石織 | 凸基有茎 | 29.8 | 16.3 | 3.5 | 1.3 | 黒色頁岩 | 140 | 先端・茎部欠損（衝撃剥離） |
| 178 | B7d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 30.0 | 29.3 | 7.1 | 6.0 | チャート | B-22 | 先端部破損 |
| 179 | C7c／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 30.3 | 15.5 | 4.6 | 1.7 | チャート | 131 | |
| 180 | C7b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 30.3 | 23.1 | 10.5 | 7.1 | チャート | B-1 | |
| 181 | B9d／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 30.9 | 20.4 | 11.0 | 5.5 | チャート | 64 | 両極技法 |
| 182 | B7b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 30.7 | 11.9 | 4.3 | 1.2 | 黒色安山岩 | 19 | |
| 183 | C7a／III a | 石織 | 凸基有茎 | 30.7 | 12.4 | 4.0 | 1.3 | 黒色安山岩 | 39 | 先端欠損 |
| 184 | B12b／IV b | 石織 | 凸基有茎 | 30.7 | 15.3 | 5.5 | 1.8 | 黒色安山岩 | 248 | 先端・茎部欠損（衝撃剥離） |
| 185 | A13c／IV b | 石織 | 凸基有茎 | 30.7 | 17.9 | 6.8 | 2.7 | 黒色安山岩 | 242 | |
| 186 | C6c／III c | 石織 | 凸基有茎 | 30.8 | 14.6 | 6.0 | 1.9 | 黒色安山岩 | 199 | |
| 187 | C6c／III c | 石織 | 凸基有茎 | 31.2 | 21.5 | 6.5 | 3.8 | チャート | B-90 | 先端部欠損 |
| 188 | C6a／III c | 石織 | 凸基有茎 | 31.4 | 14.5 | 5.2 | 2.1 | 黒色頁岩 | 63 | 先端・茎部欠損（衝撃剥離） |
| 189 | C5d／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 31.4 | 17.5 | 6.7 | 3.2 | 黒色頁岩 | 109 | |
| 190 | C8b／II | 石織 | 凸基有茎 | 31.5 | 17.0 | 4.6 | 2.4 | チャート | 165 | 先端・茎部欠損（衝撃剥離） |
| 191 | C9b／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 31.6 | 11.5 | 4.0 | 0.9 | 黒色頁岩 | 76 | 茎部鮮耗 |
| 192 | C6b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 31.6 | 18.9 | 8.3 | 3.7 | 安山岩 | B-32 | |
| 193 | C10a／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 31.9 | 19.4 | 7.5 | 3.8 | チャート | 58 | |
| 194 | C8d／II a | 石織 | 凸基有茎 | 32.2 | 12.7 | 5.9 | 1.7 | チャート | 145 | |
| 195 | C5d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 32.3 | 19.9 | 7.0 | 3.4 | 黒色頁岩 | 196 | 先端欠損 |
| 196 | B7a／II | 石織 | 凸基有茎 | 32.8 | 12.5 | 4.6 | 1.4 | 黒色頁岩 | 26 | |
| 197 | C6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 32.8 | 19.6 | 6.9 | 3.7 | チャート | B-113 | 基部のみ |
| 198 | C7d／II | 石織 | 凸基有茎 | 32.9 | 24.9 | 7.2 | 4.8 | 黒色頁岩 | B-83 | |
| 199 | C7a／II | 石織 | 凸基有茎 | 33.5 | 22.3 | 8.3 | 8.0 | 黒色頁岩 | 67 | 先端欠損 |
| 200 | C7b／III b | 石織未製品 | 凸基有茎 | 34.1 | 20.5 | 11.2 | 7.1 | チャート | 31 | 両極技法 |
| 201 | C6a／III c | 石織未製品 | 凸基有茎 | 34.2 | 21.4 | 7.4 | 5.3 | 黒色安山岩 | 175 | 茎部欠損 |
| 202 | C9a／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 34.6 | 21.1 | 7.7 | 4.0 | 黒色頁岩 | 86 | |
| 203 | C7a／II | 石織 | 凸基有茎 | 34.8 | 19.7 | 8.8 | 4.8 | 黒色頁岩 | B-80 | |
| 204 | C7b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 34.9 | 20.5 | 4.7 | 2.5 | 硬質頁岩 | 184 | 茎部欠損 |
| 205 | C5d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 35.2 | 15.5 | 6.5 | 2.9 | 黒色頁岩 | 190 | |
| 206 | C5d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 35.3 | 17.6 | 5.4 | 2.1 | チャート | 72 | |
| 207 | C9a／III | 石織 | 凸基有茎 | 35.6 | 11.6 | 5.8 | 1.9 | 黒色安山岩 | 68 | |
| 208 | C6a／III c | 石織 | 凸基有茎 | 35.6 | 24.0 | 14.3 | 9.6 | チャート | B-143 | |
| 209 | B8d／III d | 石織 | 凸基有茎 | 35.8 | 14.8 | 5.7 | 2.8 | チャート | 5 | 先端・側縁部欠損 |
| 210 | B7d／III c | 石織未製品 | 凸基有茎 | 35.8 | 18.8 | 7.3 | 4.3 | 黒色頁岩 | 12 | |
| 211 | C8b／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 35.8 | 20.9 | 8.2 | 6.3 | 黒色頁岩 | B-45 | |
| 212 | C6c／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 35.9 | 18.8 | 7.9 | 2.7 | チャート | 123 | |
| 213 | B7b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 36.0 | 11.7 | 5.1 | 1.4 | 黒色頁岩 | 18 | |
| 214 | C7b／II | 石織未製品 | 凸基有茎 | 36.1 | 21.2 | 8.8 | 5.5 | チャート | 42 | 両極技法・被熱？ |
| 215 | C7d／II | 石織 | 凸基有茎 | 36.2 | 21.0 | 9.3 | 6.1 | 黒色頁岩 | B-84 | |
| 216 | C9b／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 36.4 | 16.3 | 5.0 | 2.3 | 黒色頁岩 | 84 | |
| 217 | C6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 36.5 | 17.5 | 6.7 | 3.1 | 黒色頁岩 | 167 | |
| 218 | C7a／III | 石織 | 凸基有茎 | 37.1 | 26.2 | 8.1 | 7.7 | チャート | B-110 | 先端部欠損 |
| 219 | C7d／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 37.3 | 12.9 | 5.9 | 1.8 | 黒色安山岩 | 108 | |
| 220 | B12b／IV b | 石織 | 凸基有茎 | 37.3 | 22.0 | 6.0 | 4.7 | チャート | B-8 | |
| 221 | B8b／IV b | 石織 | 凸基有茎 | 38.3 | 19.4 | 7.5 | 4.1 | チャート | 2 | |
| 222 | C7b／III | 石織 | 凸基有茎 | 38.7 | 17.9 | 4.9 | 2.4 | 硬質頁岩 | 80 | |
| 223 | C6c／II | 石織 | 凸基有茎 | 38.8 | 23.2 | 6.8 | 5.4 | 黒色頁岩 | B-78 | |
| 224 | C7a／III c | 石織 | 凸基有茎 | 39.1 | 18.0 | 5.0 | 2.4 | 硬質頁岩 | 97 | 茎部欠損 |
| 225 | C9a／III c | 石織 | 凸基有茎 | 39.1 | 18.5 | 7.2 | 3.2 | チャート | 187 | |
| 226 | C5d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 39.2 | 18.2 | 9.7 | 4.1 | 黒色頁岩 | 69 | |
| 227 | B7d／II | 石織未製品 | 凸基有茎 | 39.2 | 21.6 | 9.2 | 7.2 | 黒色頁岩 | 11 | |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| 228 | C5d／II | 石織未製品 | 凸基有茎 | 39.5 | 29.3 | 8.8 | 5.9 | 黒色頁岩 | 240 | |
| 229 | C8a／III c | 石織未製品 | 凸基有茎 | 39.7 | 25.0 | 12.7 | 11.0 | チャート | 43 | 両極法 |
| 230 | C5a／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 39.8 | 18.1 | 8.1 | 4.3 | 黒色頁岩 | 153 | 矢印後再加工 |
| 231 | C7c／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 40.1 | 26.6 | 10.2 | 8.2 | 黒色頁岩 | 105 | 両極法 |
| 232 | B6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 40.5 | 24.7 | 7.4 | 6.7 | チャート | B-109 | |
| 233 | C6c／III c | 石織 | 凸基有茎 | 40.7 | 19.2 | 6.1 | 3.6 | チャート | 178 | 先端欠損 |
| 234 | C6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 41.3 | 18.7 | 7.3 | 4.1 | 珪質頁岩 | 195 | |
| 235 | C6c／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 41.6 | 15.2 | 6.5 | 3.5 | チャート | 150 | |
| 236 | C8c／IV a | 石織 | 凸基有茎 | 41.7 | 15.1 | 10.1 | 4.8 | 黒色頁岩 | 124 | 両極法 |
| 237 | C7b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 41.8 | 31.6 | 12.4 | 16.0 | 黒色頁岩 | B-116 | |
| 238 | C7b／不明 | 石織 | 凸基有茎 | 42.1 | 18.9 | 5.1 | 3.2 | チャート | 116 | 葉部欠損 |
| 239 | B8b／III c | 石織 | 凸基有茎 | 42.3 | 17.9 | 6.4 | 3.7 | 黒色頁岩 | 28 | |
| 240 | C7b／III b | 石織 | 凸基有茎 | 42.4 | 28.3 | 9.7 | 9.7 | チャート | 32 | 両極法 |
| 241 | B8b／III d | 石織 | 凸基有茎 | 42.5 | 21.4 | 5.6 | 3.5 | 黒色頁岩 | 17 | 葉部欠損 |
| 242 | C5c／III c | 石織未製品 | 凸基有茎 | 43.0 | 22.7 | 11.0 | 9.1 | チャート | 127 | 両極法・被熱? |
| 243 | B6d／III c | 石織 | 凸基有茎 | 43.1 | 21.7 | 8.1 | 7.8 | 黒色安山岩 | B-70 | |
| 244 | C7b／III b | 石織 | 凸基有茎 | 44.8 | 20.4 | 8.1 | 6.8 | チャート | B-66 | |
| 245 | C9a／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 44.9 | 22.0 | 12.3 | 11.2 | 黒色頁岩 | B-13 | |
| 246 | C7c／IV a | 石織未製品 | 凸基有茎 | 45.0 | 27.3 | 11.0 | 11.4 | チャート | 122 | 石核素材 |
| 247 | C7d／II | 石織 | 凸基有茎 | 47.0 | 25.0 | 7.0 | 7.8 | 黒色頁岩 | B-86 | |
| 248 | C8a／II | 石織 | 凸基有茎 | 47.4 | 15.4 | 4.8 | 2.8 | チャート | 81 | 先端欠損 |
| 249 | C8a／III c | 石織 | 凹基無茎 | 13.8 | 12.6 | 3.4 | 0.3 | 黒曜石 | 41 | 片脚・先端欠損(先端再加工) |
| 250 | C9a／IV a | 石織 | 凹基無茎 | 18.6 | 15.0 | 3.9 | 0.9 | 黒曜石 | 16 | 先端欠損(衝撃剝離?) |
| 251 | C6c／II c | 石織 | 凹基無茎 | 19.4 | 13.0 | 3.9 | 0.7 | チャート | 156 | |
| 252 | C6a／III c | 石織 | 凹基無茎 | 21.5 | 16.9 | 3.9 | 1.3 | 黒色安山岩 | 168 | 両脚・先端欠損(衝撃剝離) |
| 253 | C7d／IV a | 石織未製品 | 凹基無茎 | 21.9 | 17.5 | 7.5 | 2.4 | チャート | 117 | |
| 254 | B8c／III d | 石織 | 円基無茎 | 24.8 | 15.3 | 4.5 | 1.3 | チャート | 241 | 側縁部欠損(新) |
| 255 | C7a／II | 石織 | 円基 | 13.3 | 24.2 | 7.2 | 1.9 | 黒色頁岩 | B-105 | |
| 256 | C5c／III c | 石織 | 円基 | 23.4 | 19.0 | 7.5 | 3.8 | チャート | B-37 | |
| 257 | C5c／III c | 石織 | 円基 | 24.0 | 21.4 | 8.5 | 3.7 | チャート | B-36 | 先端部破損 |
| 258 | A13d／IV b | 石織 | 円基 | 24.4 | 16.4 | 5.3 | 2.2 | 黒色安山岩 | B-21 | |
| 259 | B7b／III c | 石織 | 円基 | 24.7 | 18.8 | 8.0 | 3.1 | チャート | B-3 | |
| 260 | C7d／II | 石織 | 円基 | 27.4 | 18.1 | 7.6 | 4.0 | チャート | B-75 | |
| 261 | C5d／III c | 石織 | 円基 | 28.0 | 20.8 | 6.8 | 3.7 | 黒色頁岩 | B-39 | |
| 262 | C5d／III c | 石織 | 円基 | 29.5 | 22.4 | 9.5 | 5.7 | チャート | B-41 | |
| 263 | B10d／IV b | 石織 | 円基 | 31.2 | 23.6 | 9.8 | 7.8 | チャート | B-18 | |
| 264 | C7d／II | 石織 | 円基 | 31.7 | 21.3 | 6.9 | 4.4 | 硬質頁岩 | B-52 | |
| 265 | C8a／IV a | 石織 | 円基 | 32.1 | 17.2 | 7.0 | 3.8 | 黒色頁岩 | 229 | 先端欠損 |
| 266 | C5d／IV a | 石織 | 円基 | 32.5 | 21.7 | 5.2 | 3.3 | 黒色頁岩 | 222 | |
| 267 | C7a／III a | 石織 | 円基 | 32.9 | 19.2 | 7.9 | 4.7 | 黒色頁岩 | B-16 | |
| 268 | C5d／III c | 石織 | 円基 | 38.6 | 25.6 | 8.0 | 6.4 | 黒色頁岩 | B-40 | |
| 269 | B11c／IV b | 石織未製品 | 有茎 | 13.4 | 20.0 | 5.3 | 1.2 | チャート | B-61 | |
| 270 | C7c／III c | 石織未製品 | 有茎 | 14.0 | 21.9 | 7.8 | 2.3 | チャート | B-26 | 基部のみ |
| 271 | C9a／IV a | 石織 | 有茎 | 14.7 | 24.2 | 6.2 | 2.3 | チャート | B-50 | 基部のみ |
| 272 | B8c／IV a | 石織 | 有茎 | 16.7 | 24.8 | 7.8 | 2.4 | チャート | B-127 | 基部のみ |
| 273 | C7c／III c | 石織未製品 | 有茎 | 16.7 | 25.1 | 8.9 | 3.3 | チャート | B-25 | 基部のみ |
| 274 | C6b／II | 石織未製品 | 有茎 | 22.9 | 20.5 | 10.3 | 4.2 | 黒色頁岩 | 113 | 上半欠損・剥落(被熱か?) |
| 275 | C7d／II | 石織 | 有茎 | 23.4 | 17.6 | 6.2 | 2.5 | チャート | B-74 | |
| 276 | C6a／IV a | 石織未製品 | 有茎 | 23.8 | 17.6 | 6.7 | 2.7 | 黒色頁岩 | 152 | |
| 277 | C8c／II | 石織 | 有茎 | 24.5 | 15.2 | 12.8 | 1.1 | 黒色頁岩 | B-77 | |
| 278 | C6c／III c | 石織未製品 | 有茎 | 25.9 | 17.4 | 7.0 | 2.2 | 黒色頁岩 | 185 | |
| 279 | B6d／II | 石織 | 有茎 | 26.5 | 21.6 | 7.4 | 3.7 | 黒色頁岩 | B-71 | |
| 280 | C9a／IV a | 石織 | 有茎 | 29.2 | 18.7 | 8.0 | 5.4 | 石英 | B-49 | |
| 281 | C8a／III c | 石織未製品 | 有茎 | 29.3 | 23.7 | 14.1 | 6.8 | チャート | B-106 | |
| 282 | C9b／IV a | 石織 | 有茎 | 30.5 | 21.0 | 8.1 | 4.7 | 黒色頁岩 | B-6 | |
| 283 | C5b／III c | 石織 | 有茎 | 33.3 | 21.4 | 8.1 | 5.9 | チャート | B-29 | |
| 284 | C10a／II | 石織 | 有茎 | 34.5 | 18.5 | 8.0 | 4.0 | 黒色頁岩 | B-79 | |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|------------|-------|----|------|------|------|------|-------|-------|--------------|
| 285 | C5c/ III c | 石織 | 有茎 | 34.7 | 30.4 | 7.3 | 8.5 | 黒色頁岩 | B-122 | |
| 286 | C5c/ III c | 石織 | 有茎 | 35.3 | 31.0 | 10.8 | 10.4 | チャート | B-38 | 先端部欠損 |
| 287 | C9a/ IV a | 石織未製品 | 有茎 | 35.7 | 20.2 | 7.9 | 5.7 | 黒色頁岩 | 158 | |
| 288 | 表様 | 石織 | 有茎 | 35.7 | 31.7 | 9.7 | 10.8 | 黒色頁岩 | B-140 | |
| 289 | C6c/ IV a | 石織 | 有茎 | 36.0 | 27.3 | 10.3 | 10.8 | 黒色頁岩 | B-60 | |
| 290 | C5c/ III c | 石織 | 有茎 | 37.1 | 23.8 | 11.7 | 8.6 | 黒色頁岩 | B-48 | |
| 291 | C5a/ IV a | 石織未製品 | 有茎 | 37.8 | 21.4 | 7.0 | 5.2 | 黒色安山岩 | 118 | |
| 292 | C6c/ II a | 石織未製品 | 有茎 | 38.0 | 29.7 | 8.7 | 9.4 | 黒色頁岩 | B-69 | |
| 293 | C9a/ IV a | 石織 | 有茎 | 39.4 | 22.7 | 10.0 | 6.6 | チャート | B-129 | |
| 294 | C5d/ IV | 石織未製品 | 有茎 | 39.5 | 20.6 | 8.0 | 6.3 | 黒色頁岩 | 252 | J-1住 |
| 295 | C5d/ II | 石織未製品 | 有茎 | 39.8 | 24.8 | 12.3 | 10.6 | チャート | B-68 | |
| 296 | C8b/ III d | 石織 | 有茎 | 41.0 | 26.7 | 7.0 | 8.1 | 黒色頁岩 | B-64 | |
| 297 | C9a/ III c | 石織未製品 | 有茎 | 41.7 | 25.4 | 12.3 | 12.0 | チャート | 217 | 両極技術 |
| 298 | C7c/ II a | 石織未製品 | 有茎 | 47.4 | 26.2 | 13.5 | 13.8 | チャート | 141 | 両極技術 |
| 299 | B7a/ III c | 石織 | 有茎 | 47.6 | 29.3 | 14.7 | 19.2 | 黒色頁岩 | B-144 | |
| 300 | B7b/ III c | 石織未製品 | 有茎 | 56.0 | 26.4 | 20.4 | 25.0 | チャート | 220 | |
| 301 | A8c/ III d | 石織 | 有茎 | 58.8 | 29.6 | 12.9 | 18.0 | 黒色頁岩 | B-138 | |
| 302 | B10b/ IV a | 石織 | 不明 | 12.7 | 6.8 | 3.1 | 0.2 | 黒曜石 | 186 | 基部欠損 |
| 303 | C4d/ III c | 石織未製品 | 不明 | 12.7 | 20.3 | 2.8 | 1.7 | 黒色頁岩 | B-28 | 基部のみ |
| 304 | C8a/ III d | 石織 | 不明 | 14.0 | 9.9 | 3.7 | 0.4 | 黒色安山岩 | 50 | 上半部欠損 |
| 305 | B5d/ II | 石織 | 不明 | 14.6 | 11.0 | 3.3 | 0.5 | チャート | B-89 | 基部欠損 |
| 306 | C7a/ II | 石織未製品 | 不明 | 16.1 | 18.6 | 7.4 | 2.8 | 黒色頁岩 | 66 | 先端・基部欠損 |
| 307 | B10c/ IV a | 石織未製品 | 不明 | 16.3 | 26.7 | 6.5 | 2.3 | チャート | B-44 | 基部のみ |
| 308 | C8a/ IV a | 石織 | 不明 | 17.4 | 11.3 | 4.6 | 0.7 | 黒曜石 | 73 | 基部欠損 |
| 309 | C5c/ III c | 石織 | 不明 | 18.3 | 11.5 | 3.3 | 0.6 | チャート | 37 | 基部欠損 |
| 310 | C5b/ IV a | 石織 | 不明 | 18.6 | 11.8 | 3.6 | 0.5 | 玉髓 | 107 | 基部欠損 |
| 311 | C6d/ III c | 石織 | 不明 | 19.0 | 10.3 | 3.2 | 0.5 | チャート | 148 | 基部欠損・被熱による剥落 |
| 312 | B7a/ II | 石織 | 不明 | 19.1 | 17.7 | 5.0 | 1.4 | チャート | 23 | 基部欠損 |
| 313 | A12d/ IV b | 石織 | 不明 | 19.4 | 11.3 | 3.7 | 0.6 | チャート | 249 | 先端・基部欠損 |
| 314 | C6a/ III c | 石織 | 不明 | 20.1 | 14.4 | 5.5 | 1.2 | チャート | 174 | 基部欠損 |
| 315 | B5d/ II | 石織未製品 | 不明 | 20.9 | 24.7 | 8.0 | 4.7 | 破質頁岩 | B-42 | |
| 316 | B7b/ III c | 石織未製品 | 不明 | 21.5 | 17.0 | 7.1 | 2.6 | チャート | 15 | 上半分欠損 |
| 317 | C8a/ III c | 石織 | 不明 | 22.5 | 17.3 | 3.8 | 1.1 | チャート | 40 | 基部欠損 |
| 318 | C5d/ II a | 石織 | 不明 | 22.7 | 8.4 | 3.6 | 0.6 | 黒色頁岩 | 243 | 基部欠損 |
| 319 | C5b/ IV a | 石織 | 不明 | 22.8 | 21.4 | 6.4 | 3.0 | チャート | B-14 | J-1住・先端部のみ |
| 320 | B1d/ II | 石織 | 不明 | 23.3 | 22.1 | 8.2 | 3.6 | チャート | B-72 | |
| 321 | C6b/ III c | 石織未製品 | 不明 | 24.2 | 21.8 | 6.2 | 3.7 | チャート | B-33 | |
| 322 | B7a/ II | 石織未製品 | 不明 | 24.7 | 14.0 | 5.5 | 2.0 | チャート | 22 | 側縫部欠損・両極技術 |
| 323 | C7a/ II | 石織 | 不明 | 25.3 | 14.7 | 3.1 | 0.9 | チャート | B-73 | 基部欠損 |
| 324 | C5a/ IV a | 石織未製品 | 不明 | 25.5 | 20.5 | 5.8 | 2.7 | チャート | 119 | 基部欠損 |
| 325 | C6c/ IV a | 石織 | 不明 | 26.7 | 19.7 | 5.7 | 2.9 | 黒色頁岩 | B-15 | J-1住・先端部のみ |
| 326 | C8a/ III c | 石織未製品 | 不明 | 27.5 | 23.0 | 10.0 | 6.0 | 黒色頁岩 | 47 | 上半部欠損 |
| 327 | C10a/ IV a | 石織未製品 | 不明 | 27.6 | 19.9 | 8.1 | 3.9 | チャート | B-46 | |
| 328 | C7d/ II | 石織 | 不明 | 28.0 | 26.4 | 9.0 | 6.4 | チャート | B-85 | |
| 329 | B14c/ IV b | 石織未製品 | 不明 | 28.7 | 36.7 | 9.5 | 10.4 | 黒色頁岩 | B-10 | 先端部欠損 |
| 330 | B7b/ II | 石織 | 不明 | 29.2 | 24.3 | 7.4 | 5.5 | 黒色頁岩 | B-4 | |
| 331 | B7d/ II | 石織 | 不明 | 30.0 | 21.4 | 9.5 | 6.3 | チャート | B-76 | |
| 332 | C7c/ III c | 石織 | 不明 | 31.2 | 23.0 | 8.7 | 5.5 | 破質頁岩 | B-56 | 先端部のみ |
| 333 | C7d/ III c | 石織未製品 | 不明 | 31.5 | 19.1 | 7.9 | 5.9 | 黒色頁岩 | B-24 | |
| 334 | C5c/ III b | 石織 | 不明 | 31.6 | 18.7 | 7.3 | 3.9 | チャート | B-121 | |
| 335 | C5c/ III c | 石織 | 不明 | 33.1 | 17.7 | 5.8 | 2.4 | チャート | B-120 | |
| 336 | B9a/ IV a | 石織未製品 | 不明 | 33.5 | 24.7 | 8.7 | 7.3 | チャート | 21 | 先端部欠損・両極技術 |
| 337 | B12b/ IV b | 石織 | 不明 | 34.1 | 19.5 | 8.0 | 3.6 | 黒色頁岩 | B-9 | |
| 338 | C8a/ III c | 石織未製品 | 不明 | 35.4 | 25.1 | 6.3 | 4.6 | 黒色頁岩 | 46 | 開始段階の未製品 |
| 339 | B5b/ III c | 石織未製品 | 不明 | 37.9 | 21.3 | 7.6 | 7.6 | 黒色頁岩 | 13 | |
| 340 | C6b/ III b | 石織 | 不明 | 38.2 | 26.6 | 9.5 | 9.4 | 黒色頁岩 | B-114 | |
| 341 | C6c/ IV a | 石織未製品 | 不明 | 38.8 | 36.2 | 10.6 | 13.0 | 黒色頁岩 | B-59 | |

| 番号 | グリッド/層位 | 器種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|---------|-----|----|------|------|-----|------|------|-------|----|
| 342 | B6b/II | 石鏟 | 不明 | 51.1 | 24.3 | 9.7 | 12.2 | 黒色頁岩 | B-139 | |

*遺物の観察表を作成したが紙面の都合上、実測図を割愛したものも存在する。

注 ①グリッドは、大グリッド（アルファベット大文字+数字）、小グリッド（アルファベット小文字）の順で示し、層位は、遺物包含層セクションの層位を使用した。

②最大長・最大幅・最大厚の単位はcmで、重さの単位はgである。現存値を（ ）で示した。

Tab. 8 石錐・石槍觀察表

| 番号 | グリッド/層位 | 器種名 | 形態 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 登録番号 | 備考 |
|-----|-----------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 343 | C7a/III c | 石錐 | 筒み有 | 21.8 | 15.4 | 2.9 | 0.5 | 黒色頁岩 | 235 | 被熱による剥落 |
| 344 | C6c/IV a | 石錐 | 筒み有 | 23.5 | 15.9 | 6.5 | 2.1 | 黒色頁岩 | 227 | 離部欠損（新）・両尖端 |
| 345 | C7b/III c | 石錐 | 筒み有 | 24.3 | 16.4 | 7.4 | 2.2 | 黒色頁岩 | 223 | 離部欠損 |
| 346 | B6c/III c | 石錐 | 筒み有 | 24.6 | 14.2 | 5.2 | 1.6 | 黒色頁岩 | 233 | |
| 347 | B7a/III c | 石錐 | 筒み有 | 25.6 | 11.0 | 5.7 | 1.1 | チャート | 236 | 先端磨耗 |
| 348 | A9a/IV a | 石錐 | 筒み有 | 27.7 | 39.8 | 9.9 | 9.9 | 黒色頁岩 | 232 | 離部欠損 |
| 349 | B6d/III c | 石錐 | 筒み有 | 27.7 | 16.8 | 8.3 | 2.6 | チャート | 237 | |
| 350 | C6c/IV a | 石錐 | 筒み有 | 29.1 | 17.8 | 6.7 | 2.1 | チャート | 228 | |
| 351 | C5c/IV a | 石錐 | 筒み有 | 30.4 | 17.5 | 5.4 | 2.1 | 黒色頁岩 | 226 | |
| 352 | C7b/III c | 石錐 | 筒み有 | 30.4 | 25.6 | 5.7 | 1.4 | 黒色頁岩 | 225 | |
| 353 | B5d/II | 石錐 | 筒み有 | 34.6 | 12.5 | 6.9 | 2.5 | 黒色頁岩 | 238 | |
| 354 | 試掘トレンチ | 石錐 | 筒み有 | 37.8 | 12.7 | 9.5 | 3.7 | 黒色頁岩 | 234 | 先端磨耗 |
| 355 | B6c/III c | 石錐 | 筒み有 | 44.6 | 12.3 | 7.0 | 2.2 | 黒色頁岩 | 239 | |
| 356 | B9a/IV a | 石錐 | 筒み無 | 28.3 | 8.2 | 6.4 | 1.4 | 黒色頁岩 | 224 | 先端磨耗 |
| 357 | C6a/IV a | 石錐 | 筒み無 | 37.5 | 7.4 | 7.1 | 1.6 | 黒色頁岩 | 231 | |
| 358 | C5a/IV a | 石錐 | 不明 | 23.2 | 5.4 | 3.7 | 0.5 | 黒色頁岩 | 230 | 基部欠損 |
| 359 | B7b/III a | 石槍 | 筒み有 | 49.8 | 29.7 | 11.6 | 16.2 | 黒色頁岩 | 219 | 石錐未製品？ |
| 360 | B2c/IV | 石槍 | 筒み有 | 58.3 | 27.0 | 12.1 | 17.0 | 黒色頁岩 | 221 | 石錐未製品？ |
| 361 | B7b/III c | 石槍 | 筒み有 | 58.1 | 29.5 | 14.9 | 20.6 | 黒色頁岩 | 215 | |
| 362 | C8a/IV a | 石槍未製品 | 筒み有 | 56.1 | 37.5 | 24.0 | 52.0 | 黒色頁岩 | | |

注 ①グリッドは、大グリッド（アルファベット大文字+数字）、小グリッド（アルファベット小文字）の順で示し、層位は、遺物包含層セクションの層位を使用した。

②最大長・最大幅・最大厚の単位はcmで、重さの単位はgである。現存値を（ ）で示した。

Tab. 9 石器・石製品觀察表

| 番号 | グリッド/層位 | 器種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|----|-----------|------|--------|-------|-----|---------|---------|-----|------|----------|
| 1 | B7c/II | 打製石斧 | 7.9 | 6.2 | 1.6 | 110.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 2 | |
| 2 | C8a/III a | 打製石斧 | 8.9 | 5.9 | 2.2 | 180.0 | 黒色頁岩 | 完形 | 9 | |
| 3 | B7b/III c | 打製石斧 | 9.3 | 5.7 | 2.0 | 180.0 | 頁岩 | 完形 | 7 | |
| 4 | C6a/III c | 打製石斧 | 9.9 | 6.0 | 1.5 | 110.0 | ホルンフェルス | 完形 | 8 | |
| 5 | B6b/II | 打製石斧 | 9.9 | 6.1 | 2.8 | 220.0 | 黒色頁岩 | 完形 | 1 | |
| 6 | B6c/III c | 打製石斧 | 11.3 | 6.9 | 3.1 | 400.0 | ホルンフェルス | 完形 | 6 | |
| 7 | B9a/IV a | 打製石斧 | 11.7 | 5.6 | 2.2 | 200.0 | 結晶片岩 | 完形 | 14 | |
| 8 | B5d/II | 打製石斧 | 13.6 | 8.0 | 1.8 | 280.0 | 黒色頁岩 | 完形 | 3 | |
| 9 | B5e/III c | 打製石斧 | (17.9) | 11.8 | 2.6 | (900.0) | ホルンフェルス | 1/2 | 5 | |
| 10 | B5d/IV a | 打製石斧 | 21.5 | 9.5 | 2.5 | 640.0 | ホルンフェルス | 完形 | 11 | |
| 11 | A13c/IV b | 磨製石斧 | (5.9) | 5.3 | 2.6 | (160.0) | 蛇紋岩 | 1/3 | 17 | |
| 12 | B7a/II | 砾石 | (6.0) | (4.9) | 1.2 | (95.0) | 砂岩 | 2/3 | 32 | |
| 13 | B6d/III c | 砾石 | (6.6) | 5.1 | 1.2 | (29.6) | 砂岩 | 3/4 | 33 | |
| 14 | B7d/III c | 凹石 | 10.1 | 8.2 | 6.3 | 660.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 57 | |
| 15 | B7b/II | 凹石 | 10.4 | 7.2 | 5.6 | 664.0 | 安山岩 | 完形 | 55 | 敲打痕、擦痕あり |
| 16 | C6a/II | 凹石 | 13.1 | 8.9 | 4.9 | 752.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 56 | 敲打痕、擦痕あり |
| 17 | C6a/III c | 砾石 | 10.5 | 6.3 | 5.4 | 536.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 59 | 擦痕あり |
| 18 | C7c/III c | 砾石 | 11.9 | 7.6 | 5.6 | 832.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 58 | 擦痕あり |
| 19 | C7c/IV a | 砾石 | 6.4 | 4.7 | 2.0 | 100.5 | 頁岩 | 完形 | 31 | |
| 20 | B5c/II | 砾石 | 6.7 | 5.3 | 3.9 | 220.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 27 | 顎料付着 |
| 21 | C7a/III c | 敲石 | 6.8 | 4.7 | 3.3 | 170.0 | チャート | 完形 | 30 | |
| 22 | C5a/IV a | 敲石 | 8.6 | 5.6 | 6.4 | 360.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 28 | 顎料付着 |
| 23 | B5d/III c | 敲石 | (8.7) | 3.8 | 1.1 | 87.0 | 砂岩 | 1/2 | 29 | |
| 24 | C5d/IV a | 敲石 | 10.9 | 6.4 | 4.5 | 464.0 | 砂岩 | 完形 | 46 | |

| 番号 | グリッド／層位 | 岩種名 | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 重さ | 石材 | 遺存度 | 登録番号 | 備考 |
|----|-----------|------|--------|--------|-------|----------|-------|------|-------|-----------|
| 25 | C5b/IV a | 巖石 | 29.4 | 9.7 | 4.7 | 1450.0 | 頁岩 | 完形 | 18 | |
| 26 | C7c/III c | 蜂の巣石 | 19.8 | 12.5 | 8.4 | 2800.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 54 | |
| 27 | C5b/II | 石皿 | 15.8 | 21.1 | 4.5 | 1620.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 52 | 蜂の巣石として使用 |
| 28 | C6b/IV a | 石皿 | 16.0 | 20.4 | 9.9 | 3920.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 53 | 蜂の巣石として使用 |
| 29 | J-1/床直 | 石皿 | 17.2 | 14.1 | 5.9 | 1660.0 | 粗粒安山岩 | 完形 | 50 | 蜂の巣石として使用 |
| 30 | C6c/III c | 石皿 | (26.7) | (10.7) | 7.4 | (2200.0) | 粗粒安山岩 | 1/4 | 51 | 蜂の巣石として使用 |
| 31 | C6c/III c | 勾玉 | 1.2 | 0.7 | 0.4 | 0.5 | 蛇紋岩 | 完形 | 42 | |
| 32 | C7a/III a | 勾玉 | 2.2 | 1.5 | 0.4 | 2.0 | 蛇紋岩 | 完形 | 43 | |
| 33 | C8b/III c | 垂飾 | (2.6) | (2.3) | 0.4 | 6.1 | 滑石 | 1/4 | 44 | |
| 34 | C7b/III b | 石棒 | (4.2) | 2.1 | (1.6) | (32.4) | 粘板岩 | 1/10 | 34 | 成獣野望石棒 |
| 35 | B7d/III c | 石棒 | (35.6) | 10.2 | (5.1) | (3700.0) | 緑泥片岩 | 1/4 | 26 | |
| 36 | B8d/III c | 石棒 | (3.6) | (3.1) | (0.9) | (15.2) | 泥岩 | 欠片 | B-96 | |
| 37 | B12b/IV a | 石棒 | (8.8) | 4.3 | 1.1 | (74.5) | 結晶片岩 | 1/8 | 35 | |
| 38 | 表揮 | 岩版 | (2.2) | (2.3) | 1.5 | 3.5 | 凝灰岩 | 欠片 | B-155 | |
| 39 | C1a/IV a | 岩版 | (2.9) | (2.2) | 1.5 | 4.3 | 凝灰岩 | 欠片 | B-94 | |
| 40 | C5b/IV a | 岩版 | 15.6 | 10.8 | 4.4 | 570.0 | 凝灰岩 | 完形 | 19 | |

注 ①グリッドは、大グリッド（アルファベット大文字+数字）、小グリッド（アルファベット小文字）の順で示し。層位は、遺物包含層セクションの層位を使用した。

②最大長・最大幅・最大厚の単位はcmである。重さの単位はkgである。現存値を（ ）で示した。

VI まとめ

1 成果について

安通・洞No 2 の発掘調査の成果について、以下のようにまとめたい。

(1) 過去の調査地点との関係について

安通・洞遺跡は、昭和54年に柏川村教育委員会によって圃場整備にともなう発掘調査が実施されている。その際に発掘調査した地点は3地点で、今回調査を行った地点は第2地点の北約50mに位置し、さらに北約200mに第3地点が存在する(Fig. 7)。各地点の概要は、第1地点では縄文時代中期後半から後期初頭にかけての土坑と埋甕、第2地点では縄文時代初頭の敷石住居と縄文時代後期後半から晩期初頭と考えられる石組状遺構と埋甕、第3地点では遺構が検出されなかつたが縄文時代後期後半から晩期初頭の土器が出土した。今回調査したNo 2 遺跡では縄文時代後期後半から晩期初頭の遺物を包含した浅い谷状の落ち込みと住居跡1軒を検出した。No 2 遺跡で検出した住居跡は、現状の柏川と谷状の落ち込みの間に立地しているが、この地点は土層の堆積状況から縄文時代後晩期には台地であったことが考えられる。また、この台地は地形の観察や土層の堆積状況から南北に長いことが考えられ、第2地点で確認された晩期初頭の遺構も同一の台地に立地するものと考えられる。これらを総合して推測すると、住居(安通・洞No 2 遺跡)や石組状遺構=祭祀もしくは墓域的な性格の遺構?(安通・洞第2地点)をもつ縄文時代後期後半から晩期にかけての集落が存在したことが考えられる。また遺跡から出土している石棒・岩版・銅鉛石などの特殊遺物は、祭祀遺構の存在や、祭祀的行為が行われていたことを窺わせる。群馬県内の同時期の遺跡でも住居跡のほか、配石墓や埋設土器(再葬墓)、配石遺構、特殊遺物集積型の祭祀遺構などが検出されており、これら県内の様相と比較しても同様の集落として重ね合わせて考えられる。

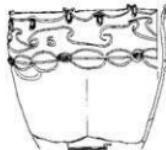
(2) 遺跡の立地(柏川扇状地)の形成について

安通・洞No 2 遺跡においては縄文時代後晩期の遺物の包含層の黒色土層の下層が躍層・シルト層で、その下層で褐色土層が確認された。特に調査区の柏川寄りでは表土の掘削でこの褐色土層が露出し、その層は縄文時代中期の土器を包含していた。昭和54年の調査でも第1地点で褐色土層下層のローム層を掘りこんだ縄文時代中期の埋甕が検出されている。

遺跡全体の土層の堆積状況を観察すると、縄文時代中期の遺物が包含されていた褐色土層の上位にシルト層と躍層が堆積しているが、調査区を東へ行くにつれて褐色土層のレベルは下がり、躍層の堆積が厚くなる傾向がある。また、調査区東側は山伏川が流下して谷となり、さらに東は台地となり室沢の集落となるが、現状での地形の観察から、この躍層は東側の谷にも広がっていることが考えられる。この躍層の上層の黒色土層に縄文時代後期後半から晩期にかけての遺物が包含されていたことや躍層中から遺物の出土がなかったこと、さらに躍層の下層の褐色土層に縄文時代中期の遺物が包含され、その下層のローム層に同時期の遺構が形成されていることから、この躍層およびシルト層が縄文時代中期以後で縄文時代後期後半頃までの間に形成されたことが考えられる。また、この躍層は柏川によって堆積したと考えられる。柏川は扇状地を形成し、約4.5万年前にその形成が進んだと考えられる。その後、その形成は一度停滞するが、完新世に入り再度活発化していると考えられる。特に縄文時代前期から中期にかけて形成が活発化しているが、その後も突発的な現象で扇状地に堆積物が付加されることがあるようである。この躍層が形成された原因の詳細は不明であるが、場合によってはそうした突発的な気候変動による可能性も考えられる。



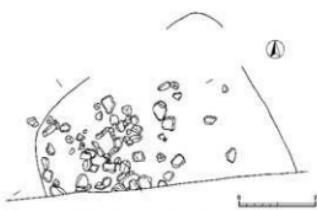
安通・洞遺跡 (1981)、安通・洞No.2遺跡 (2012) 位置図 (1 : 10,000)



第2地点 1号埋甕 (1/12)



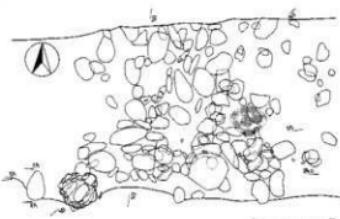
第1地点 3号埋甕 (1/12)



No.2遺跡 J - 1号住居跡 (1 : 120)



第2地点 1号散石住居跡 (1 : 120)



第2地点 1号石組状遺構 (1 : 60)

安通・洞遺跡(1981)と安通・洞No.2遺跡の遺構と遺物(縄文時代)一覧表

| 南から 道 標 | 第1地点 | 第2地点 | No.2 | 第3地点 |
|---------------------|--|---|---|-----------------------------------|
| | 1号上甕 3号埋甕 | 1号石組状遺構 1号石甕 2号石甕 3号石甕 1号散石住居跡 | J - 1号住居跡 | なし |
| 道 通 道 (土器) | 輪形寺式 壺ノ内式 加賀利B式 大曾人・C式 千頭式 | 加賀利E 3・E 4式 輪形寺式 壺ノ内式 加賀利E 1・II・III・IV式 壺山式 千頭式 大曾人C式 | 夷山式 黑山式 加賀利E 4式 安行1・II・III・IV b式 大曾人1・2式 | 轟ノ内式 加賀利B式 安行1・II・III・IV b式 |
| 道 通 (石器等) | | 対馬丸・1・2・3式 石甕・石斧・石錐 四石・石臼・石磬・石假面 | 対馬丸・1・2・3式 石甕・石斧・石錐 石甕・石甕・石錐・石斧 石甕・石錐・石磐玉 石甕・石錐・石磐玉 石甕・多孔石・石皿 石甕・石錐 | 万葉丸・土瓶(足) 土瓶円盤・土瓶 |

Fig. 7 安通・洞遺跡と安通・洞No.2遺跡

(3) 安通・洞No.2 遺跡出土の石器について

今回の発掘調査で出土した道具としての石器は534点出土した。確認された器種と使用された石材については、Tab.5のとおりである。一番多く出土した器種は未製品も含めた石鏃で、全体の約64%を占める。その他に比較的多く出土した器種は、加工具のスクレイパー・石錐、土掘り具の打製石斧、調理具の凹石・磨石・石皿・蜂の巣石などが挙げられる。なお敲石については、粗粒安山岩製で主に調理具として使用されたと考えられるものと、硬質な石材の小形の礫が素材で使用痕から石器製作に使用したと考えられるものが存在する。これら器種組成は、縄文時代の遺跡において一般的に組成される器種である。その他の少数出土した器種として、石棒、岩版などの呪術的性格のある遺物や、垂飾などの装身具が挙げられる。

石材では、チャートと黒色頁岩が多く、その石材の原産地としては、チャートは足尾山地、黒色頁岩は利根川で採集したと考えられ、ともに群馬県を代表する在地系石材である。その他、足尾山地のホルンフェルスや利根川の黒色安山岩も加えれば、全体の約7割を足尾山地と利根川で採集できる石材が占めている。その他に安山岩の類も加えれば約9割の石材が在地系石材と考えられる。重量組成を加味すると、石皿や蜂の巣石に使用される安山岩の類は別として、黒色頁岩が点数・重量とともに大きな割合を占める。このことから、黒色頁岩は石鏃や石錐などの剝片石器の他に打製石斧にも使用され、この遺跡において一番使用頻度の高い石器石材として位置づけができるであろう。なおチャートについては、その石質故に石鏃や石錐など小形の剝片石器にのみ多用された石材と考えられるだろう。そうした観点では、黒曜石や硬質頁岩などの緻密で鋭く剝離する石材も剝片石器に適したな石材と言えるだろう。ただし、両石材ともに重量・数量が少ないことから多用されていないと考えられる。

出土した石器のうち石鏃についてさらに詳細を述べるが、石鏃は破損品や未製品も含めて342点出土している。形態については凸基有茎鏃を主体とし、石材は前述のとおりチャートが一番多く、その他黒色頁岩・黒色安山岩のほか、黒曜石や硬質頁岩などの遠隔地石材も少數ながら使用している。石鏃の大きさは長さ約3cm前後のものが多いが、中には4cmを超える大型の石鏃も存在する。この大型の石鏃は器体が薄手で精巧な剝離によって成形されている。石材はチャートや黒色頁岩を素材としているが、の中には栃木県北部や東北地方南部で採集できる頁岩と考えられる石材も存在する。この石鏃は大きさや形態が特徴的であるので、同時期の石鏃の中でも今後注意が必要となろう。

2 今後の課題・展望

今回の発掘調査では、調査面積が650m²と広くないが、住居跡や包含層中の遺物など、多くの成果を得ることができたことと合わせて、昭和54年に実施された発掘調査の成果を補完するような形となった。昭和54年の調査と今回の調査の成果をあわせることで、赤城山南麓に営まれた縄文時代の集落の一様相を垣間見ることができた。しかしながら、その概略を知ることができたものの、その詳細について踏み込んだ分析を行い成果としてまとめることができなかった。群馬県内における縄文時代後期後半から晩期にかけての遺跡数は少なく、特に赤城山南麓周辺地域では、膨大な遺物量と耳馴りで著名な桐生市の千網谷戸遺跡のほか数遺跡が存在するのみであり、その様相についても不明な点が多い。今後の課題としては、前回と今回の調査結果によって得られた成果をもって、縄文時代後期から晩期にかけての群馬県地域における様相の解明に資することを願いたい。

引用参考文献

- 小島純一 1981 「福原山K1・安通・洞A3」柏川村教育委員会
小島純一 他 1985 「柏川村の遺跡」柏川村教育委員会
小島純一 1988 「安通・洞遺跡」群馬県史 資料編1 群馬県史編さん委員会
柏川村百年史編さん委員会 1994 「柏川村百年史」
石坂 茂・大工原豊 2001 「群馬県における縄文時代集落の諸様相」列島における縄文時代集落の諸様相 縄文時代文化研究会
大工原豊 2003 「後・晩期の石鏃」「石突具の系譜」予稿集 笠懸野岩宿文化資料館・岩宿フォーラム実行委員会
田村 隆・国武克・吉野真如 2003 「下野一北總回廊外縁部の石器石材(第1報)」千葉県史研究 11 千葉県

VII 自然科学分析

安通・洞No.2 遺跡テフラ分析

㈱火山灰考古学研究所 早田 勉

1はじめに

関東地方西北部に位置する前橋市とその周辺には、赤城火山、榛名火山、浅間火山などをはじめとする北関東地方とその周辺に分布する火山のほか、中部地方や中国地方さらには九州地方など遠方に位置する火山から噴出したテフラ（火山碎屑物、いわゆる火山灰）が数多く降灰している。とくに後期更新世以降に降灰したそれらの多くについては、層相や年代さらに岩石記載的な特徴がテフラ・カタログなどに収録されており、遺跡などで調査分析を行い、とくに過去の時空指標として重要な指標テフラを検出することで、地形や地層の形成年代さらには遺物や遺構の年代などに関する研究を実施できるようになっている。

赤城火山南麓の前橋市安通・洞No.2 遺跡の発掘調査でも、層位や年代が不明な土層が認められたことから、地質調査を実施して土層やテフラの記載を行うとともに、採取した試料を対象にテフラ検出分析と火山ガラスの屈折率測定を行って、すでに噴出年代が明らかにされている指標テフラの検出同定を実施し、それとの層位関係から土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象は、試掘トレンチ、W-1号溝跡東地点、W-1号溝跡西地点の3地点である。

2 土層の層序

(1) 試掘トレンチ

試掘トレンチでは、下位より黄色土（層厚8cm以上）、若干黄色がかった灰褐色土（層厚14cm）、色調がとぐりに暗い暗褐色土（層厚42cm）、砂混じり黒褐色土（層厚36cm）、亜円礫をごく少量含む灰色砂層（層厚21cm、礫の最大径46mm）、亜円礫混じり灰色砂礫層（層厚12cm、礫の最大径61mm）、亜円礫混じり黒褐色土（層厚19cm、礫の最大径47mm）、土器片混じり黒褐色土（層厚19cm）、若干黄色がかった灰褐色土（層厚16cm）、灰色粗粒火山灰を多く含む亜円礫混じり暗灰褐色土（層厚9cm、礫の最大径129mm）が認められる（図1）。

(2) W1東地点

W1東地点では、溝状遺構の土層断面を観察できた（図2）。ここでの遺構の覆土は、下位より成層した灰色砂層（層厚36cm）、暗褐色土（層厚14cm）、灰色砂層（層厚5cm）、暗灰色土（草屋12cm）、灰色砂層（層厚7cm）、黒色土（層厚13cm）、層理が発達した灰色砂層（層厚8cm）、灰色シルト質砂層（層厚5cm）、黒色土（層厚3cm）、斜層理が発達した亜円礫混じり灰色砂層（層厚43cm、礫の最大径18mm）、成層した灰色砂層（層厚4cm）、黄灰色シルト層（層厚6cm）、暗灰色シルト層（層厚4cm）、黄灰色シルト層（層厚3cm）からなり、その上位に暗灰色土（層厚47cm）が認められる。

(3) W1西地点

W1東地点より河川に近いW1西地点でも、溝状遺構の土層断面を観察できた（図3）。ここでの遺構の覆土は、下位より亜円礫層（層厚18cm、礫の最大径108mm）、層理が発達した灰色砂層（層厚9cm）、黒褐色土（層厚14cm）、泥流堆積物（層厚45cm）、亜円礫混じり灰色砂層（層厚22cm、礫の最大径16mm）、亜円礫混じり暗灰褐色土（層厚29cm、礫の最大径48mm）、灰褐色土（層厚13cm）、細粒の灰白色軽石混じり灰褐色土（層厚5cm、軽石の最大径

2 mm) からなる。その上位に、下部が暗灰色土ブロック層、上部が灰色土からなる作土が認められる。溝状遺構の覆土のうち、泥流堆積物は下部の層理が細かく発達した灰色砂層と、上部の亜円礫や暗灰色土ブロックを含む黄灰～灰黄色土ブロック層(層厚33cm、礫の最大径162mm) からなる。

3 テフラ検出分析

(1) 分析試料と分析方法

試掘トレンチ、W1 東地点、W1 西地点の3 地点において、基本的に5 cmごとに設定された試料のうち、21点を対象に、テフラ粒子の量や特徴を相対的に明らかにするテフラ検出分析を実施した。分析の手順は次の通りである。

- 1) 試料7 g を秤量。
- 2) 超音波洗浄装置を用いながらていねいに泥分を除去。
- 3) 80°Cで恒温乾燥。
- 4) 実体顕微鏡下で、テフラ粒子の量や色調などを観察。

(2) 分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。試掘トレンチでは、いずれの試料からも軽石や火山ガラスが検出された。そのうち、最下位の試料36や試料33には、白色や透明の軽石型ガラスが比較的多く含まれている。試料28では細粒の白色軽石(最大径2.2mm) が少量認められ、試料33とともに桃色の細粒岩片が含まれている。また、試料20には比較的多様な火山ガラスが認められ、黄灰白色や白色の軽石型ガラスのほか、無色透明のバブル型が含まれている。それより上位では、試料2に白色や灰白色の軽石、またそれらの細粒物である軽石型火山ガラスが、比較的多い傾向にある。

W1 東地点では、試料36をのぞくいずれの試料にも、軽石および火山ガラスが含まれている。それらには、スポンジ状に比較的良好に発泡し、斑晶に斜方輝石や單斜輝石をもつ灰白色のタイプと、さほど発泡が良くなく、斑晶に角閃石や斜方輝石をもつ白色のタイプがある。最下位の試料6にも両タイプの軽石型火山ガラスが含まれている。

W1 西地点でも、最下位の試料6に白色の軽石のほかに、両タイプの軽石型ガラスが認められる。また、試料3および試料2には2タイプの軽石や火山ガラスのほかに、淡褐色や光沢のある褐色の軽石型ガラスが含まれている。

4 屈折率測定

(1) 測定試料と測定方法

テフラ検出分析の対象となった試料のうち、特徴的なテフラ粒子が認められた5試料に含まれる火山ガラスを対象に、火山ガラスの屈折率測定を実施して指標テフラとの同定精度の向上を図った。測定には、温度変化型屈折率測定装置(京都フィッシュン・トラック社製 RIMS2000)を使用した。

測定対象試料のうち、試掘トレンチの試料28、試料20、試料2の3試料については、テフラ検出分析済みの試料についての簡別により得られた1/8—1/16mm粒径に含まれる火山ガラスを測定対象とした。W1 東地点の試料3については灰白色軽石、またW1 西地点の試料3については光沢のある褐色の軽石型ガラスを、いずれも実体顕微鏡下で手選した後に、軽く粉砕して得られた細粒の火山ガラスを測定の対象とした。

(2) 測定結果

屈折率測定の結果を表2に示す。この表には、合わせて本遺跡周辺に降灰している指標テフラに含まれる火山ガラスの屈折率特性も示した。

試掘トレレンチの試料28に含まれる火山ガラス(30粒子)の屈折率(n)は、1.501–1.503である。試料20に含まれる火山ガラス(30粒子)の屈折率(n)のrangeは1.499–1.507で、実際には1.499–1.504(29粒子)と1.507(1粒子)からなる。試料2に含まれる火山ガラス(16粒子)の屈折率(n)のrangeは1.499–1.505である。

W1東地点の試料3に含まれる灰白色軽石の火山ガラス(30粒子)の屈折率(n)は、1.519–1.521である。また、W1西地点の試料3に含まれる褐色の火山ガラス(31粒子)の屈折率(n)は、1.520–1.529である。

5 考察—指標テフラとの同定と溝状遺構の層位について

テフラ検出分析で認められたテフラ粒子のうち、斑晶に斜方輝石や単斜輝石が特徴的に認められる灰白色の軽石やその細粒物である軽石型火山ガラスは、岩相や斑晶鉱物の組み合わせ、W1東地点試料3に含まれる軽石の火山ガラスの屈折率特性などから、3世紀後半に浅間火山から噴出したと推定されている浅間C軽石(As-C、荒牧 1968、新井 1979、坂口 2010)に由来すると考えられる。

また、斑晶に角閃石や斜方輝石が特徴的に認められる白色の軽石や、その細粒物である軽石型火山ガラスは、層位や岩相さらに斑晶鉱物の組み合わせなどから、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳洪川テフラ(Hr-FA、新井 1979、坂口 1986、早田 1989、町田・新井 1992、2003)、または6世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ(Hr-FP、新井 1962、坂口 1986、早田 1989、町田・新井 1992、2003)に由来する可能性が高い。とくに、テフラの分布から、本遺跡にHr-FAが降灰していることは確実である。

さらに、W1西地点において、それより上位の試料3および試料2から検出された淡褐色や褐色の軽石型火山ガラスは、層位や岩相、斑晶鉱物の組み合わせ、そしてW1東地点試料3に含まれる火山ガラスの屈折率特性などから、1108(天元元)年に浅間火山から噴出したと推定されている浅間Bテフラ(As-B、荒牧 1968、新井 1979)に由来すると考えられる。本遺構においてAs-Bの一次堆積層あるいは顯著な濃集層準が認められない理由としては、泥流堆積後に降灰したAs-Bの多くが、水流により流失していると考えられる。いずれにしても、W1溝状遺構の層位は、少なくともHr-FAより上位で、As-Bの間と推定される。

なお、W1西地点で認められた泥流堆積物については、その層位や層相から、弘仁9(818)年地震に関係した堆積物(能登ほか 1990)の可能性もある。今後、周辺での調査分析が期待される。

一方、試掘トレレンチの最上部から検出された灰白色や白色の軽石や火山ガラスについても、その岩相などから、それぞれAs-Cと、Hr-FA(またはHr-FP)に由来すると考えられる。

また、土層断面の最下部付近(試料36~28)から検出された火山ガラスについては、層位や岩相さらに屈折率特性などから、約1.3~1.4万年前^{**1}に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石(As-YP、新井 1962、町田・新井 1992、2003など)に由来する可能性が高い。ただし、試料33~28では、灰白色の軽石型ガラスや細粒の桃色岩片が認められることから、このあたりに約1.1万年前^{**1}に浅間火山から噴出した浅間總社軽石(As-Sj、早田 1990、1996など)の降灰層準があるのかも知れない。

さらに、多様な火山ガラスが検出された試料20では、火山ガラスの屈折率特性(n)が1.499–1.504のほかに、1.507のものがごく少量ながら認められた。この火山ガラスについては、テフラ検出分析で特徴的な有色のバブル型ガラスは認められなかったものの、同試料でバブル型ガラスが検出されていることも合わせると、約6,300年前^{**1}に南九州の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah、町田・新井 1978、町田・新井 1992、2003など)の降灰層準があると推定される。

また、本試料に比較的多く含まれる黄灰白色の軽石型火山ガラスは、約5,400年前^{**1}に浅間火山から噴出した浅

間六合軽石 (As-Kn, 早田 1996など) あるいはそれに関係する浅間系テフラに由来する可能性がある。

伊勢崎市波志江中屋敷東遺跡などが位置する赤城火山南麓の埋没谷部には、K-Ah の上位に比較的厚い砂質堆積物のあることが知られている (たとえば日本道路公団・群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002など)。今回検出されたテフラの降灰層準との層位関係から、試掘トレンチで検出された砂質堆積物が、それに対比される可能性は十分にある。赤城火山南麓の埋没谷部でみられる砂質堆積物は、縄文時代中期頃に形成されたいわゆる淡色黒ボク土 (早田 1990, 古環境研究所 2004) との関係が推定されることから、縄文時代の人々の生活環境を考える上で、本遺跡周辺での今後の発掘調査の際にも注意が払われる必要がある。

6 まとめ

前橋市安通・洞No.2遺跡において、地質調査とテフラ検出分析さらに火山ガラスの屈折率測定を実施した。その結果、浅間C軽石 (As-C, 3世紀後半)、榛名二ツ岳渋川テフラ (Hr-FA, 6世紀初頭) および榛名二ツ岳伊香保テフラ (Hr-FP, 6世紀初頭)、浅間Bテフラ (As-B, 1108年) を検出できた。また、そのほかに、縄文時代の重要な指標テフラである浅間總社軽石 (As-Sj, 約1.1万年前¹⁾) や、鬼界アカホヤ火山灰 (K-Ah, 約6,300年前¹⁾) の降灰層準も推定できた。その結果、発掘調査で検出された溝状遺構であるW1については、Hr-FAより上位で、As-Bより下位に層位があると考えられる。

* 1 放射性炭素 (^{14}C) 年代、As-YP と K-Ah の較正年代については、それぞれ約1.5~1.65万年前と約7,300年前と推定されている (町田・新井 2003)。

文献

- 新井房夫 (1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年。群馬大学紀要自然科学編, 10, pp.1-79.
- 新井房夫 (1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ解。考古学ジャーナル, No.53, pp.41-52.
- 荒牧重雄 (1968) 浅間火山の地質。地図研専報, No.14, pp.1-45.
- 古環境研究所 (2004) 宮城村鼻毛石鍛田遺跡の自然料分析、群馬県勢多郡宮城村教育委員会編「鼻毛石赤坂遺跡」, pp.46-57.
- 町田 洋・新井房夫 (1992) 「火山灰アトラス—日本列島とその周辺」, 東京大学出版会, p.276.
- 町田 洋・新井房夫 (2003) 「新編火山灰アトラス—日本列島とその周辺」, 東京大学出版会, p.336.
- 日本道路公団・群馬県埋蔵文化財調査事業団 (2004) 「波志江中屋敷東遺跡」, p.333.
- 能登 健・内田憲治・早田 勉 (1990) 赤城山南麓の歴史地圖—弘仁九年の地震に伴う地形変化の調査と分析—。信濃, 42, pp. 455-772.
- 坂口 一 (1986) 榛名二ツ岳起源 FA・FP 層下の土器と須恵器。群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒紙青柳遺跡」, pp.103-119.
- 坂口 一 (2010) 高崎市・中居町一丁目遺跡周辺集落の動向一中居町一丁目遺跡H22の水田耕作地と周辺集落との関係一。群馬県埋蔵文化財調査事業団編「中居町一丁目遺跡3」, pp.17-22.
- 早田 勉 (1989) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, pp.297-312.
- 早田 勉 (1990) 群馬県の自然と風土。群馬県史編さん委員会編「群馬県史通史編1 原始古代1」, pp.37-129.
- 早田 勉 (1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴－とくに御岳第1テフラより上位のテフラについて。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, VII, pp.256-267.

表1 テフラ検出分析結果

| 地点名 | 試料 | 軽石・スコリア | | | 火山ガラス | | | 備考 |
|--------|----|---------|-------|----------|-------|-------|-------------|------------|
| | | 量 | 色調 | 最大径 | 量 | 形態 | 色調 | |
| 試掘トレンチ | 2 | ** * | 白, 灰白 | 3.0, 2.1 | ** | pm | 白, 灰白 | |
| | 4 | * | | | * | pm | 白 | |
| | 8 | * | | | * | pm | 白>灰 | |
| | 10 | * | | | * | pm | 灰白 | |
| | 12 | * | | | * | pm | 白 | |
| | 15 | * | | | * | pm | 白 | |
| | 20 | | | | ** | pm>bw | 黄灰白, 白, 透明 | |
| | 28 | * | 白 | 2.2 | * | pm | 透明, 白, 灰白 | |
| | 33 | | | | ** * | pm | 白, 透明 | |
| | 36 | | | | ** * | pm | 白, 透明 | |
| W1東地点 | 2 | ** * | 灰白, 白 | 3.7, 4.3 | ** | pm | 灰白, 白 | |
| | 3 | *** * | 灰白, 白 | 3.9, 3.9 | *** | pm | 灰白, 白 | |
| | 4 | ** * | 灰白 | 3.9 | ** * | pm | 灰白>白 | |
| | 5 | ** * | 灰白 | 2.2 | ** * | pm | 灰白>白 | |
| | 6 | | | | * | pm | 灰白 | |
| W1西地点 | 1 | ** * | 灰白 | 3.1 | ** | pm | 灰白, 白 | |
| | 2 | ** * | 灰白 | 3.4 | ** | pm | 灰白>白, 淡褐, 褐 | 褐色火山ガラスに光沢 |
| | 3 | ** * | 灰白 | 3.3 | ** * | pm | 灰白>白, 淡褐, 褐 | 褐色火山ガラスに光沢 |
| | 4 | | | | * | pm | 白 | |
| | 5 | | | | * | pm | 灰白, 白 | |
| | 6 | * | 白 | 2.1 | * | pm | 白, 灰白 | |

**** : とくに多い, *** : 多い, ** : 中程度, * : 少ない, (*) : とくに少ない。

最大径の単位は、mm, bw:バブル型, md:中間型, pm=軽石型。

pl=斜長石, opx=斜方輝石, CPX=单斜輝石。

表2 折率測定結果

| 試料・テフラ (噴出年代) | 試料 | 火山ガラス | 文献 |
|------------------------------|----|---|------|
| | | 屈折率 (n) | 測定点数 |
| 安通・洞N2 2道跡・試掘トレンチ | 2 | 1.499-1.505 | 16 |
| 安通・洞N2 2道跡・試掘トレンチ | 20 | 1.499-1.507 (1.499, 1.501-1.504, 1.507) | 30 |
| 安通・洞N2 2道跡・試掘トレンチ | 28 | 1.501-1.503 | 30 |
| 安通・洞N2 2道跡・W1東地点 (粉砂軽石) | 3 | 1.519-1.521 | 30 |
| 安通・洞N2 2道跡・W1西地点 (粉砂火山ガラス) | 3 | 1.520-1.529 | 31 |
| (群馬地域の指標テフラ-AT以降) | | | |
| 浅間A (As-A, 1783年) | | 1.507-1.512 | 1) |
| 浅間A' (As-A') | | 1.515-1.521 | 3) |
| 浅間船川 (As-Kk, 1128年) | | 未報告 | 3) |
| 浅間B (As-B, 1108年) | | 1.524-1.532 | 1) |
| 椎名二ツ岳伊豆保 (Hr-FP, 6世紀中葉) | | 1.501-1.504 | 3) |
| 椎名二ツ岳波川 (Hr-FA, 6世紀初頭) | | 1.500-1.502 | 3) |
| 椎名有馬 (Hr-AA, 5世紀) | | 1.499-1.504 | 4) |
| 浅間C (As-C, 3世紀後半) | | 1.514-1.520 | 1) |
| 浅間D (As-D) | | 1.513-1.516 | 1) |
| 草津白根熊倉 (KS-Ku) | | 未報告 | 3) |
| 浅間六合 (As-Kn) | | 未報告 | 3) |
| 鬼界アカホヤ (K-Ah, 約7,300年前) | | 1.506-1.513 | 1) |
| 浅間藤岡 (As-Fo) | | 未報告 | 3) |
| 浅間紺社 (As-Sj) | | 1.501-1.518 | 4) |
| 浅間草津 (As-K) | | 1.501-1.503 | 1) |
| 浅間板鼻黄色 (As-YP, 約1.5~1.65万年前) | | 1.501-1.505 | 1) |
| 浅間大窪沢2 (As-Ok2) | | 1.502-1.504 | 1) |
| 浅間大窪沢1 (As-Ok1) | | 1.500-1.502 | 1) |
| 浅間白糸 (As-Sr) | | 1.506-1.510 | 1) |
| 浅間萩生 (As-Hg) | | 1.500-1.502 | 3) |
| 浅間板鼻褐色 (群) (As-BP Group) | 上部 | 1.515-1.520 | 1) |
| | 中部 | 1.508-1.511 | 1) |
| | 下部 | 1.505-1.515 | 1) |
| 始真Tn (AT, 約2.8~3万年前) | | 1.499-1.500 | 1) |

1) : 刈田・新井 (1992, 2003), 2) : 町田ほか (1984), 3) : 早田 (1996), 4) : 早田 (未公表),

本報告および3) : 溫度変化屈折率測定装置 (RIMS2000).

1) ~ 2) : 故新井房夫群馬大学名誉教授の溫度一定屈折率測定法.

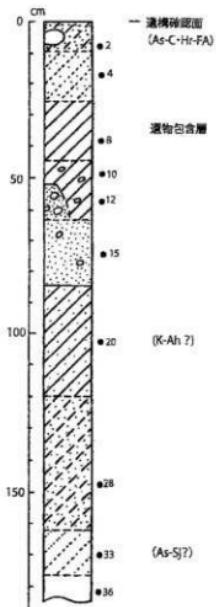


図1 試掘トレンチの土層柱状図

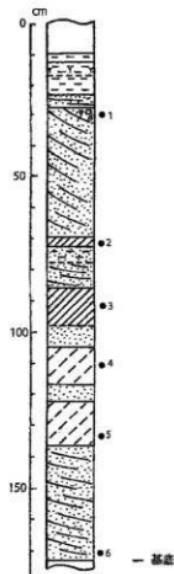


図2 W1 東地点の土層柱状図

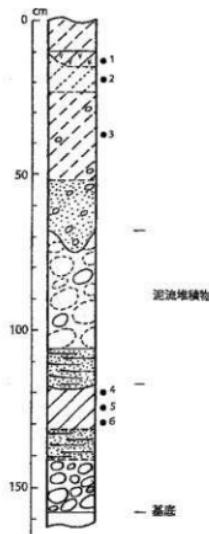


図3 W1 西地点の土層柱状図



● : テフラ分析試料の層位 数字 : テフラ分析試料番号

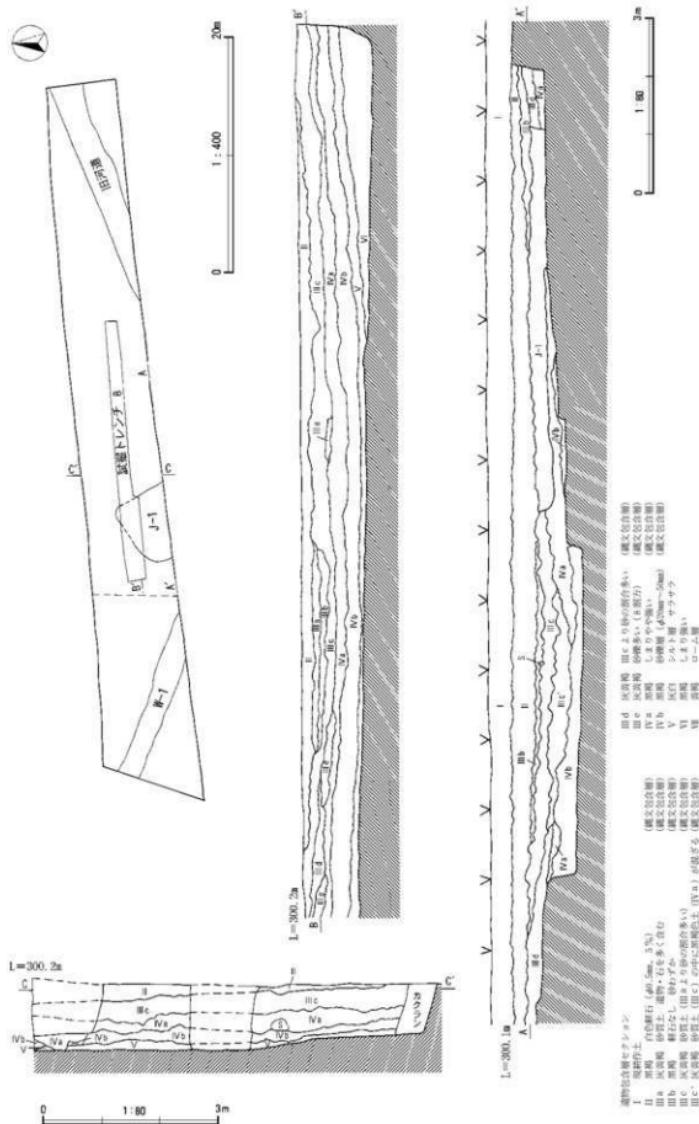


Fig. 8 安通・洞No. 2遺跡の地層図

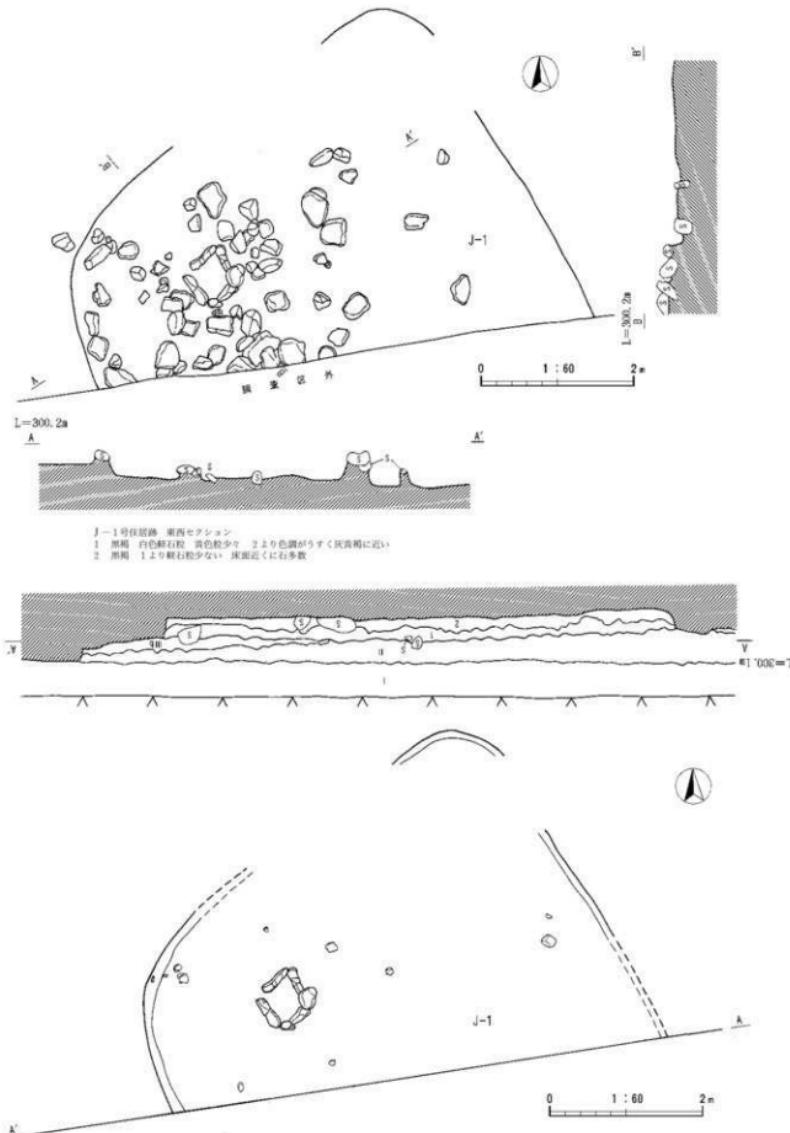


Fig. 9 J-1号住居跡

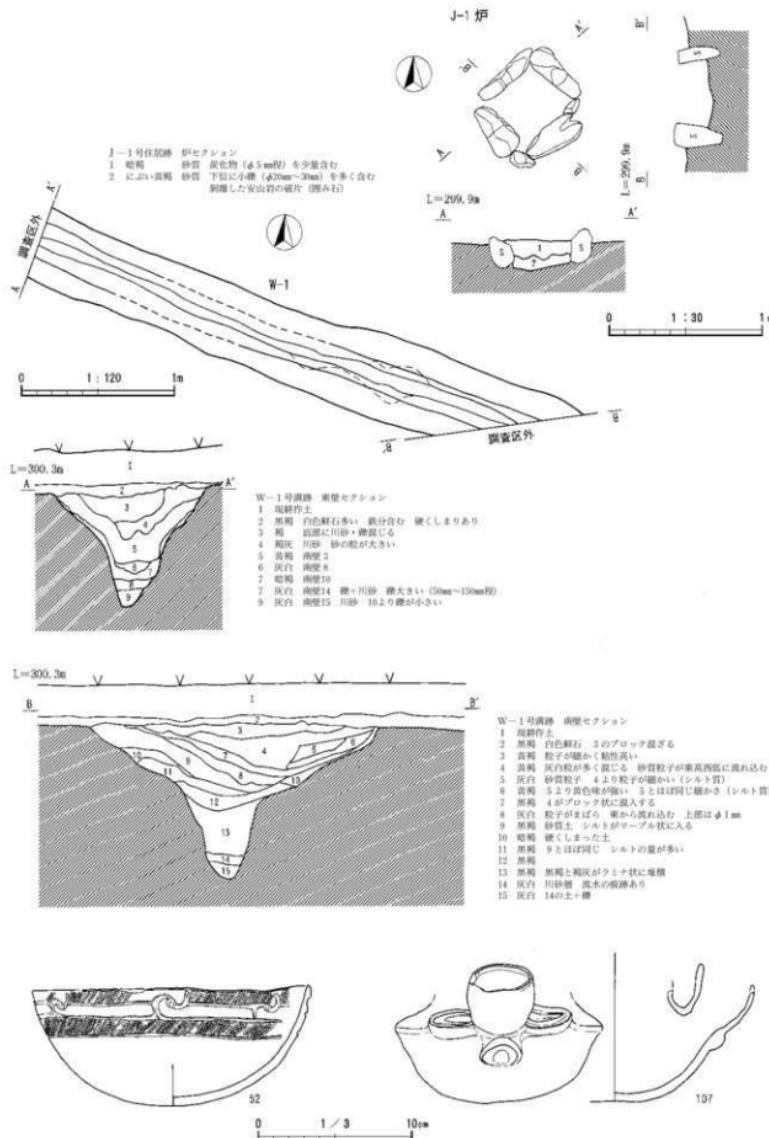


Fig. 10 J-1・W-1・グリッド遺物

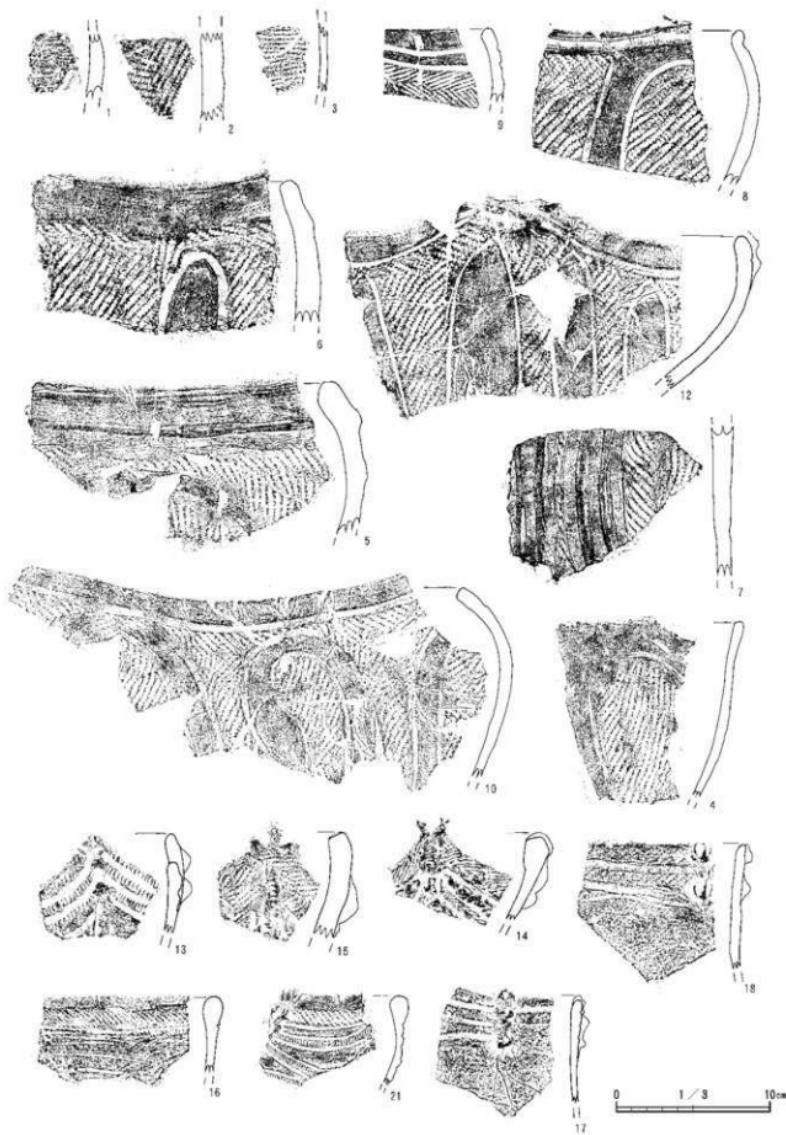


Fig.11 繩文式土器 (I)

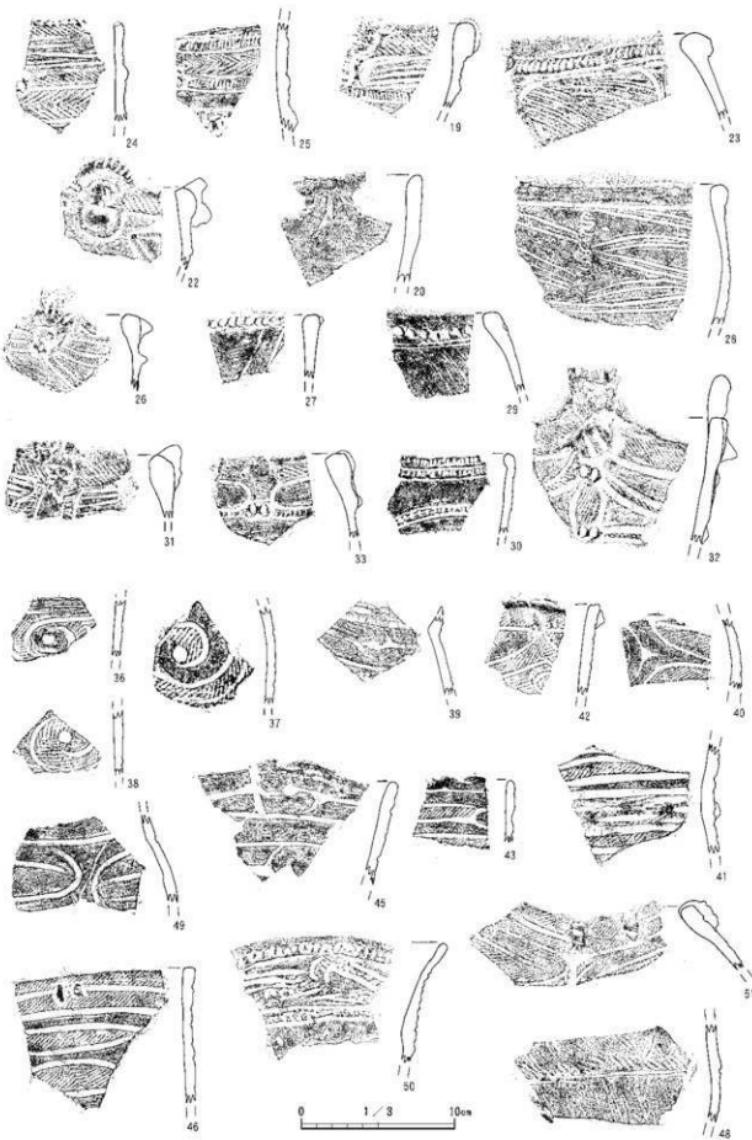


Fig. 12 繩文式土器 (2)

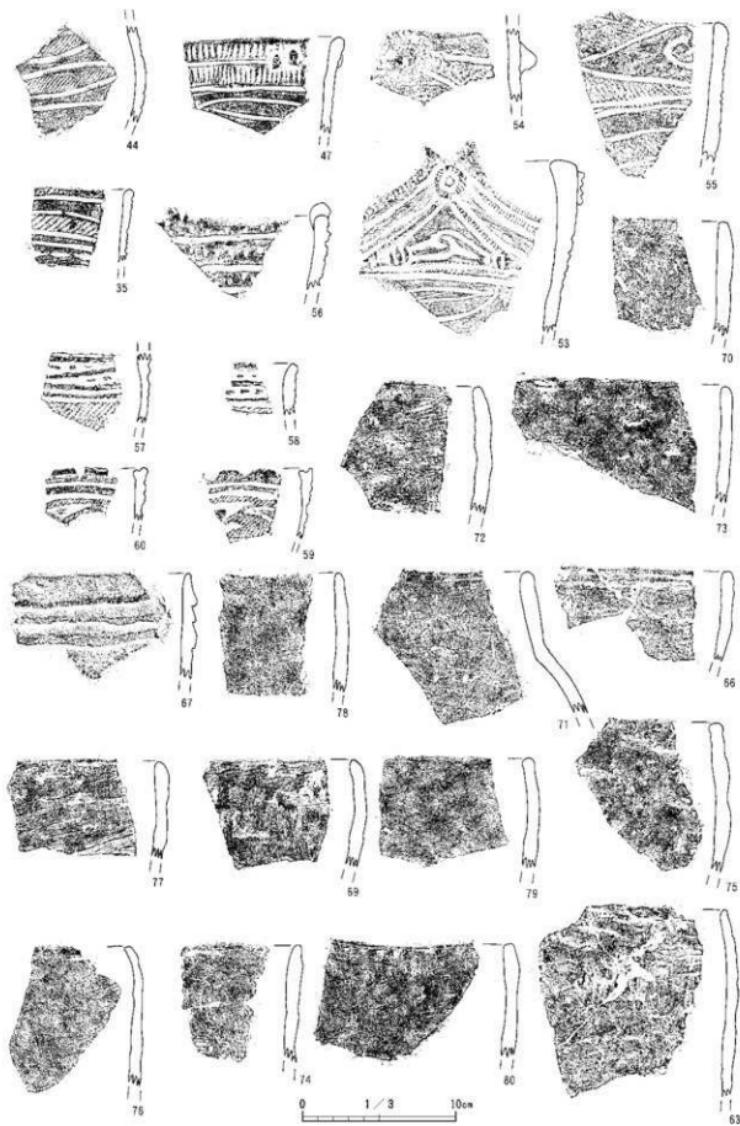


Fig.13 繩文式土器 (3)

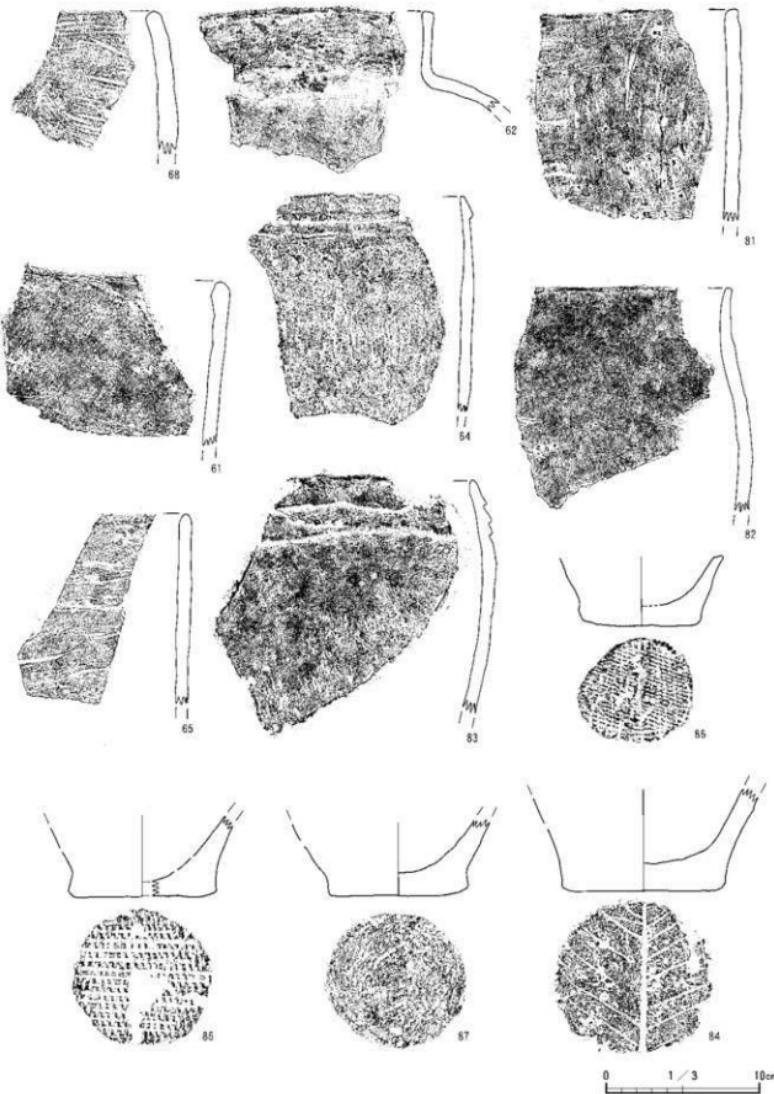


Fig.14 繩文式土器 (4)

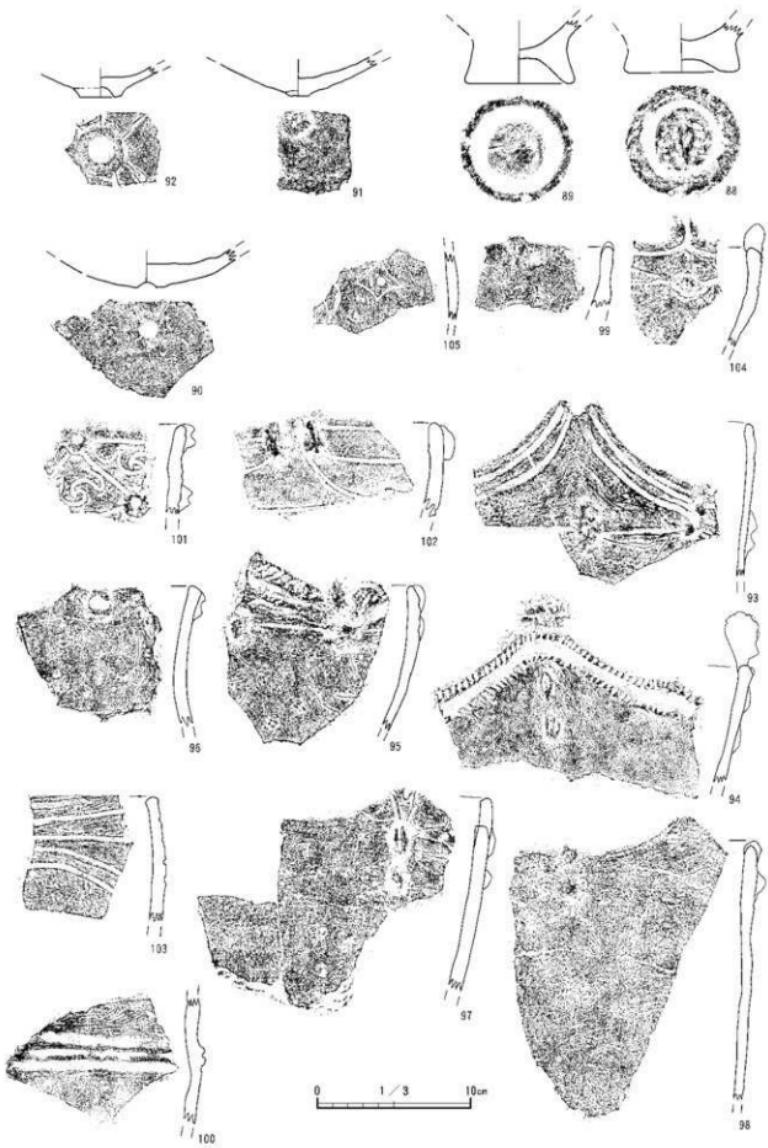


Fig. 15 繩文式土器 (5)

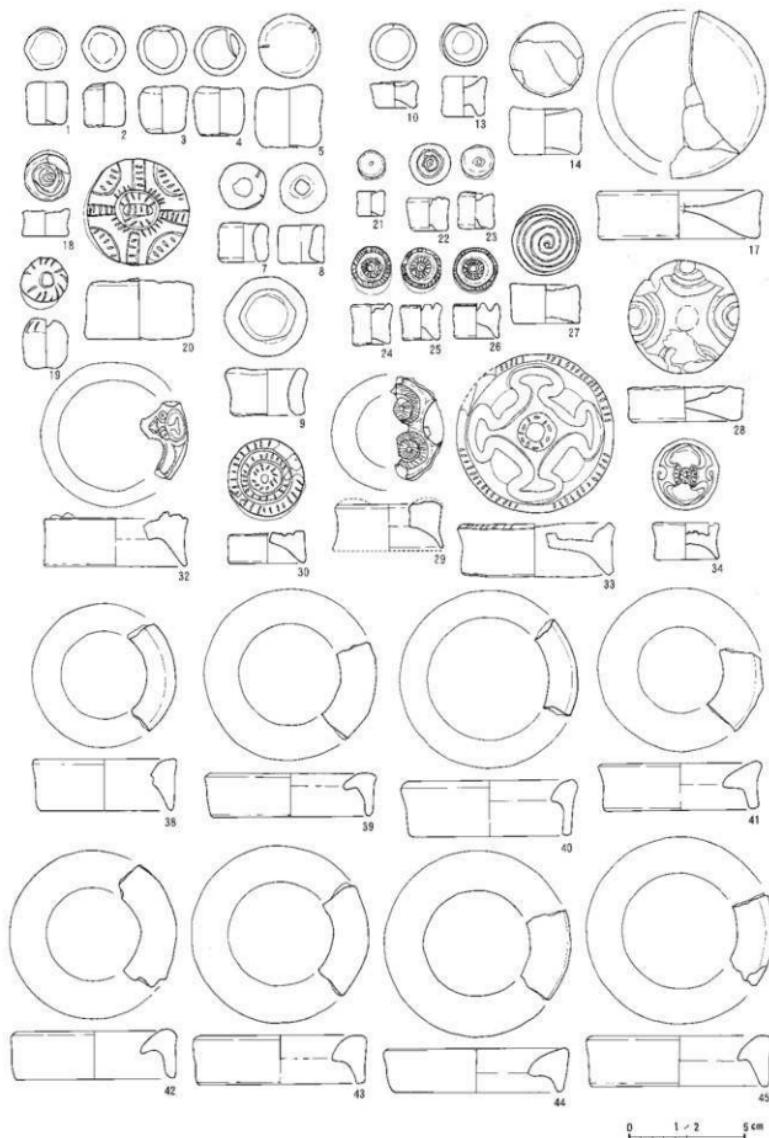


Fig. 16 耳飾り (1)

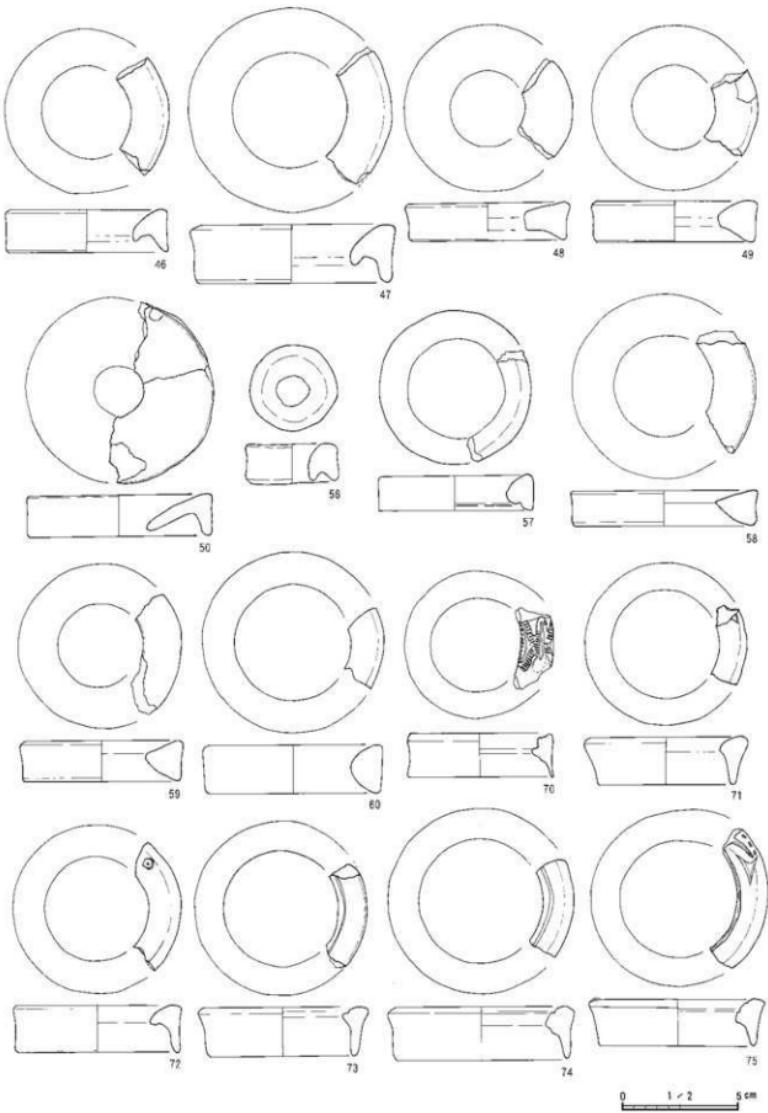


Fig. 17 耳飾り (2)

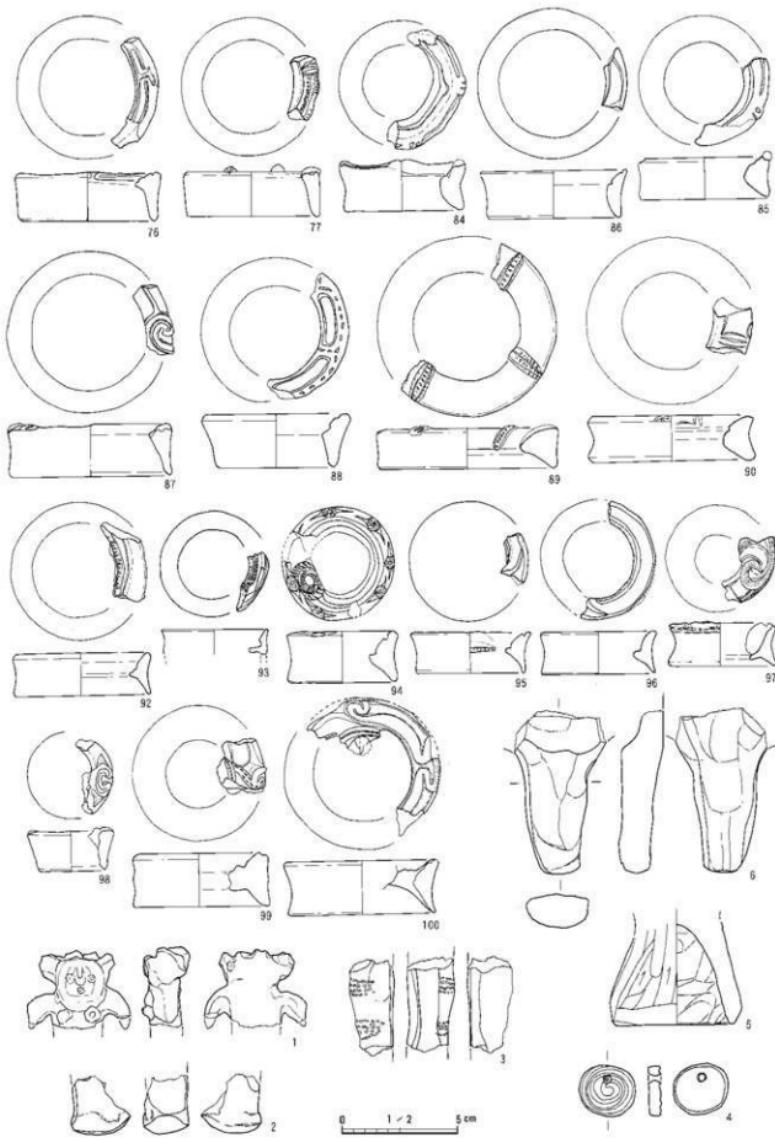


Fig. 18 耳飾り (3)・土製品

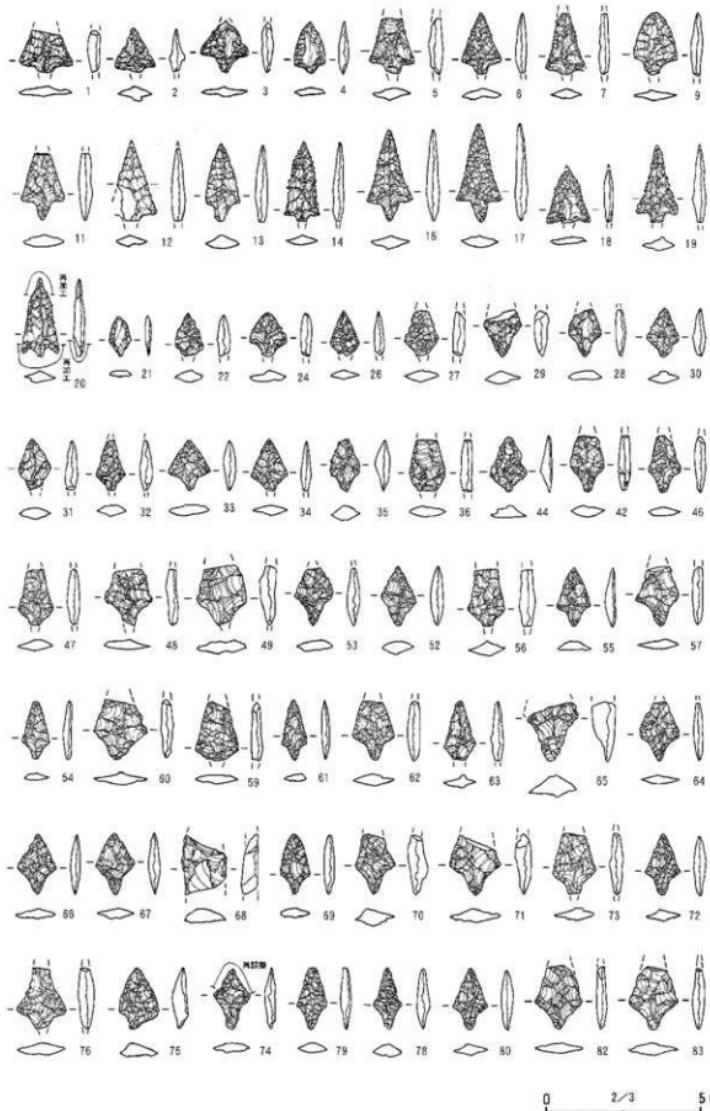


Fig. 19 繩文時代の石器 (1)

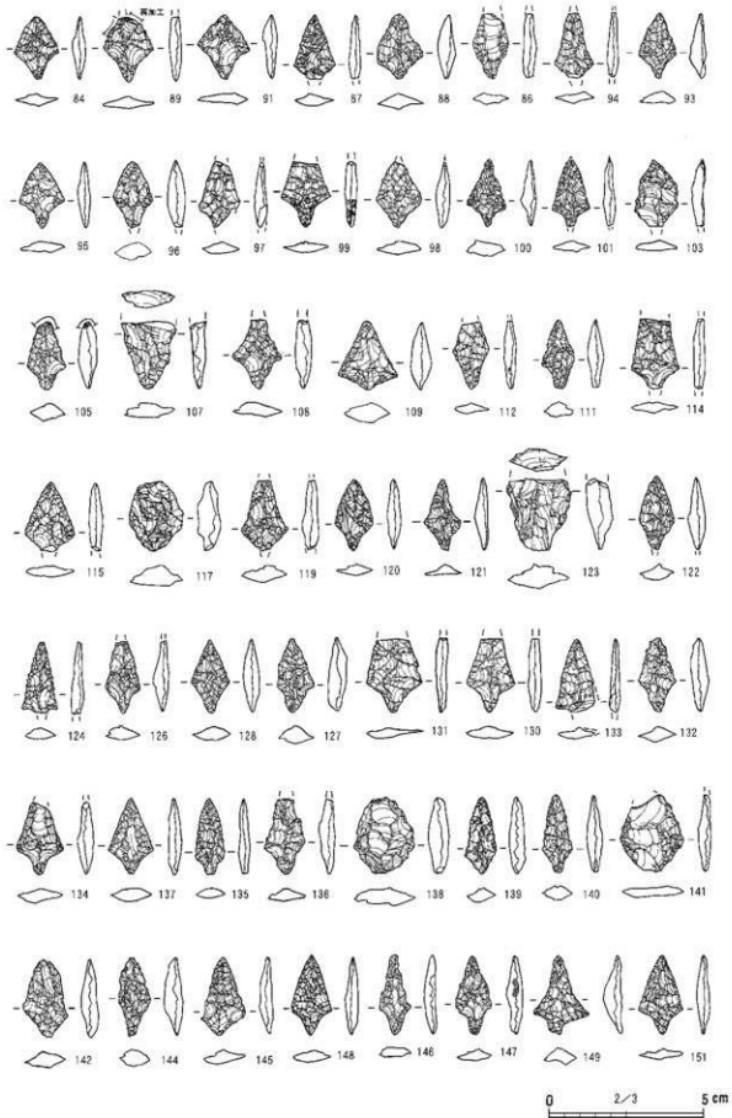


Fig. 20 繩文時代の石器 (2)

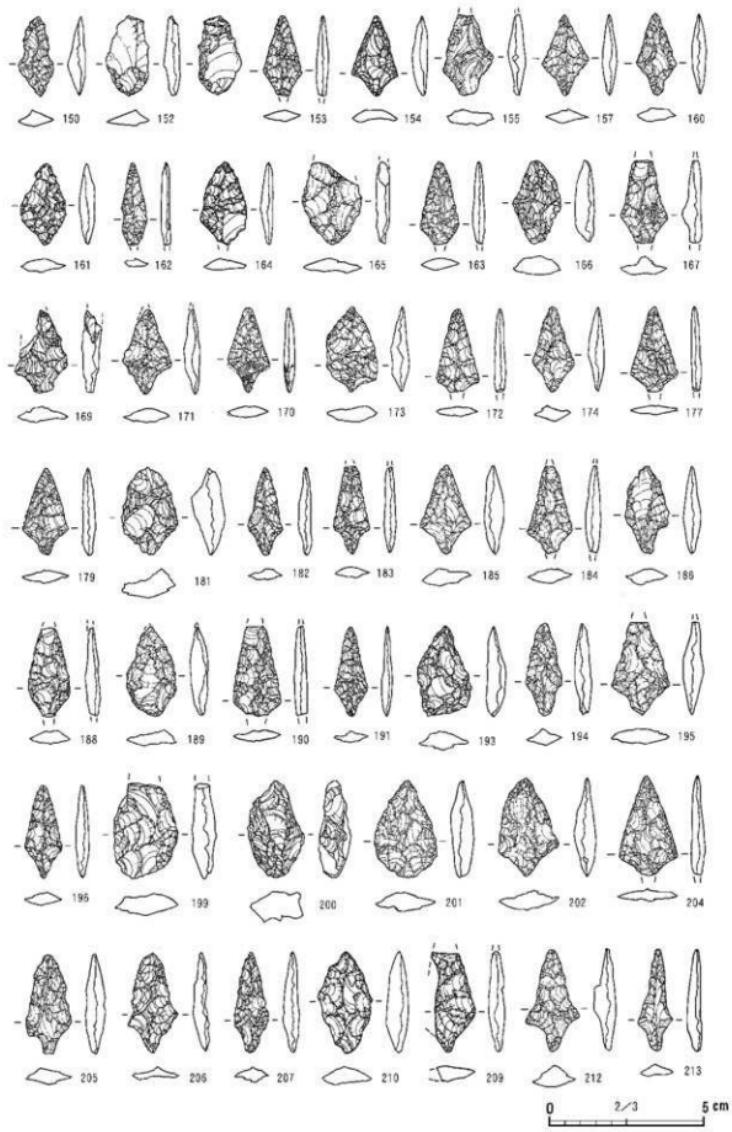


Fig. 21 繩文時代の石器 (3)

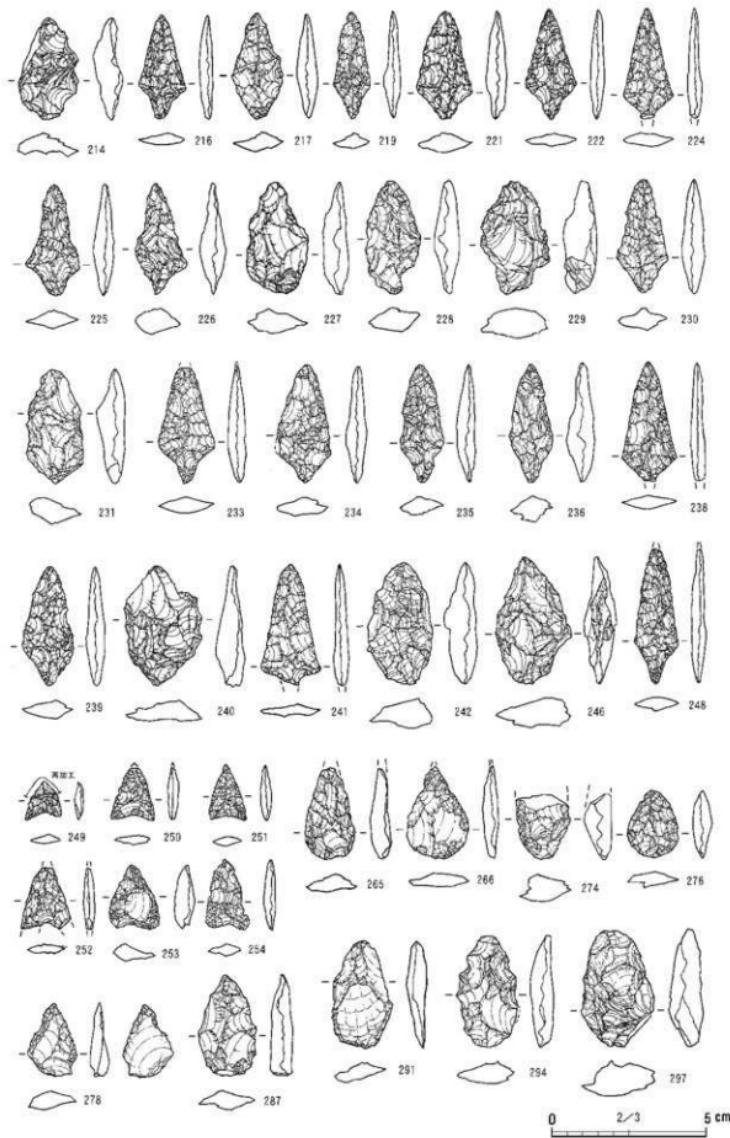


Fig. 22 繩文時代の石器 (4)

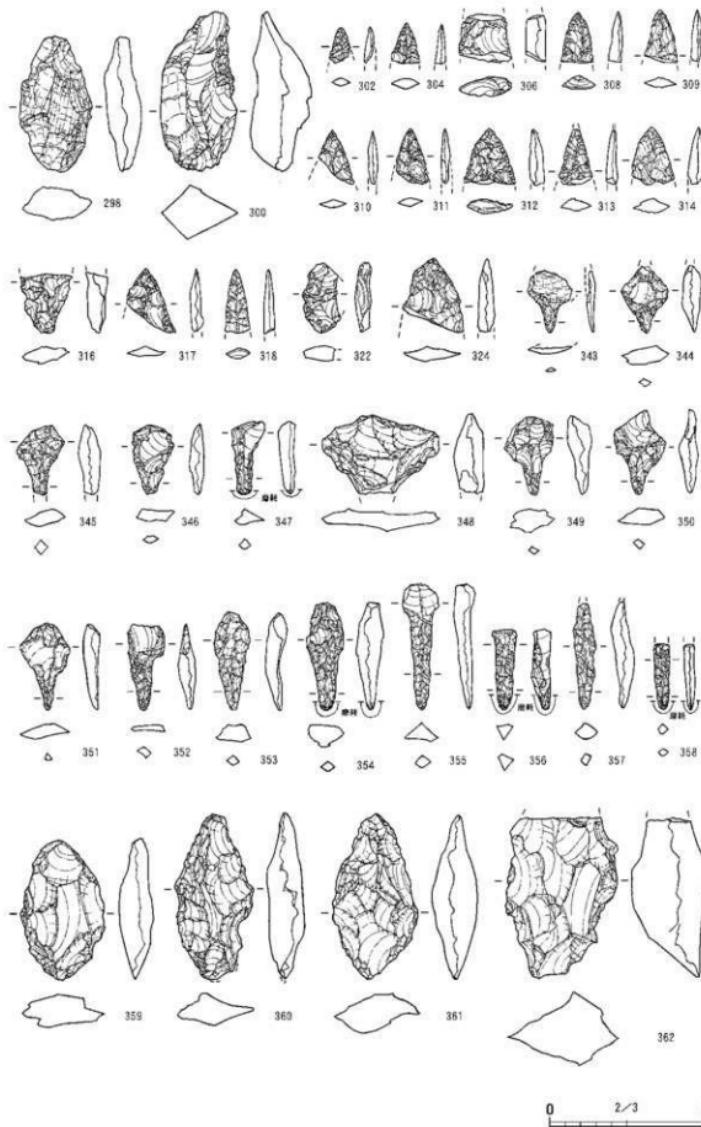


Fig. 23 繩文時代の石器 (5)

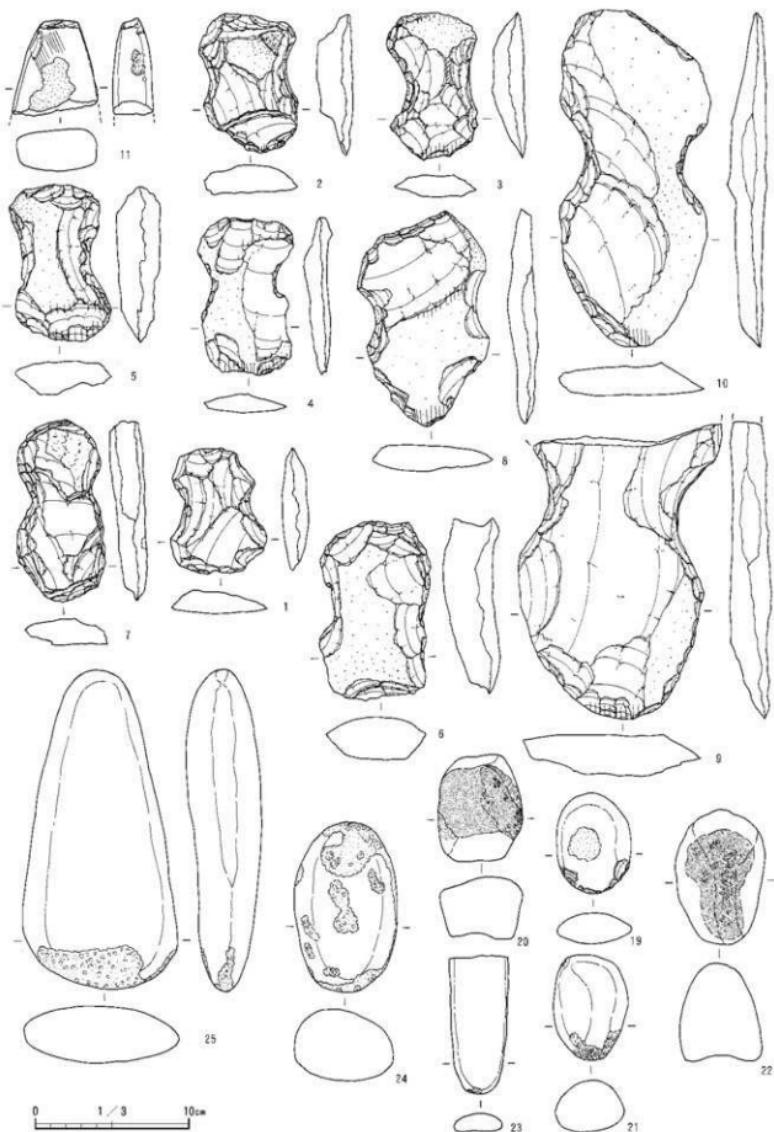


Fig. 24 繩文時代の石器 (6)

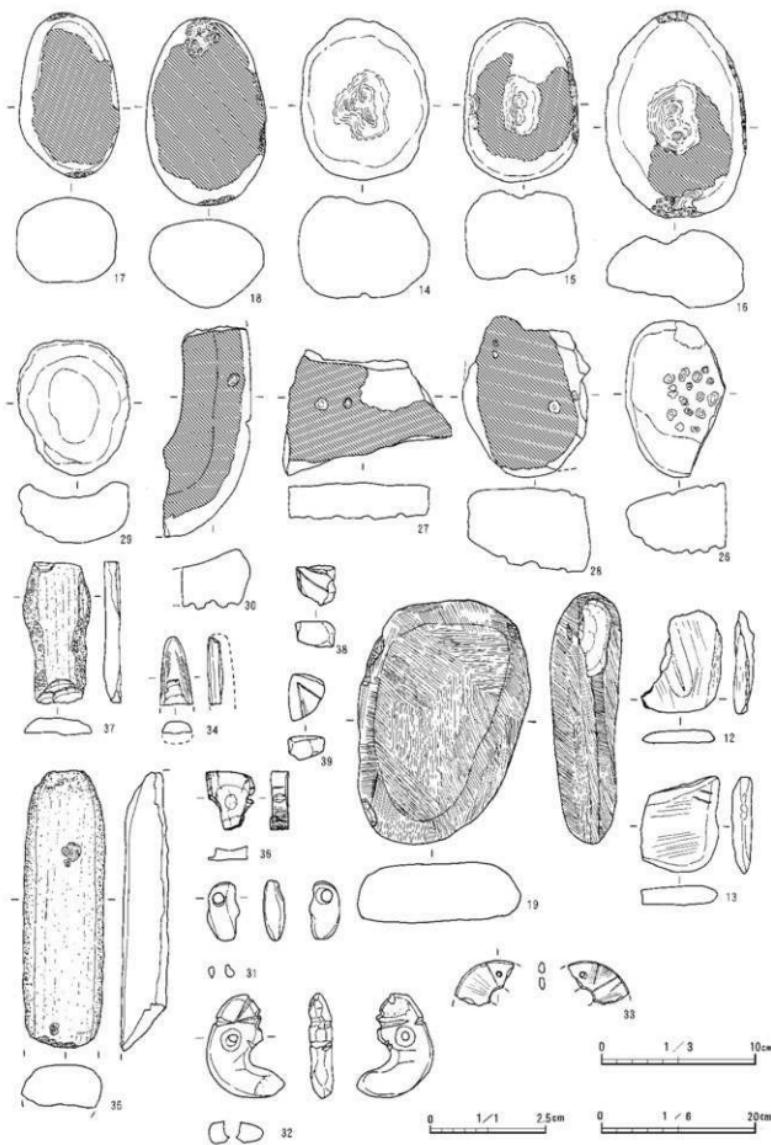


Fig. 25 繩文時代の石器 (7)



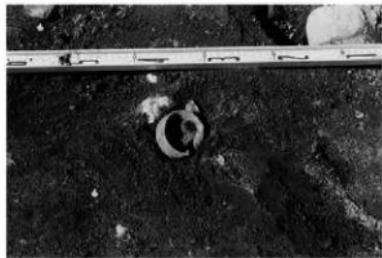
調査区全景（東から）



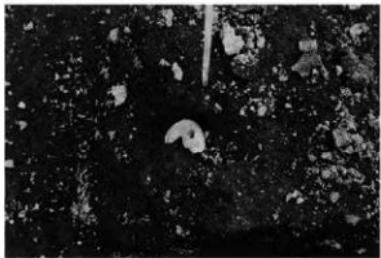
包含層掘り下げ作業（東から）



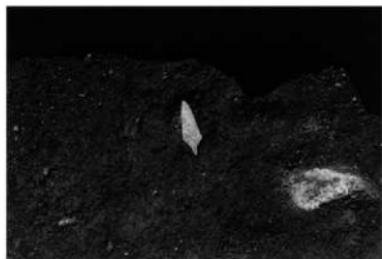
包含層全景（東から）



耳飾り出土状態（南から）



勾玉出土状態（南から）



石器出土状態（東から）



注口土器出土状態（東から）



J-1号住居跡全景（南西から）



J-1号住居跡火炉全景（南から）



J-1号住居跡石器出土状況（南西から）

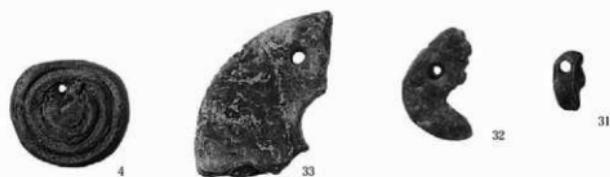


W-1号溝跡南壁セクション（北から）

W-1号溝跡全景（西から）



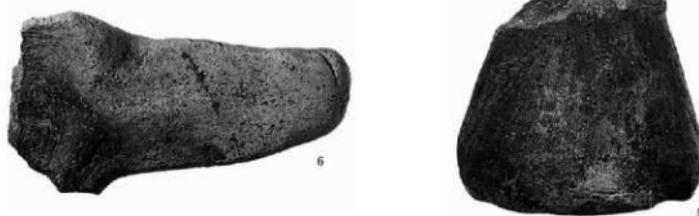
繩文土器



土製垂飾・石製垂飾・勾玉



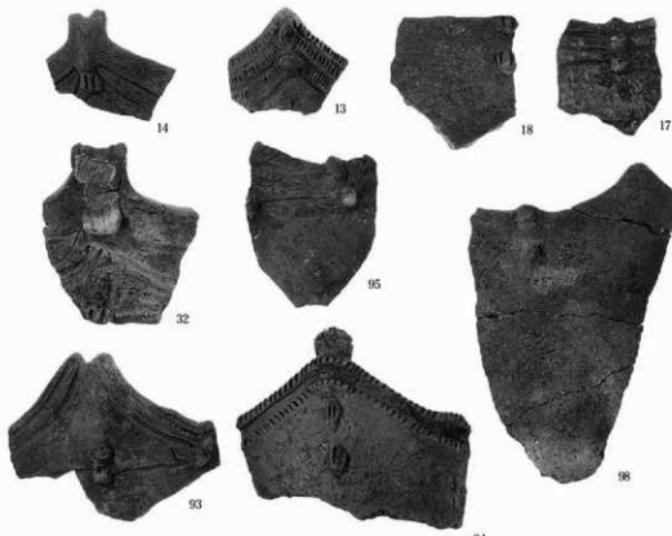
土偶



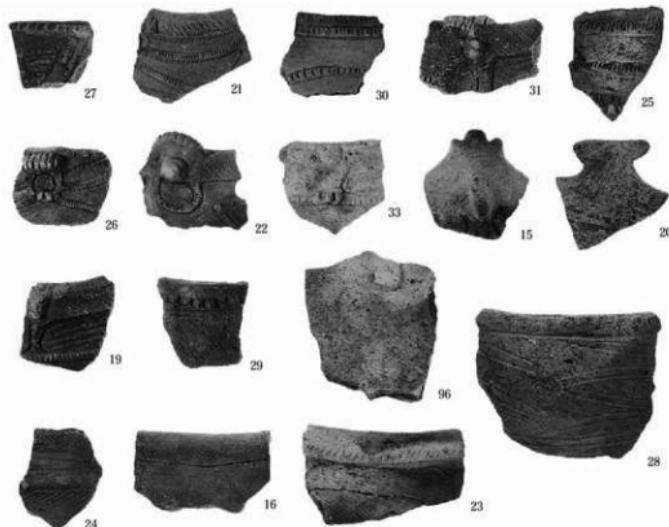
手觸形土製品・ミニチュア土器



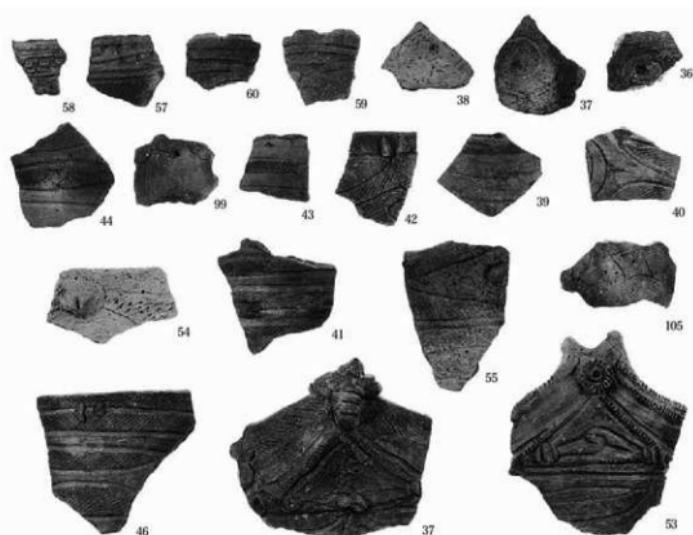
縄文土器（早・前・中期）



縄文土器（後期）



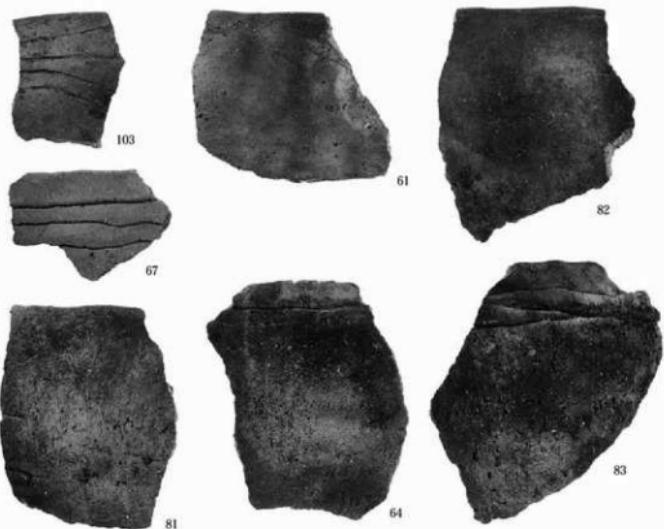
縄文土器（後期）



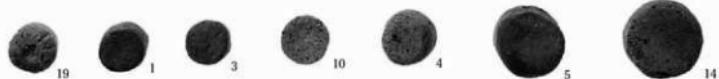
縄文土器（後期）



绳文土器（晚期）



绳文土器（晚期）



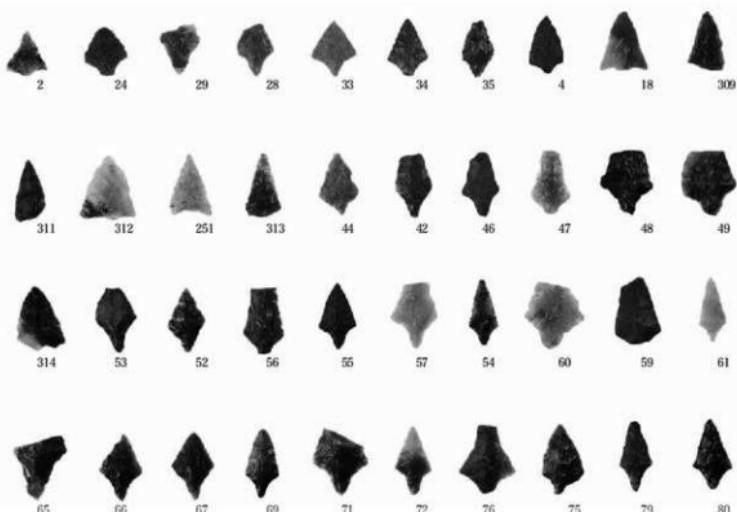
耳飾り (白形)



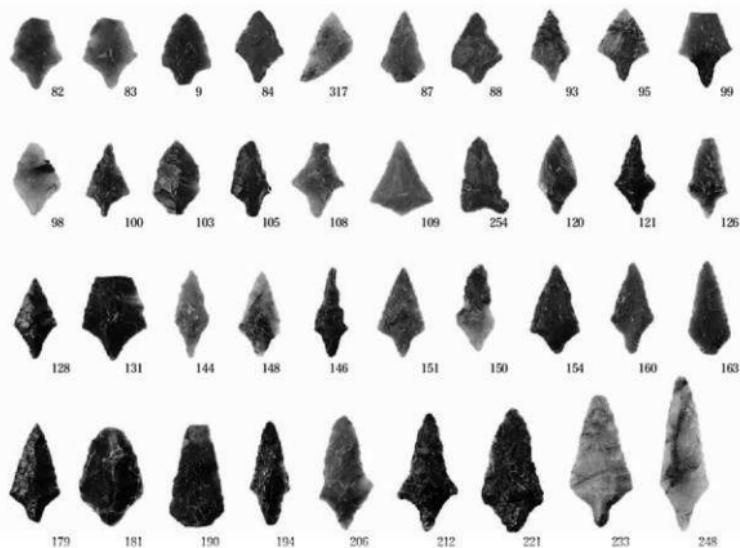
耳飾り (環状)



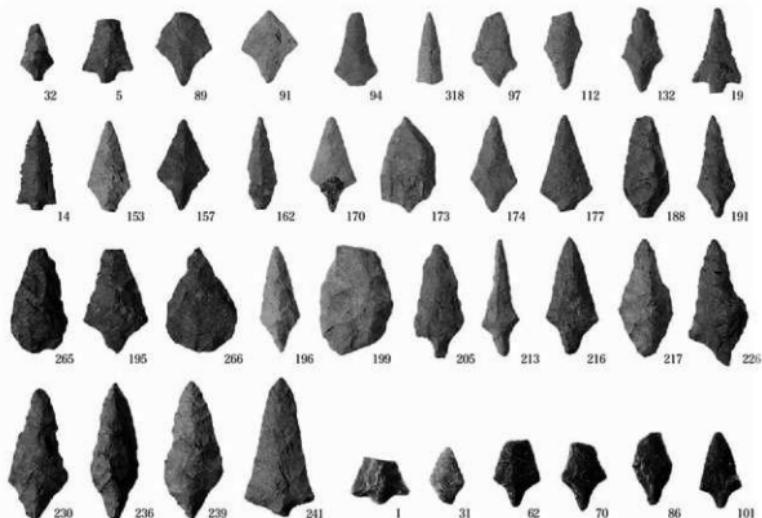
耳飾り（装飾）



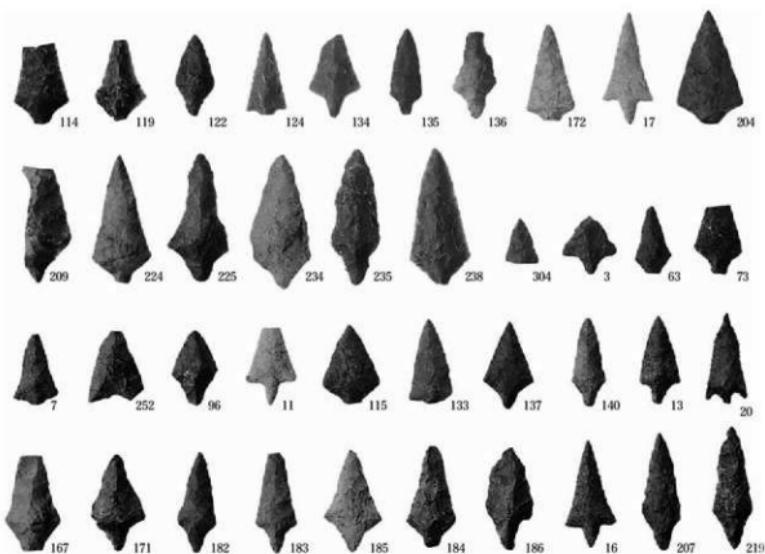
石鏃（チャート）



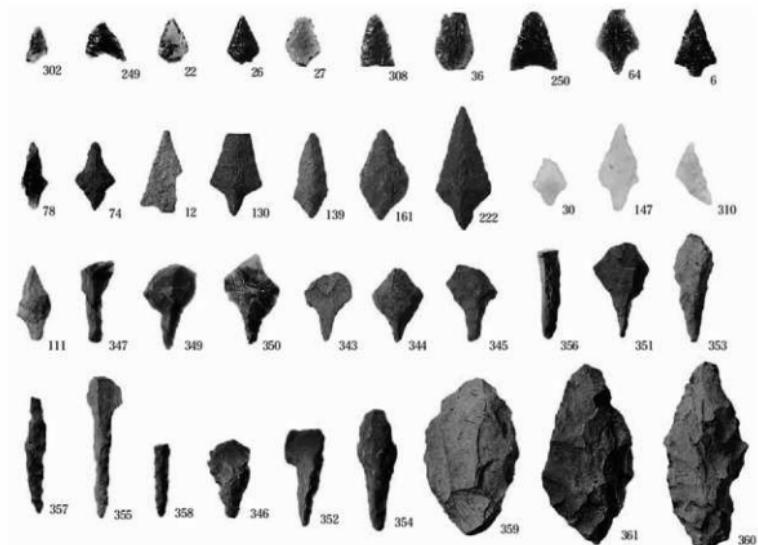
石鏃 (チャート)



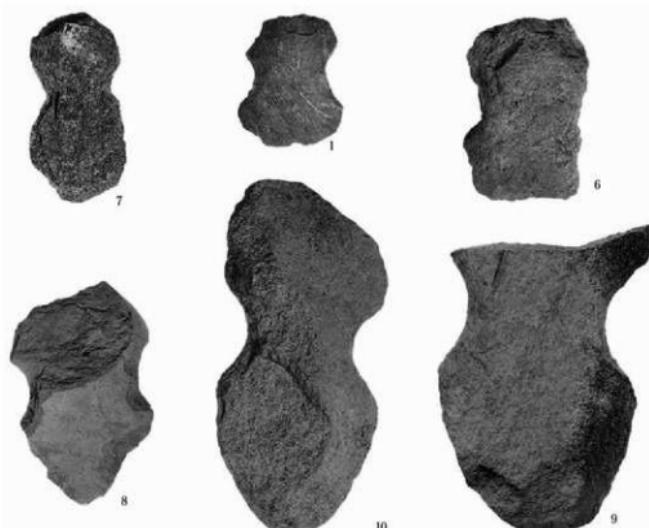
石鏃 (黒色頁岩・珪質頁岩)



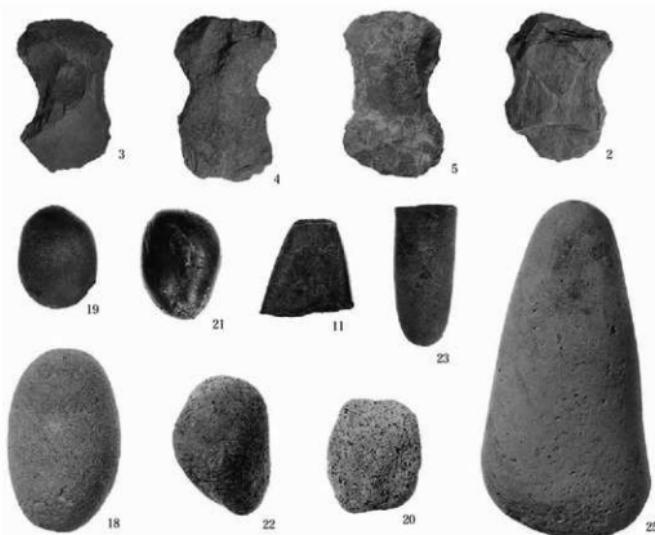
石鋸(硬質頁岩・珪質頁岩・黒色安山岩)



石鋸(黒曜石・ホルンフェルス・硬質頁岩・メノウ・玉隨)、石錐(チャート・黒色頁岩・珪質頁岩)、石槍(黒色頁岩)



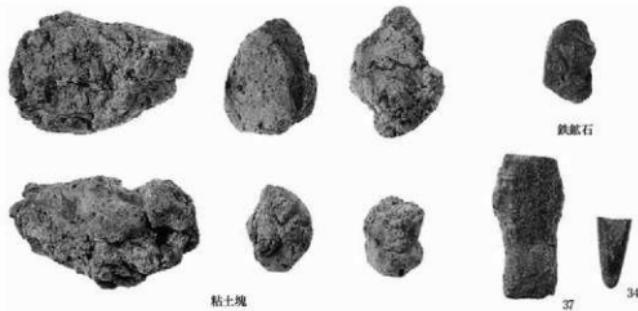
打製石斧



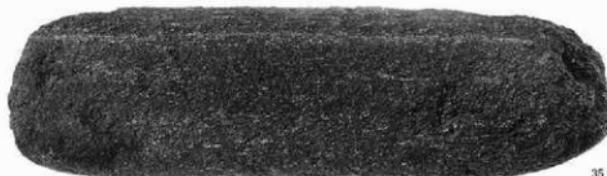
打製石斧・磨製石斧・敲石・磨石



石核・岩版



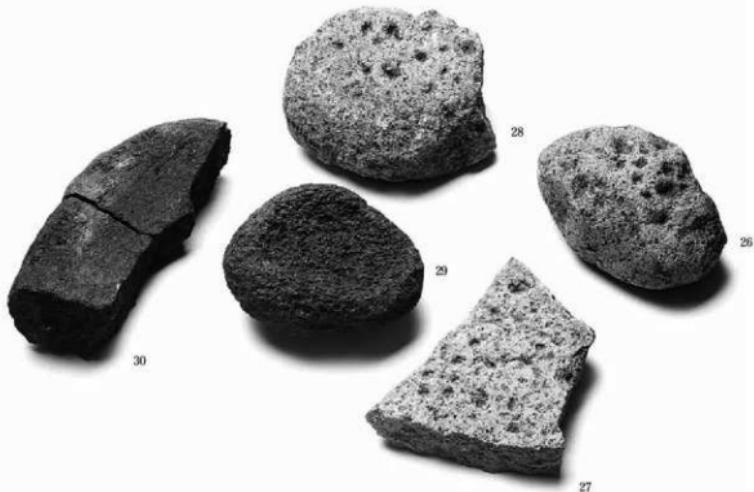
粘土塊



石棒・石劍・鐵鉛石・粘土塊



磨石・凹石



石皿・多孔石

抄 錄

| | |
|---------|------------------------------|
| フリガナ | アンヅウ・ホラナンバーツーアイセキ |
| 書名 | 安通・洞No.2遺跡 |
| 副書名 | 市道21-6119号線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | |
| シリーズ番号 | |
| 編著者名 | 並木勝洋・阿久澤智和 |
| 編集機関 | 前橋市教育委員会 |
| 編集機関所在地 | 〒371-0018 群馬県前橋市三俣町二丁目10-2 |
| 発行年月日 | 西暦2013年3月22日 |

| フリガナ 所収遺跡名 | フリガナ 所在地 | コード | | 位 置 | | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|--------------------------------|--------------------|-------|------|-----------|------------|---------------------------|--------------------|---------------------------|
| | | 市町村 | 遺跡番号 | 北緯 | 東経 | | | |
| アンヅウ・ホラナンバーツーイセキ 安通・洞No.2遺跡 | 前橋市柏川町 室沢302-1B | 10201 | 24K3 | 36°26'50" | 139°12'09" | 20120723 ～ 20121116 | 約650m ² | 市道21-6119 号線道路建設 事業 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|------------|-----|--------------|-----------------|-----------------------|------|
| 安通・洞No.2遺跡 | 包含層 | 縄文時代 平安時代 | 竪穴住居跡1軒 溝跡1条 | 縄文土器・石器・耳飾り・ 土偶・玉類 | |

安通・洞No.2遺跡

2013年3月19日 印刷
2013年3月22日 発行

発行・編集 前橋市教育委員会
前橋市三俣町二丁目10-2
印 刷 朝日印刷工業株式会社